

2022 年度

成蹊大学

FD 活動報告書

2023 年 3 月 31 日

成蹊大学全学 FD 委員会

成蹊大学においては、成蹊学園創立者中村春二が目指した教育理念である「自発的精神の涵養と個性の発見伸長を目指す真の人間教育」を踏まえ、教育目標（人材育成方針）を実現すべく、教職員が教育活動の内容・方法を改善し、向上させるため組織的に取り組む活動として FD 活動を定義しています（『成蹊大学 FD 基本方針』）。

教員が個々に教育活動を進めているだけでは得られない集合知を形成する場として、本学の FD 活動は多くの成果をもたらしてきました。とりわけ、ICT を活用した教育の推進は、コロナ禍のもとでの教育活動においては喫緊の課題であったと同時に、これからの大学の教育において重要な役割を果たすものとなりますが、FD 活動を通し、協働して生み出された知見は各授業に反映され、学生の学びを大いに促進しました。

また、成蹊大学教育活動表彰制度である「成蹊ティーチングアワード」受賞者も含めて行われてきた授業研究会や FD 研修の実施によって優れた授業運営の方法が共有されてきたことも、本学の FD 活動の重要な一面となっています。加えて、本学では FD 活動の枠組みのなかで行われているプロジェクト型授業や QLA（成蹊大学公認学習補助員）の制度によって、アクティブラーニングやチームティーチングの技法が磨かれ、より良い授業作りがなされてきています。

本報告書においては、2022 年度における本学の FD 活動が集成され、今後の取り組みのための礎として有用なものとなっています。次年度以降の FD 活動において本報告書で提起された課題を解決し、さらなる改善を行っていきたいと考えています。

成蹊大学の FD 活動報告書を本年度もお届けできることを嬉しく思います。成蹊大学における FD（ファカルティ・ディベロップメント）への取り組みは、2007 年に「成蹊大学 FD 実施に関する規則」を制定以来、16 年の実績があります。すでに成蹊大学の FD 活動は、その定着の時期は過ぎ、安定的に活動・持続的に改善が行われているかが問われる段階でしょう。成蹊大学はこの 3 月に大学基準協会に第 3 期目の自己点検評価報告書を既に提出しております。

「2021-2022 年度 FD 活動方針」では、“授業内容や従業方法の改善”、“ICT を活用した従業の質向上”、“アクティブラーニングによる少人数制授業”が主な重点的施策になっておりました。もちろん成蹊大学の教育の将来を見据えて、従前よりこれらを課してきてはおりますが、オンライン授業スキル等の急速な教員への浸透に鑑み、これらはより前倒しでの進捗が期待できると存じております。また、「2023-2024 年度 FD 活動方針」では、前期の方針を継承しつつ、より具体的に施策を示すこととなる予定です。

FD 活動の一環である ICT 活用はオンライン授業に必要なスキルを中心に、一気に教育現場に浸透しました。そのおかげで昨年度も、高等教育開発・支援センターで主催している FD セミナー、FD 研修会、授業研究会等も工夫してオンライン開催にすることで、開催を継続することができました。2019 年春よりのコロナ禍は大学教育にも未曾有の厄難をもたらしましたが、従前より成蹊大学では将来の教育の ICT 化を見越してインターネット・インフラの整備・充実を進めていたこと、それに教職員の真摯な努力があってオンライン授業等にも充分に対応することができました。

また、来年度より、学内一斉の大幅な視聴覚設備の更新を行います。AVBOX のキーは廃止し、全てスマートフォンからの QR コードによる操作で、PC から直接に映像等をプロジェクターに投影できるようになります。キーが不要なので学生も各自の必携 PC から使用が可能です。さらに、成蹊大学での FD に関わる先進的な取り組みとして QLA（成蹊大学公認学習補助員）があります。これは、他大学にもよくある TA、SA とは異なり、育成プログラムを修了した QLA 有資格の学生がアクティブラーニングを導入した授業のファシリテーター的役割を果たすものです。授業毎に QLA に対して実施する事前(後)学習もあり、授業の教育の質向上が第一の目的となっています。2024 年度には大学新 11 号館が竣工し、何かには大きなラーニングコモンズ空間が出現します。新しい学びの場のためには今までとは全く違う教育を教員等が創案する必要があるかもしれません。また、この場が充実した学びの場であるためには、この空間ならではの学習補助員が存在するべきでしょう。QLA、TA、SA を含めた学習補助員の再編も視野に置いて、さらに改革にまい進しなければなりません。

いずれにせよ、上で述べた教室の AVBOX のキー廃止や新棟のラーニングコモンズには学生の自主的学びへの優れた動機付けや巧みな雰囲気作りが欠かせないと存じます。

本報告書にありますように、成蹊大学における多彩な FD 活動が広く認知され、成蹊大学の教育の発展に寄与することを切に願っております。

はじめに	全学 FD 委員会委員長 学長 森 雄一	2
2022 年度 FD 活動を振り返って	高等教育開発・支援センター所長 富谷 光良	3
<b>1. 2022 年度 FD 活動概要</b>		<b>6</b>
1-1 FD とは		7
1-2 本学における FD		7
1-3 FD 基本方針		8
1-4 FD 活動方針		9
1-5 本学における FD 活動体制		10
1-6 FD 活動体制の周知・広報		12
1-7 全学 FD 委員会		13
1-8 学部 FD 委員会		16
1-9 高等教育開発・支援センター運営会議		24
<b>2. 2022 年度 FD 活動報告（学部・国際教育センター）</b>		<b>28</b>
2-1 学部 FD 活動		29
2-2 経済学部における FD 活動		29
2-3 理工学部における FD 活動		32
2-4 文学部における FD 活動		35
2-5 法学部における FD 活動		36
2-6 経営学部における FD 活動		37
2-7 国際教育センターにおける FD 活動		38
<b>3. 2022 年度 FD 活動報告（高等教育開発・支援センター）</b>		<b>41</b>
3-1 高等教育開発・支援センター		42
3-2 FD 研修会/FD セミナー		42
3-3 授業研究会		51
3-4 新任教員研修		55
3-5 シラバスワークショップ		56
3-6 CALL 活用勉強会		56
<b>4. 教育活動表彰制度（成蹊ティーチングアワード）</b>		<b>57</b>
4-1 成蹊大学教育活動表彰制度		58

<b>5. 奨励金制度</b>	<b>59</b>
5-1 奨励金制度	60
5-2 ブリリアントプロジェクト奨励金	60
5-3 プロジェクト型授業奨励金	62
5-4 教育改革・改善プロジェクト奨励金	63
<b>6. 成蹊大学公認学習補助員 (QLA)</b>	<b>64</b>
6-1 成蹊大学公認学習補助員 (QLA)	65
6-2 QLA を活用した授業支援	66
6-3 「QLA 育成プログラム」の実施	67
6-4 QLA 小委員会制度	69
6-5 QLA 活用説明会	69
<b>7. 学外セミナー等への派遣記録</b>	<b>70</b>
7-1 学外セミナーへの派遣	71
7-2 海外セミナーへの派遣	72
<b>8. 六大学における合同 FD・SD 等の実施に関する包括協定</b>	<b>73</b>
8-1 六大学における合同 FD・SD 等の実施に関する包括協定	74
<b>9. 関連規則</b>	<b>75</b>
9-1 FD 関連規則	76
<b>10. 記録・資料</b>	<b>81</b>
10-1 これまでの FD 活動の記録	82
10-2 2022 年度全学 FD 委員会委員一覧	149
10-3 2022 年度高等教育開発・支援センター所長・所員一覧	149

## 1. 2022年度 FD活動概要

## 1-1 FDとは

FDについて、文部科学省では、「知識イコール専門分野を素材に成り立つ学問の府としての大学制度の理念・目的・役割を実現するために必要な「教授団の資質改善」または「教授団の資質開発」を意味する。」としたうえで、「FDは一般には広義と狭義の解釈が成り立つ。広義には、広く研究、教育、社会的サービス、管理運営の各側面の機能の開発であり、それらを包括する組織体と教授職の両方の自己点検・評価を含む。狭義のFDは主に諸機能の中の教育に焦点を合わせる。…教育に関するFDは総論的には教育の規範構造、内容（専門教育と教養教育）、カリキュラム、技術などに関する教授団の資質の改善を意味する。」（中央教育審議会大学分科会第21回資料）と定義づけている。

## 1-2 本学におけるFD

成蹊学園創立者中村春二が目指した教育理念である「自発的精神の涵養と個性の発見伸長を目指す真の人間教育」を踏まえ、教育目標（人材育成方針）を実現すべく、教職員が教育活動の内容・方法を改善し、向上させるため組織的に取り組む活動との認識の下、文部科学省が示す方針・指針に基づき、教員間での教育資質改善に関する活動をFDとして捉えたうえで、統括を行う全学FD委員会の下、高等教育開発・支援センターによる学部横断的FD（以下「全学FD」という。）、個々の学問分野に直結した学部・研究科主体による学部FD委員会主催のFD（以下「学部FD」という。）の2つのFDを軸とした運用を行っている。

本学では、FD 活動の基本となる「FD 基本方針」を次の通り定めている。

### 成蹊大学における FD 基本方針

2017 年 6 月 7 日制定  
2021 年 4 月 1 日改正  
全学 FD 委員会

#### 1. 成蹊大学における FD の定義

本学における FD とは、成蹊学園創立者中村春二が目指した教育理念である「自発的精神の涵養と個性の発見伸長を目指す真の人間教育」を踏まえ、教育目標（人材育成方針）を実現すべく、教職員が教育活動の内容・方法を改善し、向上させるため組織的に取り組む活動のことである。

#### 2. FD の目標

本学では以下の人材育成方針を掲げており、これらの実現が FD の目標である。

1. 広い教養と深い（各学科、各専攻の）専門知識を備え、物事の本質を探究する思考力を養成する。
2. 自己の人生観・価値観を確立し、自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現、発信する力を養成する。
3. 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働して課題の解決に取り組む力を養成する。
4. 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。

#### 3. FD 活動について

本学の FD 活動は、FD の目標達成に必要な「教育力の向上」「教育制度の改善」「教育環境の充実」について、全教職員が個人及び組織として、主体的且つ継続的・発展的に取り組む活動であり、また、この FD 活動を組織的に支援する活動も FD 活動である。

##### 3.1. FD 活動の実行主体

本学の FD 活動は、教職員が大学・学部・学科・研究科・専攻・機関など所属する組織を実行主体として組織的に取り組むこととする。

##### 3.2. FD 活動に対する支援体制

FD 活動に対する全学的な支援は、全学 FD 委員会において示された教育の資質向上のために必要な方策に基づき、高等教育開発・支援センターが行う。

本学では、前項にて示した「FD基本方針」に基づき、具体的な重点施策を求める「成蹊大学FD活動方針」を定めており、2年毎に教育環境の変化にあわせた改変を実施しており、2023年度からの2年間については、以下のように定めている。

### 2021～2022年度 成蹊大学FD活動方針

2021年4月1日  
全学FD委員会

FD基本方針に基づき、2021年度および2022年度の大学全体のFD活動方針を以下のように定める。

#### 1. FD活動の重点的施策

- (1) 授業内容や授業方法の改善
  - ・ 遠隔授業（オンライン型、オンデマンド型授業等）の活用のための研修
  - ・ 授業研究会の促進
  - ・ 学修補助員（QLA）活用の促進
- (2) ICTを活用した授業の質向上
  - ・ 既存のICT環境を活用した教育手法に関する研修
  - ・ 予習、復習、基礎学習等の各フェーズにおける電子教材導入の検討
  - ・ eラーニングの活用促進
- (3) アクティブラーニングによる少人数制授業（ゼミナール等）の拡充
  - ・ 討論、スピーチ等のファシリテート能力向上のための研修
  - ・ 反転授業の導入検討
  - ・ 学習状況を把握するためのアンケート機能等の活用の促進

#### 2. FD活動における継続的な課題

- (1) グループ学習の促進
  - ・ グループ学習を活用した授業の円滑な運営のための研修
  - ・ ゼミ等において活用する課題発見解決型のグループ学習用教材の設計検討
  - ・ 校外実習などによるグループ学習機会拡大の検討
- (2) 学習成果のフィードバック
  - ・ ルーブリック策定に向けた理解を深めるための研修
  - ・ 卒業論文、卒業研究、ゼミレポートなどの評価基準の明示の検討
  - ・ 試験結果の通知等、学習成果のフィードバックの促進
  - ・ アンケートツール等を活用した即時性の高い、学生へのフィードバックの促進

# 1-5 本学におけるFD活動体制

## 1-5-1 FD活動体制

FDの実施に関する本学の体制については、図1に示す通りである。全体総括を行う全学FD委員会と、主管部署であり全学的なFD活動を主催・支援する高等教育開発・支援センターを中心に、学部・研究科FD委員会、国際教育センターとの連携により、本学全体でのFD活動体制が構築されている。

なお、FD活動の方針・体制にあたっては、学長室と連携し「大学／高等教育開発・支援センター懇談会」において適宜方針の共有を図っているほか、関連各部署との連携を行うなど、多角的視点により取り組みを進めている。

FD活動体制 相関図

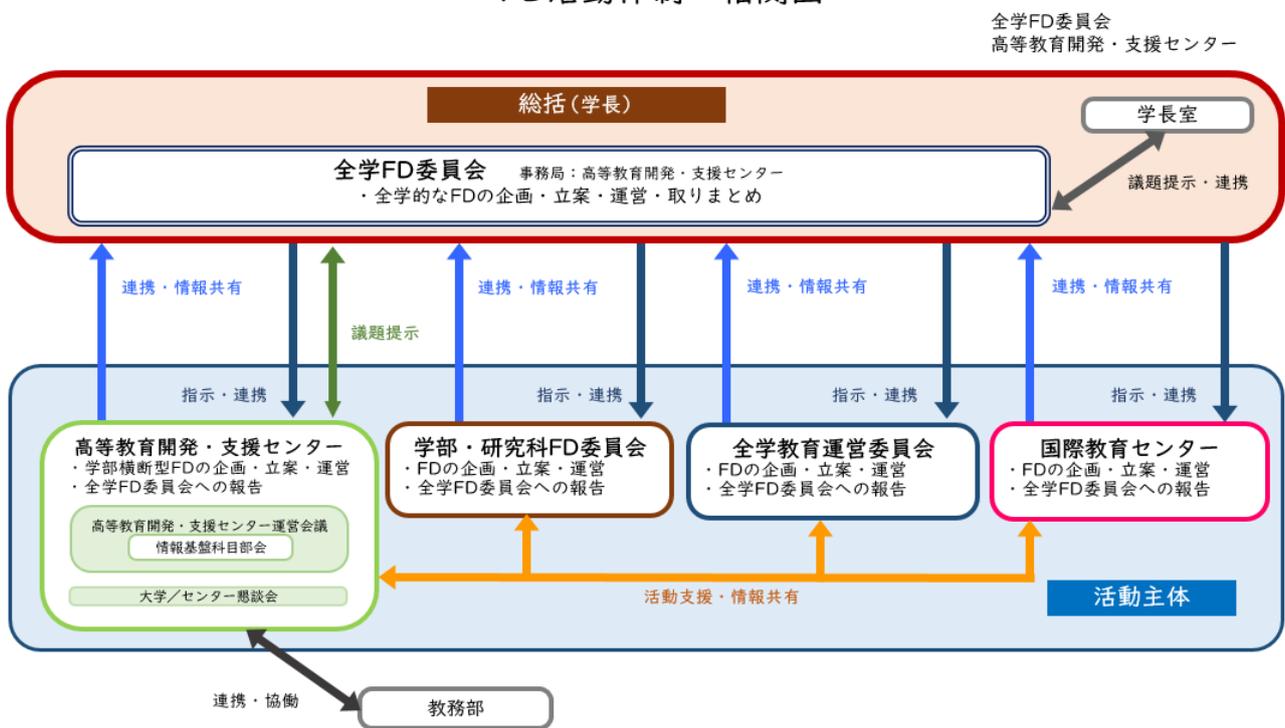


図1：高等教育開発・支援センターにおけるFD活動体制

## 1-5-2 FD活動におけるPDCAサイクルの確立

FDの実施にあたっては、その性質上、実施した内容について年度単位での客観的評価・再検討が求められる。本学では、図2に示す通り、年度内完結の取組みであることを認識し、それぞれのFD活動の意味、会議体の持つ役割を明示することで、PDCAサイクルを意識した活動を推進している。

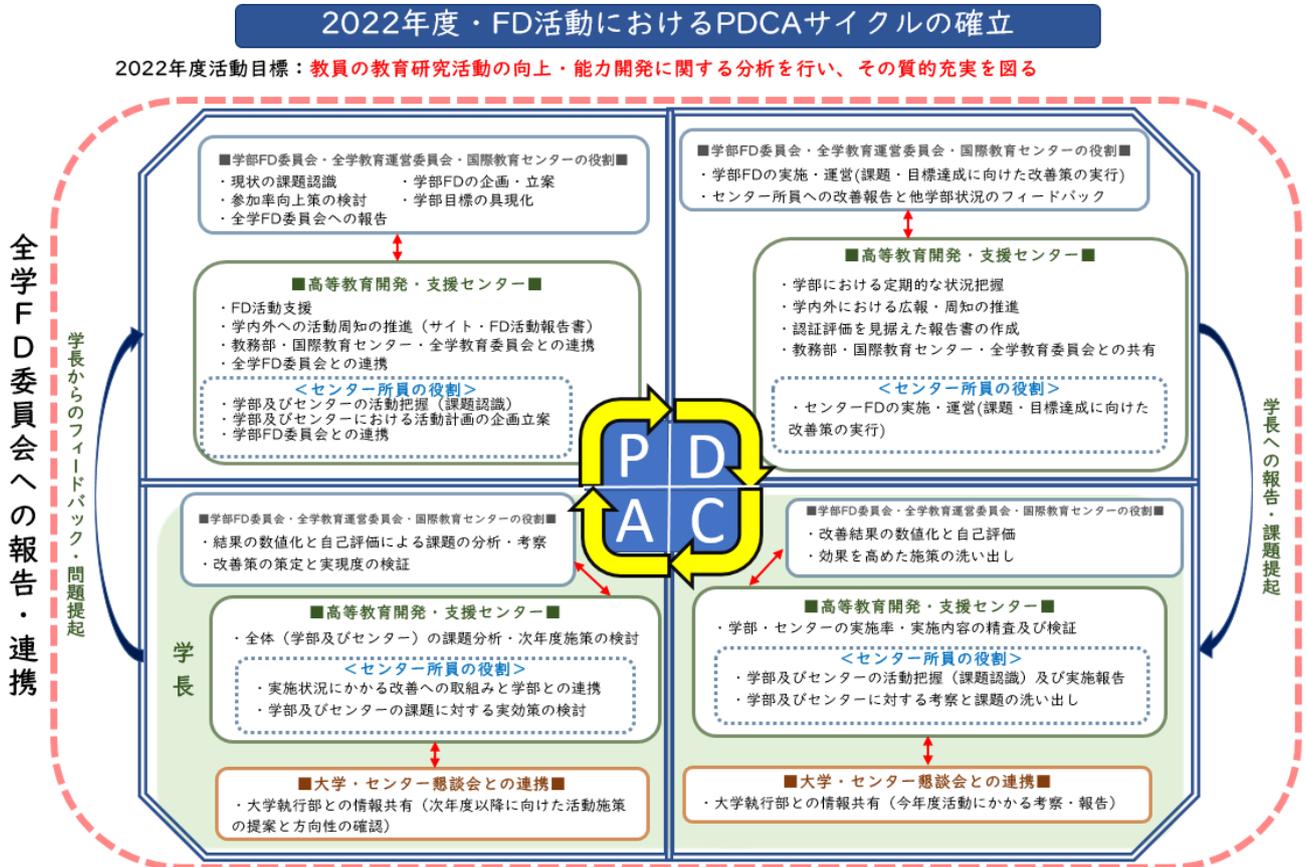


図2：FD活動におけるPDCAサイクルの確立

## 1-6 FD活動体制の周知・広報

本学では、FD活動の「可視化」をキーワードに、学内外に対し、取り組みを進めている。

### 1-6-1 FDホームページ

本年度からの新たな取り組みとして、FD活動を学内外に広く周知することを目的に、成蹊大学ホームページ内にWebサイト(<https://www.seikei.ac.jp/university/fd/>)を公開している。

本サイト内では、FD活動の報告フォーム、各種奨励金の申請用紙、本活動報告書の閲覧をはじめ、FDにかかる内容を網羅した内容にて構成されており、今後も内容の拡充を見込んでいる。



本学FD Web サイト

### 1-6-2 FD活動報告書（本書）の発刊

本学のFD活動を集約・一元化し、学内外にその活動を広く周知することを目的として、2021年度より「FD活動報告書」を発刊し、Webサイト内において、PDF形式にて公開している。



## 1-7 全学 FD 委員会

### 1-7-1 全学 FD 委員会概要

全学 FD 委員会は、学長・副学長・学部長を主な構成員とするメンバーで構成されている。2020 年度まで学長室総合企画課を事務局として、大学運営会議と一体化した運営が行われてきたが、FD 部門の一元化の観点から、翌 2021 年度より高等教育開発・支援センター教育開発・支援課に移管された。同年度からは、国際教育センターを構成メンバーに加え、前項にて図示している体制により、FD 活動の強化を図っていく所存である。

### 1-6-2 全学 FD 委員会開催日程及び議案事項

2022 年度の全学 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2022 年 4 月 20 日)	協議 1	2022 年度 FD 活動について
	協議 2	2022 年度全学 FD 委員会開催日程について
	協議 3	2021 年度「FD 活動報告書」の公開について
	依頼 1	2022 年度 FD 活動報告の提出について
	依頼 2	2022 年度「学部 FD 委員会」議題提供について
	依頼 3	成蹊ティーチングアワード一次選考者の候補について
	依頼 4	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領について
	依頼 5	2022 年度「教育改革・改善プロジェクト」公募要領について
	依頼 6	2020 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領について
	報告 1	成蹊大学 FD サイトの公開について
	報告 2	2021 年度 FD 活動報告書及び 2022 年度活動予定
	報告 3	2022 年度「新任教員対象 ICT/FD 説明会」開催について
	報告 4	2022 年度 FD 研修会「視聴覚設備の操作説明会」開催について
	報告 5	2022 年度春季 CALL システム講習会の開催について
	報告 6	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」報告書について
	報告 7	2021 年度「教育改革・改善プロジェクト」成果報告書について
報告 8	2021 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」成果報告書（中間年度）について	
第 2 回 (2022 年 5 月 18 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	協議 2	2022 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	協議 3	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議 4	2022 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」申請について

開催年月日	区分	議案事項
第3回 (2022年6月15日)	協議1	2022年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	協議2	2022年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議3	2022年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」申請について
	協議4	シラバス作成方針の一部を改正する方針の制定について
	懇談1	FD活動の拡充・強化について
	依頼1	2022年度FDセミナーの開催について
	依頼2	2022年度授業研究会の開催について
	依頼3	成蹊ティーチングアワード二次選考について
第4回 (2022年7月20日)	協議1	2022年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	協議2	2022年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議3	2022年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」申請について
	協議4	大学院博士後期課程学生向け「プレFDにかかる情報提供」周知について
	依頼1	FD研修会「MOOCの概略と最先端事例に基づく活用の検討(仮)」の実施と周知について
	依頼2	FD研修会「著作権まるわかり！」の実施と周知について
	報告1	日本私立大学連盟「FD推進ワークショップ」への派遣者について
	報告2	授業研究会(経営学部)の開催について
第5回 (2022年9月7日)	協議1	2022年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	協議2	2022年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議3	2022年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」申請について
	依頼1	2023年度(以降)におけるFD活動計画の策定について
第6回 (2022年10月12日)	協議1	2022年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	協議2	2022年度シラバス作成要領案について
	依頼1	10月14日開催: 高等教育開発・支援センター主催FD研修会 「TeachingからLearningへの視線の転換～授業アンケートを(一旦)止めた大阪府立大学での取り組み～」開催について
	依頼2	11月11日開催: 高等教育開発・支援センター主催FD研修会 「外国の自然と社会(B) デジタルネイティブ学生が求める大学授業スタイル -私の授業実践例の紹介と成蹊大生の特徴-」開催について
	依頼3	11月14日開催: 高等教育開発・支援センター主催FD研修会 「MOOC まるわかり! ~事例から見る研究科活用編～」開催について
	依頼4	授業研究会の開催について
	報告1	FD参加者数及び参加率について(速報値)
	報告2	2022年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について

開催年月日	区分	議案事項
第7回 (2022年11月9日)	協議1	2022年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	懇談1	2022年度「FD活動報告書」の編集方針について
	依頼1	2023年度「プロジェクト型授業奨励金」申請要件について
	依頼2	11月11日開催：高等教育開発・支援センター主催FD研修会 「外国の自然と社会(B) デジタルネイティブ学生が求める大学授業スタイル -私の授業実践例の紹介と成蹊大生の特徴 -」開催について
	依頼3	11月14日開催：高等教育開発・支援センター主催FD研修会 「MOOC まるわかり！～事例から見る研究科活用編～」開催について
	依頼4	授業研究会の開催について
	報告1	「成蹊大学教育活動顕彰規則」改正案の提出について
	報告2	FD参加者数及び参加率について
	報告3	2022年度文学部授業研究会の開催報告について
	報告4	10月14日開催：高等教育開発・支援センター主催FD研修会 「TeachingからLearningへの視線の転換～授業アンケートを(一旦)止めた大阪府立大学での取り組み～」開催報告について
第8回 (2022年12月7日)	協議1	2023年度各種奨励金要領について
	依頼1	「FD活動方針」更新にかかる考察と分析(マネジメントレビュー)について
	依頼2	2022年度「FD活動報告書」提出資料について
	依頼3	授業研究会の開催について
	報告1	11月11日開催：高等教育開発・支援センター主催FD研修会 「外国の自然と社会(B) デジタルネイティブ学生が求める大学授業スタイル -私の授業実践例の紹介と成蹊大生の特徴 -」開催報告について
	報告2	11月14日開催：高等教育開発・支援センター主催FD研修会 「MOOC まるわかり！～事例から見る研究科活用編～」開催報告について
第9回 (2023年1月11日)	依頼1	2022年度「QLA育成プログラム」修了式の実施について
	依頼2	QLA活用科目の申請について
	報告1	2021年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」成果報告書について
	報告2	授業研究会開催報告について
第10回 (2023年2月22日)	協議1	「FD活動方針」策定に向けたマネジメントレビューについて
	依頼1	2023年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領について
	依頼2	2023年度「教育改革・改善プロジェクト」公募要領について
	依頼3	2023年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領について
	報告1	「QLA育成プログラム」の実施報告について
第11回 (2023年3月7日)	協議1	「2023-2024年度FD活動方針(案)」について
	協議2	「2022年度FD活動報告書」発刊について
	協議3	2023年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議4	2023年度「教育改革・改善プロジェクト」申請について
	協議5	2023年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	協議6	2023年度「全学FD委員会」開催概要について
	依頼1	成蹊ティーチングアワード一次候補者の選考について
	報告1	QLA活用申請状況について

## 1-8 学部 FD 委員会

### 1-8-1 学部 FD 委員会概要

本学では、FD 活動に関し、学部全体の視点から組織的に推進及び統括を図ることを目的として、学部長の下に学部 FD 委員会を設置し、主に以下の 4 点について審議・決定している。

- (1) 本学部における教育活動の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
- (3) FD 活動の点検・評価に関する事項
- (4) その他学部長が必要と認めた事項

### 1-8-2 経済学部 FD 委員会開催日程及び議案事項

2022 年度の経済学部 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2022 年 4 月 7 日)	審議 1	新経済学部ティーチングアワード候補者推薦に関する申合せ
	報告 1	2021 年度後期 授業評価アンケート結果について
	懇談 1	2021 年度 ティーチングアワードの選出について
	懇談 2	FD 研修の年間計画について
第 2 回 (2022 年 4 月 21 日)	審議 1	2021 年度 ティーチングアワードの候補者の選定について
	報告 1	FD 研修会の報告について
第 3 回 (2022 年 5 月 12 日)	報告 1	2022 年度 FD セミナー、授業研究会について
	その他 1	2022 年度の学部 FD 活動の方針について
第 4 回 (2022 年 6 月 2 日)	報告 1	授業評価アンケート（前期）の実施について
	懇談 1	FD 研修会の開催について
第 5 回 (2022 年 6 月 23 日)	報告 1	FD 研修会の開催について
第 6 回 (2022 年 7 月 14 日)	報告 1	FD 研修会の報告について
	報告 2	FD 研修会の開催について
	報告 3	授業評価アンケート（前期）の実施について
第 7 回 (2022 年 9 月 15 日)	報告 1	FD 研修会の報告について
第 8 回 (2022 年 10 月 6 日)	懇談 1	前期 授業評価アンケート結果について
第 9 回 (2022 年 10 月 27 日)	報告 1	2023 年度 シラバス作成要領について
	懇談 1	2022 年度 シラバス第三者チェックについて
	懇談 2	2023 年度 第三者チェックに関する依頼について

開催年月日	区分	議案事項
第 10 回 (2022 年 11 月 17 日)	審議 1	2023 年度 シラバス第三者チェックについて
	審議 2	2023 年度 第三者チェックに関する依頼について
	報告 1	後期 授業評価アンケートの実施について
	懇談 1	2023 年度 シラバスとりまとめについて
第 11 回 (2022 年 12 月 1 日)	審議 1	FD 委員会等の開催日時について
	報告 1	2023 年度 シラバスとりまとめについて
	報告 2	2023 年度 シラバス作成等の依頼について
	報告 3	2023 年度 第三者チェックに関する依頼について
	懇談 1	2023 年度 シラバス第三者チェック承認者について
第 12 回 (2022 年 12 月 15 日)	審議 1	2022 年度 シラバス第三者チェック承認者について
	懇談 1	「FD 活動方針」更新にかかる考察と分析 (マネジメントレビュー) の提出について
	懇談 2	「桃李になれ (入学前ガイダンス)【仮称】」ご協力のお願い
第 13 回 (2023 年 1 月 19 日)	報告 1	2023 年度 シラバス第三者チェック承認者について
	報告 2	2023 年度 シラバス第三者チェックマニュアル一式
第 14 回 (2023 年 2 月 6 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	報告 2	2022 年度 シラバス入稿状況について
第 15 回 (2023 年 2 月 17 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	検討 2	シラバス第三者チェックによる修正依頼について
第 16 回 (2023 年 3 月 2 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	検討 2	シラバス第三者チェックによる修正依頼について

### 1-8-3 理工学部 FD 委員会開催日程及び議案事項

2022 年度の理工学部 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2022 年 4 月 6 日)	議題 1	2021 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2022 年 6 月 8 日)	報告等 1	2022 年度 FD 委員会開催日程に関する件
	報告等 2	2021 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 3	2022 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 4	IR 指標を用いた 2021 年度の成績分布の点検に関する件 (2019-2020nen)
	報告等 5	2021 年度 FD 活動に関する件
第 3 回 (2022 年 7 月 6 日)	報告等 1	2022 年度 FD 委員会開催日程に関する件
	報告等 2	2022 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 3	2022 年度 FD 活動に関する件
第 4 回 (2022 年 9 月 20 日)	報告等 1	2022 年度第 1 回 FD 研修会に関する件
	報告等 2	2022 年度 FD 活動に関する件
第 5 回 (2022 年 11 月 9 日)	報告等 1	2023 年度シラバス入力に関する件
	報告等 2	2023 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 3	2022 年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 4	2022 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 5	学生調査(学修時間・学修行動・能力変化)・卒業生調査・採用担当者調査に関する件
	報告等 6	2022 年度 FD 活動に関する件
第 6 回 (2022 年 12 月 21 日)	報告等 1	2022 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 2	2022 年度 FD 活動に関する件
	報告等 3	教育課程の編成(次年度および中期構想: IR 指標を利用した適切性等の検証)に関する件
	報告等 4	成績評価の信頼性確保に関する件
	報告等 5	「FD 活動方針」更新にかかる考察と分析(マネジメントレビュー)に関する件
	報告等 6	2022 年度「FD 活動報告書」提出資料に関する件
第 7 回 (2023 年 1 月 11 日)	報告等 1	2023 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 2	2022 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 8 回 (2023 年 2 月 22 日)	報告等 1	2023 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 2	2022 年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等 3	2022 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
	報告等 6	2023 年度 FD 活動に関する件

#### 1-8-4 文学部 FD 委員会開催日程及び議案事項

2022 年度の文学部 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2022 年 4 月 8 日～22 日) ※メール持ち回り	議題 1	ティーチングアワードの文学部候補者案について
第 2 回 (2022 年 6 月 22 日)	議題 1	2021 年度文学部 FD 研修について
	議題 2	ティーチングアワード候補者の選出方法をめぐる意見交換
第 3 回 (2022 年 12 月 21 日) ※メール持ち回り	議題 1	2023 年度シラバス第三者チェックスケジュール (案) の検討について
第 4 回 (2023 年 1 月 19 日～31 日) ※メール持ち回り	議題 1	「2023 年度シラバス」 第三者チェックのチェック項目について

### 1-8-5 法学部 FD 委員会開催日程及び議案事項

2022 年度の法学部 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2022 年 4 月 8 日)	検討 1	ティーチングアワードについて
	検討 2	大学の基本方針について
	検討 3	学部・研究科の運営について
第 2 回 (2022 年 4 月 21 日)	検討 1	ティーチングアワードについて
第 3 回 (2022 年 6 月 2 日)	検討 1	オンライン授業について
第 4 回 (2022 年 6 月 23 日)	検討 1	法学会講演会について
	検討 2	「ひらく日本の大学」調査への対応について
第 5 回 (2022 年 7 月 14 日)	検討 1	オンライン授業に関する教授会報告内容について
	検討 2	学長からの要望について
第 6 回 (2022 年 9 月 15 日)	検討 1	第 3 次中期計画について
	検討 2	大学院全体の DP, CP の設定に伴う各研究科の DP, CP の検証について
	検討 3	学科ごとの AP の必要性について
	検討 4	大学の DP6 (DP4) 箇所の一部修正に伴う各学科の DP 検証について
第 7 回 (2022 年 10 月 6 日)	検討 1	学科ごとの AP について
	検討 2	法学部 FD 活動について
	検討 3	オンライン授業申請について
第 8 回 (2022 年 10 月 27 日)	検討 1	オープンバッジについて
	検討 2	オンライン授業申請について
	検討 3	EAGLE 客員教授の担当科目について
第 9 回 (2022 年 11 月 17 日)	検討 1	教育方針大綱について
	検討 2	オンライン授業申請について
	検討 3	2023 年度新入生ガイダンスについて
第 10 回 (2022 年 12 月 1 日)	検討 1	法学部・法学政治研究科 教育方針大綱について
	検討 2	2023 年度新入生ガイダンスについて
第 11 回 (2022 年 12 月 15 日)	検討 1	学科別 AP (アドミッションポリシー) について
	検討 2	シラバス第三者チェックについて
第 12 回 (2023 年 1 月 19 日)	検討 1	学科別 AP (アドミッションポリシー) について
	検討 2	シラバス第三者チェックについて
第 13 回 (2023 年 2 月 18 日)	検討 1	法学部・法学政治学研究科教育方針大綱について
	検討 2	シラバス第三者チェックについて
第 14 回 (2023 年 3 月 2 日)	検討 1	オープンバッジについて

1-8-6 経営学部 FD 委員会開催日程及び議案事項

2022 年度の経営学部 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2022 年 4 月 7 日)	審議 1	2021 年度 ティーチングアワードの選出について
	報告 1	2021 年度後期 授業評価アンケート結果について
	懇談 1	FD 研修の年間計画について
第 2 回 (2022 年 4 月 21 日)	懇談 1	FD 研修の年間計画について
第 3 回 (2022 年 5 月 12 日)	報告 1	2022 年度授業研究会について
	その他 1	2022 年度の学部 FD 活動の方針について
第 4 回 (2022 年 6 月 2 日)	審議 1	グローバル教育について
	報告 1	授業評価アンケート（前期）の実施について
	その他 1	FD 研修会の開催について
第 5 回 (2022 年 6 月 23 日)	報告 1	FD 研修会の開催について
第 6 回 (2022 年 7 月 14 日)	報告 1	FD 研修会の報告について
	報告 2	授業評価アンケート（前期）の実施について
第 7 回 (2022 年 10 月 6 日)	懇談 1	前期 授業評価アンケート結果について
第 8 回 (2022 年 10 月 27 日)	報告 1	2023 年度 シラバス作成依頼について
	懇談 1	2022 年度 シラバス第三者チェックについて
	懇談 2	2023 年度 第三者チェックに関する依頼について
第 9 回 (2022 年 11 月 17 日)	審議 1	2023 年度 シラバス第三者チェックについて
	審議 2	2023 年度 第三者チェックに関する依頼について
	報告 1	後期 授業評価アンケートの実施について
	懇談 1	2023 年度 シラバスとりまとめについて
第 10 回 (2022 年 12 月 1 日)	報告 1	2023 年度 シラバスとりまとめについて
	報告 2	2023 年度 シラバス作成等の依頼について
	報告 3	2023 年度 第三者チェックに関する依頼について
	懇談 1	2023 年度 シラバス第三者チェック承認者について
第 11 回 (2022 年 12 月 15 日)	審議 1	2022 年度 シラバス第三者チェック承認者について
	懇談 1	「FD 活動方針」更新にかかる考察と分析（マネジメントレビュー）の提出について
	懇談 2	「FD 活動報告」の提出について
第 12 回 (2023 年 1 月 19 日)	報告 1	2023 年度 シラバス第三者チェックマニュアル一式

開催年月日	区分	議案事項
第 13 回 (2023 年 2 月 6 日)	報告 1	2022 年度 シラバス入稿状況について
	報告 2	授業評価アンケート セルフレビューについて
第 14 回 (2023 年 2 月 17 日)	検討 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	検討 2	シラバス第三者チェックによる修正依頼について
第 15 回 (2023 年 3 月 2 日)	検討 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	検討 2	シラバス第三者チェックによる修正について

## 1-9 研究科 FD 委員会

### 1-9-1 研究科 FD 委員会概要

本学では、FD 活動に関し、研究科全体の視点から組織的に推進及び統括を図ることを目的として、研究科長の下に研究科 FD 委員会を設置し、主に以下の 4 点について審議・決定している。

- (1) 本研究科における教育活動の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
- (3) FD 活動の点検・評価に関する事項
- (4) その他研究科長が諮問する事項

### 1-9-2 理工学研究科 FD 委員会開催日程及び議案事項

2022 年度の理工学研究科 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2022 年 4 月 6 日)	議題 1	2021 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2022 年 6 月 8 日)	報告等 1	2022 年度 FD 委員会開催日程に関する件
	報告等 2	2021 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 3	2022 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 4	IR 指標を用いた 2021 年度の成績分布の点検に関する件 (2019-2020nen)
	報告等 5	2021 年度 FD 活動に関する件
第 3 回 (2022 年 7 月 6 日)	報告等 1	2022 年度 FD 委員会開催日程に関する件
	報告等 2	2022 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 3	2022 年度 FD 活動に関する件
第 4 回 (2022 年 9 月 20 日)	報告等 1	2022 年度第 1 回 FD 研修会に関する件
	報告等 2	2022 年度 FD 活動に関する件
第 5 回 (2022 年 11 月 9 日)	報告等 1	2023 年度シラバス入力に関する件
	報告等 2	2023 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 3	2022 年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 4	2022 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 5	学生調査(学修時間・学修行動・能力変化)・卒業生調査・採用担当者調査に関する件
	報告等 6	2022 年度 FD 活動に関する件
第 6 回 (2022 年 12 月 21 日)	報告等 1	2022 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 2	2022 年度 FD 活動に関する件
	報告等 3	教育課程の編成(次年度および中期構想: IR 指標を利用した適切性等の検証)に関する件
	報告等 4	成績評価の信頼性確保に関する件
	報告等 5	「FD 活動方針」更新にかかる考察と分析(マネジメントレビュー)に関する件
	報告等 6	2022 年度「FD 活動報告書」提出資料に関する件

開催年月日	区分	議案事項
第7回 (2023年1月11日)	報告等1	2023年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等2	2022年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第8回 (2023年2月22日)	報告等1	2023年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等2	2022年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等3	2022年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
	報告等6	2023年度FD活動に関する件

### 1-9-3 文学研究科FD委員会開催日程及び議案事項

2022年度の文学研究科FD委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2022年4月8日～11日) ※メール持ち回り	審議1	研究科授業アンケートをめぐる意見交換
第2回 (2022年6月22日)	審議1	文学研究科で実施するFD研修会について
第3回 (2022年12月21日)	審議1	2023年度シラバス第三者チェックスケジュール(案)の検討について
第4回 (2023年1月19日～31日) ※メール持ち回り	議題1	「2023年度シラバス」第三者チェックのチェック項目について
第5回 (2023年2月18日)	検討1	2023年度シラバス第三者チェックの進捗状況と意見交換

## 1-10 高等教育開発・支援センター運営会議

### 1-10-1 高等教育開発・支援センター運営会議概要

FD を所管する高等教育開発・支援センターにおいて、予算管理・ソフトウェアメンテナンスといった議決事項のほか、全学 FD の運営を司る会議体で、所長、各学部より任命された所員、教務部長、教務部課長、高等教育開発・支援センター部長※、教育開発・支援課課長、教育開発・支援課担当課長にて構成されている。

2020 年度まで高等教育開発・支援センターでは、本会議とは別に、FD を主とし、かつ構成員も異なる FD 協議会があり、FD 活動とそれ以外の内容とで、センター内での会議における役割の棲み分けを図っていたが、全学 FD 委員会の主管部署の移管と共に運用を見直し、迅速な決議と運用、主体的な活動の促進を目的として、本会議に統合する形で同協議会は廃止とした。

2021 年度からは、本会議の議題内容、所員の役割について、FD 主体へと軸足を移すと共に、全学 FD 委員会と連携した議案提起を行っている。

※2021 年度及び 2022 年度は同職について教務部長が兼任

### 1-10-2 高等教育開発・支援センター運営会議開催日程及び議案事項（FD 関連内容のみ抜粋）

2022 年度の高等教育開発・支援センター運営会議の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2022 年 4 月 4 日)	協議 1	2022 年度 FD 活動について
	協議 2	授業研究会ガイドライン及び実施要領について
	協議 3	2022 年度高等教育開発・支援センター運営会議の開催日程について
	依頼 1	センター主催「FD セミナー」講師の選定について
	依頼 2	FD 活動報告の提出について
	依頼 3	文部科学省補助金「私立大学改革総合支援事業（タイプ 1）」にかかる FD 活動状況の報告について
	依頼 4	授業研究会の講師選定について
	報告 1	FD ホームページの開設について
	報告 2	2021 年度 FD 活動報告書について
	報告 3	2021 年度 QLA 活動報告及び 2022 年度の活動予定について
	報告 4	2021 年度大学視聴覚教材購入状況について
	報告 5	2021 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」報告について
報告 6	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」報告について	
報告 7	2021 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」報告について	
報告 8	2022 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領について	
報告 9	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領について	
報告 10	2022 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」公募要領について	
報告 11	2022 年度「成蹊ティーチングアワード」一次候補者の選考について	
報告 12	2022 年度「新任教員対象 ICT/FD 研修会」開催について	

開催年月日	区分	議案事項
第2回 (2022年4月28日～ 5月6日) ※持ち回り	協議1	「成蹊大学公認学習補助員 (QLA) 小委員会」の設置について
	協議2	成蹊ティーチングアワード一次選考について
	協議3	2022年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」申請について
	協議4	2022年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	協議5	2022年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
第3回 (2022年5月26日)	懇談1	高等教育開発・支援センター主催講演会等における講師謝礼にかかる内規(案)
	懇談2	センター主催のFDセミナーの開催について
	依頼1	授業研究会の実施運営について
	報告1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	報告2	2022年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」について
	報告3	2022年度「プロジェクト型授業奨励金」について
	報告4	2022年度「教育改革・改善プロジェクト」について
第4回 (2022年6月9日)	依頼1	センター主催のFDセミナーの開催について
	依頼2	授業研究会の開催について
	報告1	日本私立大学連盟 令和4年度FD推進ワークショップの参加者募集について
第5回 (2022年7月7日)	報告1	授業研究会(前期)の開催報告
	報告2	センター主催FDセミナーの開催に向けて
	報告3	FD活動の拡充・強化について
第6回 (2022年9月5日)	報告1	2022年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	報告2	2022年度後期授業研究会について
	報告3	令和4年度私立大学改革総合支援事業教育の質に係る客観的指標調査票について
	報告4	2022年度開催FD研修会「著作権まるわかり!～遠隔授業編～」について
	報告5	2022年度開催FD研修会「大学入試問題における著作権に関するセミナー」について
第7回 (2022年10月3日)	依頼1	FD研修会「TeachingからLearningへの視線の転換～授業アンケートを(一旦)止めた大阪府立大学での取り組み～」について
	依頼2	FD研修会「外国の自然と社会(B) デジタルネイティブ学生が求める大学授業スタイル-私の授業実践例の紹介と成蹊大生の特徴-」について
	依頼3	FD研修会「MOOC まるわかり!～事例からわかる研究科活用編～」について
	報告1	2023年度FDセミナー、研修会について
	報告2	2022年度後期授業研究会について
	報告3	令和4年度私立大学改革総合支援事業教育の質に係る客観的指標調査票について
	報告4	2022年度教育改革事務部門管理者会議について

開催年月日	区分	議案事項
第 8 回 (2022 年 10 月 31 日)	協議 1	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	懇談 1	2023 年度 FD セミナー、研修会について
	協議 3	2022 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領（案）について
	依頼 1	FD 研修会「外国の自然と社会（B） デジタルネイティブ学生が求める大学授業スタイル-私の授業実践例の紹介と成蹊大生の特徴-について
	依頼 2	FD 研修会「MOOC まるわかり！～事例からわかる研究科活用編～」について
	依頼 3	2022 年度後期授業研究会について
	報告 1	成蹊大学教育活動顕彰制度に関する規則の一部を改正する規則の制定
	報告 2	2022 年度文学部授業研究会について
	報告 3	2022 年度法学部授業研究会について
	報告 4	FD 研修会「Teaching から Learning への視線の転換～授業アンケートを（一旦）止めた大阪府立大学での取り組み～」について
第 9 回 (2022 年 11 月 28 日)	懇談 1	2023 年度 FD セミナー、研修会について
	懇談 2	授業研究会について
	依頼 1	2022 年度後期授業研究会について
	報告 1	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	報告 2	FD 研修会「外国の自然と社会（B） デジタルネイティブ学生が求める大学授業スタイル-私の授業実践例の紹介と成蹊大生の特徴-について
	報告 3	FD 研修会「MOOC まるわかり！～事例からわかる研究科活用編～」について
第 10 回 (2022 年 12 月 19 日)	協議 1	高等教育開発・支援センター主催講演会等における講師謝礼にかかる内規(案)
	懇談 1	2023 年度 FD セミナー、研修会について
	依頼 1	2022 年度後期授業研究会について
	依頼 2	2022 年度「FD 活動報告」の提出について
	報告 1	2022 年度授業研究会（経済学部）について
	報告 2	「QLA 育成プログラム」修了式の実施について
第 11 回 (2023 年 2 月 6 日)	協議 1	「FD 活動方針」更新にかかる考察と分析（マネジメントレビュー）について
	報告 1	2023 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領について
	報告 2	2023 年度「教育改革・改善プロジェクト」公募要領について
	報告 3	2023 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領について
	報告 4	U Tokyo FD Open について
第 12 回 (2023 年 3 月 9 日)	懇談 1	2023 年度 FD セミナー・研修会について
	懇談 2	2023 年度授業研究会について
	報告 1	高等教育開発・支援センター所長・所員交代について
	報告 2	2023-2024 年度 FD 活動方針について
	報告 3	QLA 活用申請書について
	報告 4	2022 年度 QLA 小委員会活動報告について
	報告 5	新しい教室視聴覚設備の操作説明会のご案内について
	報告 6	2022 年度第 11 回情報基盤科目部会について

## 2. 2022年度 FD活動報告 (学部・国際教育センター)

## 2-1 学部 FD 活動

本委員会は、FD 活動に関し、学部全体の視点から組織的に推進及び統括を図ることを目的として、学部長の下に設置されており、主に次に掲げる事項を審議する。

- (1) 本学部における教育活動の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
- (3) FD 活動の点検・評価に関する事項

## 2-2 経済学部における FD 活動

テーマ	基礎ゼミナール
目的・達成目標	新経済学部で1年次前期に開講されている「基礎ゼミナール」についての共通認識をもつためにセミナーを開催した。更には、各年次で開講されているゼミナール科目との関係についての理解を深めた。
担当教員名	井上潔司（経済学部・教授）
実施日時	2022年4月7日（木）
開催形式	Zoomによるオンライン形式
出席人数（内訳）	25名（経済学部 専任教員24名+助教1名）
プログラムと構成	担当教員，ゼミとは，基礎ゼミナールとは，基礎ゼミナール共通内容，基礎ゼミナール受講の心構え，ゼミの運営
講評	<p>セミナー後、教員からの意見交換、提案がなされた。主要なものを次に述べる。</p> <p>★研究倫理教育の重要性も指摘された。大学で作成している研究倫理リーフレット「研究倫理について考えよう～レポート・卒業論文を書く前に～」を用いるだけでなく、新経済学部で独自に作成した「成蹊大学経済学部のしおり～今スタートラインに立つみなさまへ～」の併用が効果的であるという提案がなされた。</p> <p>★「基礎ゼミナール」の全クラスで合同のイベント開催、ポスターセッション等が提案された。その際に QLA 制度を活用することも提案された。このことは、引き続き検討する。</p> <p>以上より、初年次に開講される演習科目についての理解が深まっただけでなく、今後開講される演習科目への接続を考える上でのよい機会だったと考える。</p>

テーマ	対面講義のオンデマンド化に関する情報共有
目的・達成目標	これまでに蓄積されてきた教員の情報スキルを、対面再開後も学生の学習サポートに活かすこと
担当教員名	山上浩明（経済学部・教授）
実施日時	2022年6月23日（木）14:00～14:15
開催形式	Zoomによるオンライン形式
出席人数（内訳）	25名（経済学部専任教員）
プログラムと構成	対面講義をオンデマンド化，動画ファイルの作成，動画ファイルのアップロード，閲覧状況
講評	<p>大変有意義であるとの感想が多く寄せられ、活発な意見交換がなされた。情報共有を行うことができた貴重な機会であった。</p> <p>なお、セミナー後、MS Office 365 Forms 上のアンケートを通して、教員からの感想・意見を聴取した。その結果を次にまとめる（回答者数：22）。</p> <p>Q1. 対面講義のオンデマンド化の方法について理解できましたか？  わかった 21, わからなかった 1</p> <p>Q2. 対面講義のオンデマンド化を試みようと思いましたか？  すでに実施している 6, 有用だとは思いますが、実施はしない 3,  有用だと思ったので、今後実施しようと思った・するかもしれない 12,  余裕のある時は実施するかもしれない 1</p>

テーマ	2017年から2021年にかけての本学卒業生の産業別就職状況の動向
目的・達成目標	近年の卒業生の就職状況を分析し、その結果を教員間で共有するため
担当教員名	経済学部 鈴木史馬 教授
実施日時	2022年7月14日(木) 14:00~14:30
開催形式	Zoomによるオンライン形式
出席人数(内訳)	25名
プログラムと構成	セミナー実施後、MS Office 365 Forms 上のアンケートを通して、教員からの感想・意見を聴取した。
講評	<p>ゼミ単位で把握されていた就職状況ではあるが、全体で情報共有できたことは大変有意義であるとの感想が多く寄せられ、活発な意見交換がなされた。今後の就職活動支援に反映させることができる貴重な機会であった。</p> <p>なお、セミナー後、MS Office 365 Forms 上のアンケートを通して、教員からの感想・意見を聴取した。その結果を次にまとめる(回答者数:23)。</p> <p>Q1:ゼミなどで学生の就職先をどの程度把握していますか?      しっかりと把握している 3, ゼミ等を担当していない 5,      なんとなく把握している 9, 把握していない 6</p> <p>Q2:ゼミや授業などで学生の就職活動の支援のための活動を実施していますか?      実施していない/実施する予定はない 10,      実施している/実施する予定である 13</p>

## 2-3 理工学部における FD 活動

テーマ	2022 年度 物理学 I 講師ミーティング
目的・達成目標	物理学 I, 物理学演習 I の授業担当者が集まり、取りまとめ教員から必要な連絡事項を伝えると共に、参加者全員で授業内容や方法に関する情報交換、意見交換を行った。顔合わせと情報共有の機会として、また、今後の情報交換をしやすい、よりの確で効果的な授業運営につなげることを目的としたものである。 毎年、前期後期の授業開始 1 週目または 2 週目に行っているミーティングであり、円滑な授業運営のために効果的であるため。
担当教員名	理工学部 浅野 雅子 教授、丸吉 一暢 准教授
実施日時	2022 年 4 月 12 日 (火) 16:50-18:00
開催形式	対面
出席人数 (内訳)	7 名 (理工学部専任教員 3 名、非常勤講師 3 名)
プログラムと構成	(1) 連絡事項 (ファシリテーター): 本年度の授業構成と概要、プレースメントテスト代替アンケートの実施、クラス分けに関する説明など (2) 各クラス担当教員の自己紹介と、1 週目の授業内容の報告、クラスの印象、工夫していることの紹介など (3) 質疑応答、意見交換
講評	特になし (講評を必要とする内容ではないため)

テーマ	情報基盤科目 顔合わせ会
目的・達成目標	担当教員との交流、共有事項の確認等のため
担当教員名	理工学部 山野井 瞳 准教授
実施日時	2022 年 4 月 21 日 (木) 16:50-18:30
開催形式	対面
出席人数 (内訳)	11 名 (専任教員 5 名、非常勤講師 6 名)
プログラムと構成	1) 高教センター 所長・副所長挨拶 2) 今年度の授業内容と TA/QLA 活用について 3) 教員自己紹介 4) 初回授業を終えての感想 5) 共有事項 6) 質疑応答、意見交換
講評	活発な意見交換のもと、授業運営に必要な情報を交換できた。

テーマ	IR 指標を用いた成績分布に関する意見交換会
目的・達成目標	2019 年度～2021 年度の期間における学年や科目及び旧学科別の成績分布を元に学部内で意見交換を行うこととした。コロナによるオンライン授業化が成績分布に及ぼした影響等を確認するとともに、参加者の意見を集計し可視化することで、理工学部全体での見解をまとめていくことを目的とする。
担当教員名	理工学部 岡本 秀輔 教授
実施日時	2022 年 7 月 13 日 (水) 16:00-16:30
開催形式	Zoom によるオンライン開催
出席人数 (内訳)	62 名
プログラムと構成	(1) IR 指標を用いた成績分布について解説 (2) 上記に関するアンケートベースの意見集約 (3) アンケート集計結果の講評
講評	当日のリアルタイムなアンケート結果として主に以下の結果が得られた。・大学の成績評価ガイドラインについて、過半数の教員はガイドラインを把握しており、かつ S の割合 15%及び A の割合 25%は妥当と考えた。・講義科目や実験/演習科目において S と A の割合を科目間で揃えた方が良いかについては、意見が割れた。・卒業研究の成績については旧学科間で傾向が異なる件に対し、学部として S と A の割合に目安があった方がよいという意見が一番多かったが、2 番目に研究室独自の判断で良いという意見があった。学部内で評価方法が大きく異なると学生にとって不公平感が生じてしまうが、研究室ごとに GPA 分布も異なるため単に S/A の割合を揃えるだけではない方法を継続議論する必要がある。・理工学部内及び大学内で成績の分布が違うことは気にならない意見が最も多かったことから、専門とする分野に応じて成績分布が異なるのは自然であると考えられる。

テーマ	大学院生の研究活動アンケートに関する意見交換会
目的・達成目標	理工学研究科を主体とした教育の質の向上につなげることを目的とし、大学院生に対して研究活動に関するアンケート調査を行い、その結果を教員間で共有及び意見交換会を実施し、今後の教育改善案等を検討することを目的とする。
担当教員名	理工学部 鎌村 星平 准教授
実施日時	2022年11月16日(水) 16:00-16:20
開催形式	Zoomによるオンライン開催
出席人数(内訳)	54(事後のアンケート回答者を含めると59)
プログラムと構成	(1) 大学院生の研究活動アンケート結果の確認 (2) 上記に関する教員からのアンケート回答による意見集約 (3) アンケート回答結果の講評
講評	<p>大学院生に対するアンケートは2022年10月3日から10月28日の期間で実施し、その結果を踏まえて2022年11月16日にFD研修会を実施した。当日の意見交換会においては、主に以下の結果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院生の研究時間については、時間だけを見ると少ない印象があったが、授業やその他の活動があることを踏まえた結果であることから、約半数の教員が妥当と考えた。</li> <li>・学生同士のコミュニケーション時間に関しては約8割の教員が妥当と回答し、教員と学生とのコミュニケーション時間は約7割弱の教員が妥当と回答した。一方でコミュニケーション時間が極端に少ない学生が存在しており、この点に問題意識を持った教員が多かった。</li> <li>・今回の結果を踏まえて、各自の研究室で結果を一緒に話し合ってみる、研究の動機付けを改めて行ってみる、または学生とのコミュニケーション時間を増やしてみるといった数多くの意見があがり、本研修会が大学院生教育の質の向上に大きく寄与できたと考える。</li> </ul>

## 2-4 文学部における FD 活動

テーマ	2022 年度文学部 FD 研修
目的・達成目標	文学部として組織的に教育、研究活動の開発に務める一貫としての研修の実施。
担当教員名	文学部 FD 委員会
実施日時	2022 年 7 月 13 日 (水)
開催形式	ZOOM によるオンライン開催
出席人数 (内訳)	38 名
プログラムと構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 趣旨説明</li> <li>② 「教育・研究のグローバル化に向けた AI 活用 —DeepL 翻訳を用いたデータ収集、外国語論文執筆—」 講師：英語英米文学科 日比野啓先生 (10 分)</li> <li>③ ZOOM ブレイクアウトルームに分かれて (1 グループ 4 名) 意見交換 (8 分) 議題：「ディスカッションへの学生の積極的な参加を促すには？」</li> <li>④ 意見交換の内容の報告・共有 (9 分)</li> <li>⑤ 成果物、アンケートの記載 (FORMS) (3 分)</li> </ul>
講評	<p>教育・研究への AI 活用として、翻訳精度が飛躍的に高くなっており、かつ多言語に使用できる DeepL の活用について日比野先生にご紹介いただき、知見を共有し各教員が自ら教育・研究に役立てる足掛かりとなった。学生をいかにディスカッションへ参加させるかという教員が共通して抱える課題について、教員間でアイデア、工夫をだしあい共有することができ今後の授業に生かすため大変参考になり有意義であった。</p>

## 2-5 法学部における FD 活動

テーマ	2021 年度学年別 GPA 分布の全学部全学科の比較
目的・達成目標	法律学科・政治学科それぞれの学年別 GPA 分布に，他学部の各学科および全学平均と比べてどのような特徴があるかを分析し，その背景について検討する。その分析・検討結果を，将来の各学科カリキュラムの改定時の参考資料として活用したい。
担当教員名	法学部 瀧 史彦
実施日時	2022 年 10 月 6 日(木)
開催形式	法学部教授会を一時中断して，教授会出席者全員の参加のもと FD 研修会を開催した。
出席人数（内訳）	法学部教員 33 名
プログラムと構成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料（2021 年度 GPA 分布グラフ 学年×学科）の提示</li> <li>2. 資料から読み取れる点の指摘，調査方法の限界についての指摘その他，資料の分析</li> <li>3. 資料分析を踏まえての，最近の学生の学力や成績評価のあり方，カリキュラムとの関連などに関する討論</li> </ol>
講評	単に法律学科・政治学科の GPA 分布の特徴について意見交換がなされただけでなく，近年の学生の書く力・読む力の低下傾向やコロナ禍でのオンライン授業における成績評価の問題点などについて広く議論することができ，大変有意義であった。議論の中でも指摘されたように，複数年度にわたり同内容の調査を継続して推移をみるのが重要であるので，今後も定期的に同様の FD を実施していきたい。

## 2-6 経営学部におけるFD活動

テーマ	「授業の運営において困っていること」についての意見交換
目的・達成目標	「授業の運営において困っていること」について情報共有をし、さらに、それらの解決策についての議論を行うことで、より良い授業運営方法を探求する。
担当教員名	田中 研太郎（経営学部）
実施日時	2022年6月23日（木）14時30分
開催形式	オンライン（Zoom）による開催
出席人数（内訳）	26名（学内26名）
プログラムと構成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研修会に先立って、「授業の運営において困っていること」についてのアンケートを Microsoft Forms を使って教員の皆様に実施した。</li> <li>2) 研修会に先立って、1)で寄せられた授業運営における問題点などを Microsoft Teams に投稿としてアップして、それらの解決策などについて教員の皆様にコメントしていただいた。</li> <li>3) 研修会においては、1)と2)で寄せられた授業運営における問題点についての意識の共有や、それらの解決策についての議論を行った。</li> </ol>
講評	<p>研修会に先立って行われた「授業の運営において困っていること」についてのアンケートでは、数多くの意見が寄せられた。それらを大きく分けると以下の10個のテーマにまとめられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教室内の温度管理はどうすればよいか</li> <li>2. コースパワーの使い方について</li> <li>3. アクリルボードがある教室での授業運営について</li> <li>4. 「出席扱い」の扱いについて</li> <li>5. 学生の氏名と顔を覚えるには</li> <li>6. 休み時間や空き時間についてと新設備へ対応できるかどうかの不安</li> <li>7. オンデマンド授業における履修者間の意識の差</li> <li>8. 卒業研究と就活のバランスについて</li> <li>9. 演習系の科目に関する情報共有の必要性</li> <li>10. 学生のモチベーション</li> </ol> <p>これらのテーマについて、Microsoft Teams のコメント欄や研修会において教員同士で問題意識を共有し、議論を行った。問題点に対するコメント・意見としては、例えば、アクリルボードがある教室でディスカッションをするときにお互いの声が届きにくく議論しにくい場合には、あえて教室内で Zoom を使ってディスカッションをすることで意思疎通がしやすくなる、という報告などがあった。他にも各教員の工夫やアイデアをいくつか聞くことができ非常に有意義だった。また、学生のモチベーションについての問題を議論した際には、一部の学生が「学業よりもバイトで頑張ることの方が就活でアピールできる」と勘違いしているという情報提供があり、そのような認識が良い結果を生まないということを何らかの形で教員側からも訴えかける必要があるのではないか、という意見などが出た。</p>

## 2-7 国際教育センターにおけるFD活動

テーマ	Giving Instructions
目的・達成目標	In this workshop, we will examine the giving of instructions, a skillset fundamental to effective teaching. Three areas will be focused upon: (1) Why - The reasons and purposes we have for giving instructions; (2) What - The information we communicate including the use of Japanese and/or English; (3) How - Techniques that we use (e.g., verbal, written, visual messages) together with the media employed to convey instructions, both electronic and non-electronic. The session aims to have teachers share their individual approaches, methods, materials, thoughts, and opinions, and thereby gain some ideas and understandings as to how we can improve our ability to tell students what we want them to do.
担当教員名	James William Bates
実施日時	July 12, 2022. 1:20 to 2:30 pm.
開催形式	Face-to-face session.
出席人数 (内訳)	8名
プログラムと構成	In the session, we discussed set questions firstly in smaller groups, and then as a whole group. These questions were about how lessons are started and finished, how homework is given, students photographing chalk/white boards, and our usage of chalk/white boards and copy machines.
講評	In our Faculty Development workshop on the giving of instructions, we had discussions based on a set of questions concerning the starting/finishing of lessons, giving homework requirements, chalkboard/whiteboard usage, and the use of copy machines. The discussions had a practical focus in which participants shared their various communication techniques and examples of content, such as target vocabulary, quizzes, assignment requirements and lesson plans. All seemed very interested to hear what others are doing with their classes, and happy to tell of their personal experiences. A common underlying theme of the discussions was traditional media (e.g., paper, chalk/white board) versus “new” media, such as Internet based tools like Course Power and the use of smartphones. Teaching (and hopefully student learning) appears to have benefited greatly from adopting new technologies, as we were able to explain and describe how these systems have made our work easier while maintaining educational standards. However, the advantages of much older methods (e.g., our voice, printed handouts, creative use of the chalk/white board) were also noted, as utilizing such media is often a simple yet efficient means of getting instructions and other various messages across.

テーマ	Teacher Roles and Student Expectations
目的・達成目標	S. I. I. S. FD workshop aims to maintain and further improve the quality of teaching content and methods among the assistant lecturers who provide English classes.
担当教員名	SIIS Associate Lecturer James William Bates
実施日時	Tuesday, November 15, 2022
開催形式	Face-to-face.
出席人数（内訳）	Eight people.
プログラムと構成	Workshop (small group discussion).
講評	<p>In this workshop, we covered the topics of teacher roles and student expectations. Participants indicated an appreciation for being able to discuss different aspects of our work as teachers, noting how: (1) the list of teacher roles is surprisingly extensive; (2) these roles are both conscious and unconscious; (3) certain roles can be desirable and others not so desirable. It was also interesting to observe from these discussions how we often set clear limitations and parameters onto our teaching roles, to maintain efficiency and professional standards. Discussions concerning student expectations of teachers seemed to blend well with the previous topic. Taking on a student perspective made us think more about the student/teacher relationship, how we can offer quality help and support, and had us thinking more about our own teacher-identity. The workshop provided an opportunity for self-reflection, and enabled us to see into the world of our colleagues. For myself as facilitator, it underscored the view that working as a teacher is a highly individualized experience.</p>

テーマ	日本語プログラムの教科書分析
目的・達成目標	本学で開講されている日本語プログラムのカリキュラムに即した教材選定のために、複数の教科書を分析・比較する。
担当教員名	川上 麻理（国際教育センター） 山下 順子（国際教育センター）
実施日時	2月22日 13:00-14:00
開催形式	成蹊大学1号館2階日本語(対面)
出席人数（内訳）	2名
プログラムと構成	
講評	<p>近年の海外協定校の増加に伴い、来日する外国人留学生の日本語レベルが多様化している。今後の留学生数の増加を見据え、日本語プログラムのレベル設定の再考が必要だと考えられる。このことに関連し、本 FD では、レベル設定に即した教科書について分析を行った。まず、現在使用中の教科書に加えて、近年刊行された比較的新しい教科書を分析対象とし、多様な観点から教科書の活用方法について話し合った。特に、本学の日本語プログラムに適する教材として、「話す・書く・読む・聞く」の 4 技能の育成を目指した総合教科書について調査した。また、本学でのレベル設定と教科書の関連について相談し、漢字クラスにおけるレベル間の連携がより密接なものになるよう話し合いを行った。</p> <p>&lt;分析対象の教科書&gt; ・中級へ行こう 日本語の文型と表現 55（スリーエーネットワーク） ・中級を学ぼう 日本語の文型と表現 56 中級前期（スリーエーネットワーク） ・中級を学ぼう 日本語の文型と表現 56 中級前期（スリーエーネットワーク） ・生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語（ジャパントイムズ） ・4 技能でひろがる 中級日本語カルテット I（ジャパントイムズ） ・4 技能でひろがる 中級日本語カルテット II（ジャパントイムズ） ・上級へのとびら：コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語（くろしお出版） ・An Integrated Approach to Intermediate Japanese（ジャパントイムズ）</p>

3. 2022年度 FD活動報告  
(高等教育開発・支援センター)

### 3-1 高等教育開発・支援センター

高等教育開発・支援センターは、大学の理念、教育改革方針に沿って教育の質的転換の流れを生み出し、時代に即した優れた人間力を持つ人材を輩出するための高度な教育方法を ICT 活用の面から支援するために、旧情報センターを改組して設置された。

当センターは「大学の教育改革方針に沿って、各部署と連携しつつ、学部・研究科を支援し、教育の質的転換の流れを生みだすこと」をコンセプトに、「組織的な教育力の向上の支援」を任務として、学部・研究科等の FD 活動全般にわたる支援業務を扱い、授業方法の改善に不可欠な ICT 活用に係る教育（e-learning を含む）も重要な業務として位置付けるとともに、情報システム等の管理・運営等も所管する組織として設置している。

FD 業務では、大学教員にて構成されるセンター所長・所員を中心に、学部横断的な全学視点での FD 活動を企画・運営しているほか、QLA を通じた人的な面からの授業支援にも取り組んでいる。

### 3-2 FD 研修会／FD セミナー

#### 3-2-1 FD 研修会概要

高等教育開発・支援センターでは、全学横断的な視点で FD 研修会／FD セミナーを主催している。基本的には学外公開を前提とした広範なテーマを選定し、主催しているが、本年度はコロナ禍であるため学内公開に限定し、開催した。

#### 3-2-2 2022 年度開催実績

2022 年度においては、以下の通り開催した。

##### (1) アドミッションセンター事務室／高等教育開発・支援センター共催 FD 研修会

新たな取り組みとして、アドミッションセンター事務室との共催による著作権セミナーを開催し、後述する高等教育開発・支援センター主催の著作権をテーマとした FD 研修会と連動する形にて実施した。

テーマ	著作権まるわかり！～入試問題編～
目的・達成目標	入試問題を作問するにあたり、著作権関係で注意しなければならない点について知り、実際の業務に活かすため。
担当教員名	一般社団法人日本著作権教育研究会 理事（法務担当）事務局長 内田弘二氏
実施日時	2022 年 7 月 27 日（水）
開催形式	Zoom によるオンライン開催
出席人数（内訳）	37 人（専任教員 27 人、職員 10 人）
プログラムと構成	ケーススタディを含む講演 60 分、質疑応答 30 分
講評	参加者からは以下のような意見が挙げられた： ・入試の本番で利用した後に問題の公開において著作権処理が大切となることを認識した ・入試問題のみならず研究指導における素材の著作権の取り扱いについても参考になった

(2) 高等教育開発・支援センター主催 FD 研修会

高等教育開発・支援センターでは、学部等における FD 活動の更なる支援の視点から、学部横断型として全学的に共有すべき題材をテーマとして選定し、FD 研修会を随時開催している。

テーマ	Zoom 活用セミナー【初級編】
目的・達成目標	新型コロナウイルス感染症拡大とともに普及した遠隔授業の円滑な運営のため、本学で導入している遠隔会議システム『Zoom』の活用方法を広く共有する
担当教員名	Zoom Video Communications Japan 株式会社 カスタマーサクセスマネージャー 片山 旭 氏
実施日時	2022 年 4 月 5 日 (火)
開催形式	オンライン形式
出席人数 (内訳)	5 名 (専任教員 1 名、非常勤講師 4 名)
プログラムと構成	講師からの説明+質疑応答
講評	わかりやすい説明だった、授業に活用できそうだとの意見が寄せられた。

テーマ	教室視聴覚設備の操作説明会
目的・達成目標	本学の教室設置の視聴覚設備 (プロジェクターやマイク) 及び遠隔授業対応設備の操作説明 1) 一般教室の視聴覚設備操作手順 2) Web カメラを用いた講義型授業のライブ配信と収録 3) 教室備付の自動追尾カメラを用いた講義型授業のライブ配信と収録 4) ME (Zoom 内蔵オールインワンディスプレイ) を用いた双方向型授業
担当教員名	高等教育開発・支援センター教育開発・支援課
実施日時	2022 年 4 月 8 日 (金) 10 時 00 分~11 時 30 分 15 時 00 分~16 時 30 分
開催形式	オンライン形式 (後日オンデマンド配信)
出席人数 (内訳)	21 名 (非常勤講師 2 名)
プログラムと構成	講師からの説明+質疑応答
講評	新年度に向け、設備利用に対する認識を深めることができた

テーマ	Zoom 活用セミナー【活用編】
目的・達成目標	新型コロナウイルス感染症拡大とともに普及した遠隔授業の円滑な運営のため、本学で導入している遠隔会議システム『Zoom』の活用方法を広く共有する
担当教員名	Zoom Video Communications Japan 株式会社 カスタマーサクセスマネージャー 片山 旭 氏
実施日時	2022 年 4 月 28 日（木）
開催形式	オンライン形式
出席人数（内訳）	4 名（非常勤講師 4 名）
プログラムと構成	講師からの説明＋質疑応答
講評	Zoom による授業の受講者側からの理解が深まった、定期的を開催して欲しいとの意見が寄せられた。

テーマ	「著作権まるわかり！～遠隔授業編～」
目的・達成目標	新型コロナウイルス感染症拡大とともに普及した遠隔授業を行う際に注意すべき著作権法とその対応方法について学び、よりよい授業を実施するため。
担当教員名	福岡教育大学 教育学部 大和 淳 教授
実施日時	2022 年 7 月 21 日（木）（後日オンデマンド配信）
開催形式	オンライン
出席人数（内訳）	55 人（専任教員：22 人、非常勤講師：9 人、職員：24 人）
プログラムと構成	講義 90 分、質疑応答 30 分
講評	参加者からは以下のような声が挙がった： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースによってはグレーな部分もあると知ったので、授業利用の中でも利用目的が明確になるような（説明できるような）使い方を心がけたい。</li> <li>・まず「改正著作権法第 35 条運用指針」により理解を深め、今回のセミナーを活かしていきたい。</li> <li>・教育関係であることの例外規定とその限度について学ぶことができた。</li> </ul>

# 著作権まるわかり！

『教材を作るとき』から『教材を使うとき』まで  
押さえておきたいポイント、お伝えします！

学内限定公開なら、問題ない？

外部に公開するとき、自分の著作権ってどうなるの？

YouTubeの動画をオンデマンド教材として使ってもいいの？

経済学部 皆さん！

11月に  
「授業目的公衆送信」  
利用報告調査ありますよ

☺\_☺;;

その1

著作権制度の概要

その2

教材作成、  
授業・入試等で  
他者の著作物  
を利用するときの  
著作権の考え方

その3

教員自身の著作権

その4

授業目的公衆送信  
補償金制度

日にち：2022年7月21日(木)

時間：13時30分～15時30分

開催形式：Zoomによるオンラインで実施

※後日、オンデマンドでも配信いたします。

対象者：本学教職員（小学校、中学・高等学校の皆さまも大歓迎です！）



お申し込みはこちら！



福岡教育大学 教育学部 大和 淳 教授

1986(昭和61)年に文化庁著作権課勤務以来、文部省初等中等教育局高等学校課、浦安市教育委員会教育総務部長、横浜国立大学大学院国際社会科学研究所助教授、国立教育政策研究所総括研究官等の職務の中で、著作権制度に係る法制の企画や指導行政、初等中等教育における教育調査行政、著作権に関する教育研究に従事し、2016(平成28)年4月より現職。

本学(法学部)では、平成17年度～18年度に非常勤講師として「著作権法」を担当。

2019(令和元)年より、授業目的公衆送信補償金制度に係る運用指針策定のため、「著作物の教育利用に関する関係者フォーラム」に委員として参加。

高等教育研究・支援センター

テーマ	高等教育開発・支援センター主催 FD 研修会「Teaching から Learning への視線の転換～授業アンケートを（一旦）止めた大阪府立大学での取り組み～」
目的・達成目標	大阪府立大学の授業アンケートの改革、e ポートフォリオの作成等の実例を通して
担当教員名	大阪公立大学 高等教育研究開発センター副センター長 星野聡孝氏
実施日時	2022 年 10 月 14 日（金）
開催形式	対面（6 号館 6 階会議室）
出席人数（内訳）	21 人（専任教員 11 人、非常勤講師 1 人、職員 9 人）
プログラムと構成	講演会 75 分（講演 55 分、質疑応答 20 分） 懇談会 90 分
講評	<p>当日のアンケートでは、以下のような声が挙がった：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の授業改善のみに主体をおくのではなく、学生の学修改善を目的としていることに関心を持った。</li> <li>・教学マネジメント指針にある学修者本位（学生ファースト）の意識・考えと、学生のために真摯な対応をされていることを直接感じる事が出来、何よりも学生に対する思いがあればということが大切だと感じた。</li> <li>・教員と学生それぞれの授業に関する相互にプラスに働くような実質的な FD 活動を少しずつでも推進できればと感じた。</li> </ul>

FD研修会

# TeachingからLearningへの 視線の転換

～授業アンケートを（一旦）止めた大阪府立大学での取り組み～

授業評価  
アンケートの  
見直しから  
Eポート  
フォリオの  
導入まで

授業評価から  
自己学修評価への  
視点の転換

FD活動推進を  
考えるための  
二つの視点

日時 10月14日（金）  
13:10～14:40

場所 6号館6階 会議室  
※後日、オンデマンドでも  
配信いたします

対象者 本学教職員



お申し込みはこちらから

URL: <https://forms.office.com/r/TGDJYFRd8t>



講師 大阪公立大学国際基幹教育機構 **星野 聡孝** 教授

京都大学理学研究科博士後期課程を研究指導認定退学後、有機エピタキシャル超薄膜界面構造の研究で学位取得。京都大学大学院理学研究科助手を経て、2005年より大阪府立大学総合教育研究機構物理分野助教授に着任。2008年より大阪府立大学総合教育研究機構（のちの、高等教育推進機構）教授、2017年より（2022年3月まで）高等教育推進機構副機構長を務める。この間、2007年より大阪府立大学高等教育開発センター所員を兼務し、その後、主任、副センター長、センター長として、学内のFD活動推進に取り組む。現在は大阪公立大学国際基幹教育機構の教授を務める傍ら、高等教育研究開発センターの副センター長、教育学修支援室 教育支援系システム部門長も務めている。

テーマ	デジタルネイティブ学生が求める大学授業スタイル
目的・達成目標	いまなおコロナ禍で授業のオンライン化が進む中、デジタルネイティブ世代の学生にあわせて 授業をどう変えていくべきかについて議論し、理想的な授業形態とより良い授業実現への 課題発見と解決に向けての情報共有をすること。
担当教員名	宋 瑞苑 先生（本学非常勤講師）
実施日時	2022年11月11日（金）
開催形式	zoomによるオンライン開催 後日、オンデマンドでも配信
出席人数（内訳）	15人
プログラムと構成	講演 40分 質疑応答 20分
講評	最先端のデジタル技術を活用した授業形式の提案はとても充実した内容であった。また、 デジタルネイティブ世代が求める講義スタイルについても言及されており、授業担当者にとっては 助けになるものであった。さらには、成蹊大学および成蹊大学生の特徴を的確に把握されており、ここで提案された 授業形態は有益なものであった。 セミナー後には活発に意見交換がなされ、今後の課題について議論した。

テーマ	「MOOC まるわかり！～事例から見る研究科活用編～」
目的・達成目標	反転授業をはじめとする「映像教材を活用した授業運営」の本学の事例報告による映像授業の必要性と活用方法の理解を深めると共に、特に技術革新の著しい理工系や時代の変化が激しい IT 系技術、財務・法務分野における「MOOC」の持つリアルタイム性の特徴を交え、専門性の高い大学院教育に特化した形にて活用法を理解する。これらの総合的な理解により、本学の研究科教育活動を軸に、学部教育・国際化を踏まえた授業展開の一助をめざす。
担当教員名	講師： 宮川 繁 氏 （マサチューセッツ工科大学（MIT）教授、本学 Society 5.0 研究所特別顧問） パネリスト： 井上 智夫（本学経済学部教授） 小川 隆申（本学理工学部教授） 平野 多恵（本学文学部教授）
実施日時	2022 年 11 月 14 日（月）13 時 10 分～14 時 50 分
開催形式	Zoom によるオンライン形式（後日オンデマンドにて公開）
出席人数（内訳）	22 名（リアルタイム配信視聴者・教員 14 名・事務職員 8 名）
プログラムと構成	第 1 部「本学の映像活用授業の現状と展望」 反転授業をはじめとする「映像教材を活用した授業運営」を実践されている学内教員 3 名による事例報告 第 2 部「MOOC から見る世界の教育事例と本学研究科教育への活用提案」 技術革新の著しい理工系や時代の変化が激しい IT 系技術、財務・法務分野における「MOOC」の持つリアルタイム性の特徴を交え、専門性の高い大学院教育への活用法とともに、学部教育・国際化を踏まえた授業展開への導入提案
講評	FD 活動の強化を目的とした、高等教育開発・支援センター主催の FD 研修会。本年度は、「まるわかり」をキーワードに、タイトルを簡潔かつ明瞭に提示する一方、基礎から学び、かつ即戦力となる活用提案を目的に、著作権に続く第 2 弾として今回は「Mooc」をテーマとして開催した。本学において、研究科教育を軸とした FD は初の試みであったが、当センターが掲げる FD 活動の拡充には必要不可欠な視点であるとの認識から、今回の企画を実施した。企画にあたり、研究科ゆえの特徴を持つ授業をそのまま発表するのでは、各研究科のもつ専門性に特化したものとなり、オールマイティなものとはならないことから、悩ませるテーマ選定となったが、本学教員からの「学部での映像活用事例」を挟む 2 部構成とし、宮川氏からは「本学の事例との対比によって、研究科に利用できる授業の提案を行う」というスタイルとすることで、結果的には学部授業にも活用できる内容になったものと考えている。100 分という時間枠の中で、4 名の講師に講演いただくという贅沢な構成となり、シリーズ化して複数回の開催でも良かったのではないかとも思える内容となったが、シンプルかつ要点を捉えた凝縮した構成によって、伝えたいべきポイントがしっかり伝わり、授業改善を考える教員には、有効な情報提供ができたものと考えている。

FD研修会

# MOOC まるわかり!

事例から見る研究科活用編

世界の大学・機関により作成・提供されている大規模公開オンライン講座「MOOC」をテーマに2部構成で開催します。本学における映像授業の活用事例の紹介と共に、世界的な活用が進む「MOOC」とはどのようなものか、また、どのように研究科教育に活用していくべきか、今後の研究科教育の可能性を探ります。

## 第1部「本学の映像活用授業の現状と展望」

パネリスト：井上 智夫氏（経済学部教授）  
小川 隆申氏（理工学部教授）  
平野 多恵氏（文学部教授）

## 第2部「MOOCから見る世界の教育事例と 本学研究科教育への活用提案」

講師：宮川 繁氏（マサチューセッツ工科大学（MIT）教授、  
成蹊大学Society 5.0研究所特別顧問）



世界に先駆けてMITの授業をインターネットで配信する大規模公開オンライン講座、オープンコースウェアや「MOOC」の立ち上げ・運用に深く携わる。近年では、MITオープン・ラーニング副担当学部長とともに、2014-2019年には東京大学特任教授を務める。

**開催日時** 2022年11月14日（月）  
13時10分～14時50分

**開催形式** Zoomによるオンライン開催  
※後日オンデマンドでも配信いたします

**対象者** 本学教職員（非常勤講師を含む）

お申込はこちらから  
11月9日（水）まで



高等教育開発・支援センター

## 3-3 授業研究会

### 3-3-1 授業研究会概要



※写真は 2019 年度開催時

高等教育開発・支援センターでは、各学部所員を主体とした授業研究会（授業参観）を概ね年 1 回、計 4 回程度実施している。実施にあたっては「授業研究会ガイドライン」に則り、学部間における質の担保を図っている。

同研究会は、授業参観と研究会の 2 部構成となっており、授業担当者及び参観者両者への教育の質的改善の観点から、両方への出席を原則としている。なお、各学部が授業を公開する形式であるが、参観者については非常勤講師を含む大学全教員を対象とし、異なる学部の授業参観も可能としている。

授業研究会の授業選定にあたっては、これまで学部内での推薦に基づき行っていたが、昨年度からは後述する「成蹊ティーチングアワード」受賞者との連携など、より効果を高める選定プロセスと基準の明確化を図り、改善を行った。

### 3-3-2 2022年度開催実績

本年度における開催実績は、以下の通りである。

#### (1) 経済学部

テーマ	授業研究会（経済学部）
目的・達成目標	「授業を意識化し、優れた点や問題点を発見することで、教員のより良い授業改善につなげること」（ガイドラインより抜粋）
担当教員名	経済学部 財城真寿美 教授
実施日時	2022年12月9日（金）
開催形式	対面
出席人数（内訳）	5名（講師・ファシリテーターを含む）
プログラムと構成	授業観察（100分）及び研究会（60分）
講評	反転授業やアクティブラーニングを実践されている授業ということで、授業が通常の講義形式とは違い、参加者全員が素晴らしいと絶賛し学ぶことの多い授業観察及び研究会となった。参加者の間でも授業の方法について議論したりし、有意義な会であった。

#### (2) 理工学部

テーマ	授業研究会（理工学部）
目的・達成目標	講義「ビッグデータ解析」を聴講したうえで、参加者それぞれが当該授業への参加を通じて学んだことを振り返り、授業がより豊かで創造的なものとなるような議論を行い、自らの授業改善へ向けてのフィードバックを行う。
担当教員名	講師：理工学部 村松 大吾 教授 ファシリテーター：理工学部 鎌村 星平 准教授
実施日時	2022年12月21日（水）10：40～12：20 13：30～14：30
開催形式	Zoomによるオンライン開催
出席人数（内訳）	・授業観察：5名（ファシリテーター含む） ・授業研究会：5名（講師、ファシリテーター含む）
プログラムと構成	授業観察(100分)と授業研究会(60分)
講評	第1部の授業観察においてはビッグデータ解析に関する理論と実践を学ぶ高度な内容であったが、学生自らプログラムを動かす演習や、デジタル学習プラットフォームを用いたゲーム感覚の学びを取り入れるなど、理解を深める工夫が随所に見られた。第2部の授業研究会においては、上記のポイントに加えて、話すスピードの心地よさなど講義担当者も気付いていなかった良さを引き出した点、また参加者全員が今回の様々な気付きから今後のアクションプランを立案できた点で、大変有意義な会であった。

### (3) 文学部

テーマ	授業研究会
目的・達成目標	「授業を意識化し、優れた点や問題点を発見することで、教員のより良い授業改善につなげること」
担当教員名	講師：文学部 有富先生 ファシリテーター：文学部 平山真奈美
実施日時	2022年9月30日（金）
開催形式	対面
出席人数（内訳）	授業観察：6名、授業研究会：6名
プログラムと構成	授業観察及び授業研究会

### (4) 法学部

テーマ	授業研究会（法学部）：塩澤 一洋 先生「知的財産法Ⅰ」
目的・達成目標	対象となる授業を観察したうえで、参加者それぞれがその体験を通して学んだことを振り返り、授業がより豊かで創造的なものとなるような議論とフィードバックをおこなうことを通じて、授業担当教員を含めた参加者全員の授業改善へ向けたヒントを得る。
担当教員名	授業担当教員：塩澤 一洋（法学部教授） ファシリテーター：淵 史彦（法学部准教授）
実施日時	2022年10月28日（金） 8時50分～10時30分（授業観察） 10時40分～11時50分（研究会）
開催形式	授業観察・研究会とも対面（授業観察：6-301教室，研究会：6-602A会議室）
出席人数（内訳）	合計9名（授業担当教員1名，ファシリテーター1名，他の参加者7名）
プログラムと構成	第1ステップ：参加者による事前準備 第2ステップ：授業観察 第3ステップ：研究会
講評	「授業の導入として学生に前回の Review をさせる」「答えやすい単純な質問も取り混ぜた発問によって学生の発言を促し、学生の発言を常に肯定的に受けとめて手を挙げやすい雰囲気を作る」「タブレットのペン入力による資料へのハイライトや書き込みを駆使することで、板書に要する時間を省きつつ適度なライブ感を演出する」「事前のレジュメは作らず、学生との対話の流れに応じて教える内容を変えていく」などの印象的な工夫が詰まった授業であり、参加者からは参考になったとの感想が多く聞かれた。授業後の研究会でも、「シラバスの記載内容と、実際の授業の進め方とは一致するべきか」など、FDという観点からみて基本的かつ重要な問題について、さまざまな立場から自由に活発な意見交換がなされ、大変有意義であった。

(5) 経営学部

テーマ	授業研究会（経済学部、広告と市場、広告効果の測定）
目的・達成目標	授業を視聴したうえで、参加者それぞれが当該授業への参加を通じて学んだことを振り返り、授業がより豊かで創造的なものとなるような議論を行い、自らの授業改善へ向けてのフィードバックを行う。
担当教員名	講師：経営学部 河塚 悠 先生 ファシリテーター：経営学部 高橋 史郎
実施日時	2022年6月29日（水） 15時から17時45分
開催形式	リモート・オンライン形式
出席人数（内訳）	合計6名（内訳：講師1名、ファシリテーター1名、参加者4名）
プログラムと構成	第1ステップ： 参加者による事前準備 第2ステップ： 授業観察の実施 第3ステップ： 授業研究会の実施
講評	河塚先生の「非常に有益な御指摘・御提言をいただき、非常に勉強になりました。ご参加いただきました先生方の御苦勞や工夫にも触れることができ、もっとこういった情報共有・議論の機会があればいいなと思った次第です。」というインプレッションに集約されますが、エキサイティングで実りのある授業研究会でした。

## 3-4 新任教員研修

### 3-4-1 新任教員研修概要

高等教育開発・支援センターでは、本学に着任した大学専任教員・常勤講師に対し、教育・研究活動が円滑に開始できるよう、毎年4月に新任教員研修を実施している。なお、本年度はコロナウイルス感染拡大が続く現状を鑑み、規模を縮小の上、オンライン形式により実施し、別途質問期間を設けることにより、双方向による対応策を確保した。

### 3-4-2 2022年度開催実績

担当：高等教育開発・支援センター教育開発・支援課（FDチーム）

形式：オンラインによるオンデマンド形式（視聴時間およそ90分）

日時：2022年4月1日（金）10:00～同29日（金）17:00

内容：

1. 高等教育開発・支援センター所長挨拶
2. 高等教育開発・支援センターの役割、FD活動の紹介とその意義、補助金との関係
3. 高等教育開発・支援センター説明
4. 情報機器の貸出手順（ヘルプデスク）
5. 学生へのサポート体制（サポートデスク）
6. QLAとその役割
7. 一般教室視聴覚設備（大学2・5・8号館）の操作説明
8. 遠隔授業実施手順の案内

対象：2022年4月1日付採用新任教員（大学教員・常勤講師）

## 3-5 シラバスワークショップ

### 3-5-1 シラバスワークショップ概要



※写真は 2019 年度開催時

高等教育開発・支援センターでは、シラバスの記入要領が開示となる 12 月に「シラバスワークショップ」を例年開催している。講義内容が学生に伝わりやすい表現方法は何か、学生の学ぶ力を引き出す効果的な学習方法とは何かなど、授業設計を明確にする観点から、記入方法を理解するための講師による講義と、学生アシスタントの QLA を活用したシラバス案についてのワークショップという 2 部構成により、シラバスの作成方法を効果的に身に着けることを目的とする。

### 3-5-2 2022 年度開催実績

本年度のシラバスワークショップについては、コロナウイルス感染状況に鑑み、開催を見合わせることにした。

## 3-6 CALL 活用勉強会

### 3-6-1 CALL 活用勉強会概要

高等教育開発・支援センターでは、授業で利用する教員または今後利用する可能性のある教員を対象に、授業開始時期の春と秋の 2 回、語学学習用システムである CALL システム (CaLaboEX) の操作方法について講習会を実施しており、基本操作方法の習得による活用の拡大を図っている。

### 3-6-2 2022 年度開催実績

本年度の CALL 活用勉強会については、コロナウイルス感染状況に鑑み、開催を見合わせることにした。

## 4. 教育活動表彰制度

(成蹊ティーチングアワード)

## 4-1 成蹊大学教育活動表彰制度

### 4-1-1 成蹊大学教育活動表彰制度概要

本学では、教育において優れた功績を挙げた教員を顕彰するため、2016年2月より「成蹊大学教育活動顕彰制度」を制定しており、「優れた授業を行っている」、もしくは「授業改善への取り組みを顕著に行っている」教員に対し、その功績を「成蹊ティーチングアワード」として表彰を行っている。なお、選考にあたっては、学生からの「授業評価アンケート」の結果についても評価項目として加味している。

### 4-1-2 2021年度成蹊大学教育活動表彰制度「成蹊ティーチングアワード」受賞者

前年度に優れた取り組みを行った教員について、翌年度前期に選定しており、2021年度対象者として以下の8名が受賞している。

氏名	所属・役職	主な科目名
財城 真寿美	経済学部教授	地球環境問題、GISゼミナール、気象と地球環境
伊藤 克容	経営学部教授	戦略支援システム、管理会計
上田 泰	経営学部教授	人間行動と組織、戦略的問題解決型プロジェクト演習A
河塚 悠	経営学部講師	広告と市場、マーケティング研究
植田 高寛	理工学部助教	物理シミュレーション、情報基礎
齋藤 文	理工学部助教	C++プログラミング実験I、離散数学、確率統計
久野 翔太郎	理工学部助教	CADII、システムデザイン実験I
北川 徹	法学部教授	商法I、演習IIA(起業家体験プログラム)

## 5. 奨励金制度

## 5-1 奨励金制度

本学では、教育活動の充実を目的として、以下に掲げる3つの奨励金を創設し、公募を行っている。

## 5-2 ブリリアントプロジェクト奨励金

### 5-2-1 ブリリアントプロジェクト奨励金概要

各学部、各学科または各機関（複数の組織合同で構成するものでも可。以下「学部等」という。）において、本学、各学部等における特色ある教育を推進するためのプロジェクトを支援し、その成果を大学ブランディングに役立てていくことを目的として、教職員（複数名）と学生が協働して運営し、一定の期間（複数年度）活動を行うプロジェクトを公募のうえ、適当と認めるプロジェクトに対し、奨励金を通じて支援する制度である。

### 5-2-2 申請要件

申請に際しては、以下の要件を必要とする。

- (1) 学部等の DP（学位授与の方針）、CP（教育課程編成の方針）と関連した学部等の特色ある教育の推進に密接な関連性を有すること
- (2) 学部等が組織的に運営し、かつ、学生が運営等種々活動に主体的に参画していること
- (3) 成果が可視化できること
- (4) 一定期間（複数年度）にわたって継続して行うものであること
- (5) このプロジェクトが「大学ブランディング」に寄与するものであること

### 5-2-3 支援期間

要件を有した、専任教員（教授、准教授、講師、特任教授）がプロジェクト責任者となり、複数の教職員および学生がその運営や活動に関わっている事業であるものについて、最大4年間の支援

### 5-2-4 公募期間

2022年3月～8月31日

（ただし、公募期間中であっても予算上限に達した場合は公募を締め切る場合がある）

※継続事業と新規事業の合計件数を勘案し、

審査は、全学FD委員会で行い、学長が決定する。

### 5-2-5 奨励金

本プロジェクトの奨励金は、学長裁量予算を原資とし、原則として1プロジェクトあたり、年度ごとに50万円を上限とする。ただし、審査において学長が特に認めた場合には、「大学奨励プロジェクト」として、1年度最大100万円まで認める場合がある。

奨励金の申込みは、事業継続中は毎年度行わなければならない。また、事業継続中は毎年度の末に所定の様式による成果報告書を提出する必要があり、本書の提出が次年度継続のための要件とする。

#### 5-2-6 2022年度実績

本年度は、継続2件が採択されている。

## 5-3 プロジェクト型授業奨励金

### 5-3-1 プロジェクト型授業奨励金概要

学生に課題探求能力を習得させるためのアクティブラーニングの充実の観点から その一形態としてのプロジェクト型授業（PBL: Project Based Learning）に対し、奨励金を通じて支援する制度である。

### 5-3-2 申請要件

申請に際しては、以下の要件を必要とする。

- (1) 学外の特定の組織等（例：地方自治体、企業、非営利団体、商店街等）と連携し、当該組織等の課題解決（例：新商品・サービス・経営戦略・地域振興方策の企画立案等）に学生に主体的に関与させることを目的とした授業であること
- (2) 学外の特定の組織等との合意に基づいて実施していること
- (3) 所定の様式による「プロジェクト型授業報告書」を提出すること。この際、成果がわかる書類（例：学外組織と共同で実施した報告会の記録等）がある場合には、参考資料として提出すること。
- (4) 私立大学等改革総合支援事業（補助金事業）において、例年 PBL（課題解決型）授業に関する質問項目があり、PBL（課題解決型）授業であることをシラバスにおいて学生に対し明示していること
- (5) 本学専任教員・全学教育講師・常勤講師・客員教員が担当する授業であること。ただし、授業担当者が非常勤講師の場合には、専任教員が窓口となっていればかまわない

### 5-3-3 支援期間

申請年度とする。

### 5-3-4 公募期間

2022年3月～10月末日

（ただし、公募期間中であっても予算上限に達した場合は公募を締め切る場合がある）

審査は、全学 FD 委員会で行い、学長が決定する。

### 5-3-5 奨励金

本プロジェクトの奨励金は学長裁量経費を原資とし、原則として一授業当たり 10 万円を上限とし、年間 10 件程度を支援の目安とする。

なお、奨励金による支出は交通費、講師謝金、印刷費、通信費等、授業の運営に直接必要な経費が相当し、会議費は、学外の特定の組織などの参加がある場合のみとする。なお、アルコール飲料の支出は不可とする。

### 5-3-6 2022 年度実績

本年度は、新規 3 件が採択されている。

## 5-4 教育改革・改善プロジェクト奨励金

### 5-4-1 教育改革・改善プロジェクト奨励金概要

「教育改革・改善プロジェクト」は、本学において必要になった、教育上の課題で特に迅速に対応することが重要と認められたものに対して、学長裁量予算から「教育改革・改善プロジェクトに係る経費」を支給することにより、本学の教育活動の一層の活性化を推進し、教育水準の向上及び発展を図ることを目的とした制度である。

### 5-4-2 申請要件

申請に際しては、全学的に教育改革・改善を推進することを目的としたプロジェクトであることを要件とする。

### 5-3-3 支援期間

申請年度とする。

### 5-3-4 公募期間

2022年3月～8月末日

(ただし、公募期間中であっても予算上限に達した場合は公募を締め切る場合がある)

審査は、全学FD委員会で行い、学長が決定する。

### 5-3-5 奨励金

本プロジェクトの奨励金は、学長裁量経費を原資に、原則として1件当たり上限100万円とし、年間3～4件程度が支援の目安となる。

※複数年度にわたっての活動を行う場合には、プロジェクト経費は年度ごとの申請となり、上限額は年度ごととなる。

年度末に、当該年度に係る成果報告書の提出が必要である。

### 5-3-6 2022年度実績

本年度の採択実績はない。

## 6. 成蹊大学公認学習補助員 (QLA)

## 6-1 成蹊大学公認学習補助員 (QLA)

### 6-1-1 成蹊大学公認学習補助員概要

本学では、FD 施策の一環として、前身となる学生アシスタント「上級 SA」制度を発展改組する形にて、2018 年度より「成蹊大学公認学習補助員 (Qualified Learning Assistant、以下「QLA」という)」制度を開設、運用を行っている。

学生が QLA として活動するためには、「QLA 育成プログラム」の受講等、後述する要件の充足を必須としており、全要件を満たした認定者は、後掲の通りに上昇傾向で推移している。

SA/TA との相違点として、QLA は FD 活動の一助を担う位置づけであることが挙げられる。学生や教員へのアシスタント的な役割よりも、QLA から学生視点による改善意見や、授業後の反省を踏まえた提案を行う体制、教員の授業改善に活用しているという点が挙げられ、「教員と学生の連携による授業改善」という FD 要素を強く持った、従前の枠組みとは異なったアシスタント制度である。

### 6-1-2 QLA になるための要件

QLA の要件は以下の通りである。

- (1) 「QLA 育成プログラム」の受講
- (2) 「上級救命講習」修了証の修得※

※ 2020 年度及び 2021 年度については、コロナウイルス感染拡大による講習会への参加リスクを鑑み、修了要件からは除外したうえで、状況終息後に取得を行うこととしている

このうち、上級救命講習については、講習日を基準として3年毎に修了証の更新手続きが必要なため、QLA 申請前に既に修得している場合や、活動年数が3年を経過する場合には、修了証取得後も更新を行うことを必須としている。

## 6-2 QLA を活用した授業支援



※写真は 2019 年度授業支援時

### 6-2-1 2022 年度 QLA による授業支援科目

2022 年度は、以下の科目において授業支援を行い、授業改善に寄与した。

開講学部	開講	科目名称	担当教員名
経済学部	前期	計量経済学Ⅲ	井上 智夫
経済学部	前期	初級統計学Ⅰ	井上 智夫
経済学部	後期	計量経済学Ⅱ	井上 智夫
経済学部	後期	初級マクロ経済学Ⅱ	大野 智史
経済学部	後期	GIS ゼミナール	財城 真寿美
経済学部	前期	初級マクロ経済学Ⅰ	庄司 俊章
経済学部	後期	マクロ経済学Ⅱ	庄司 俊章
経営学部	前期	キャリア・マネジメント (5)	北原 亘
経営学部	後期	キャリア・マネジメント (6)	北原 亘
経営学部	前期	キャリア・マネジメント (1)	鈴木 賞子
教養	後期	ビジネストレーニングセミナー<1>	丸尾 明美
教養	後期	ビジネストレーニングセミナー<2>	丸尾 明美
教養	後期	ビジネストレーニングセミナー<3>	丸尾 明美

### 6-2-2 QLA による授業支援の取組み

QLA を通じた FD 活動の推進として、次の取組みを行っている。

- (1) 授業期間中前半と後半の 2 回、担当教員・学長直属教員・QLA との間で「授業前研修」を実施し、授業の方針・進行内容の確認・すり合わせを行い、改善点を議論
- (2) 授業内において、QLA が気づいた学生の反応・理解度、授業内容の改善点を学生視点で都度提言

### 6-2-3 成蹊大学キャラクター「ピーチくん」と連携した QLA 公式キャラクターの策定

QLA による自発的活動の推進と、本学公認としての活動を定義づけるものとして、本学キャラクター「ピーチくん」に QLA の文字を織り込む形でデザインされたキャラクターを QLA 学生が発案。修了式において、QLA 育成プログラム修了者に本キャラクターをあしらったストラップを授与しているほか、学内外における広報活動等に活用している。



図 4 ピーチくん QLA キャラクター

## 6-3 「QLA 育成プログラム」の実施

### 6-3-1 「QLA 育成プログラム」概要

QLA の輩出にあたり、本学では毎年後期に「QLA 育成プログラム」を開講しており、2022 年度は以下の通り実施した。



開講期間：2022 年 10 月 4 日（火）～同 12 月 13 日（火）毎週火曜日 1 時限目（8:50～10:30）  
全 11 回（ただし、10 月 4 日開催分は体験講習）

場 所：対面形式

講 師：勝野 喜以子（学長直属兼経済学部教授）（第 5 回・第 8 回を除く各回）  
岩田 淳子（学長直属兼文学部教授・学生相談室カウンセラー）（第 5 回）  
高等教育開発・支援センター教育開発・支援課（FD チーム）（第 8 回）

### 6-3-2 「QLA 育成プログラム」活動実績

対面形式によるワークセッションを主体とした構成により、実施した。

回数・日時	内容
第 0 回 (2022 年 10 月 4 日)	・ QLA とは何か、TA との違い ・ なぜ研修が必要か ・ 良い授業とは
第 1 回 (2022 年 10 月 11 日)	・ QLA とは何か ・ 「ICE」モデル、「ICE」を促す動詞
第 2 回 (2022 年 10 月 18 日)	・ 「ICE」モデルの復習 ・ 「ICE」利用した悩み相談
第 3 回 (2022 年 10 月 25 日)	・ Zoom、office365 の各種アプリ機能、操作説明

回数・日時	内容
第4回 (2022年11月1日)	・傾聴法の理解 ・犬バラ法を活用した実践
第5回 (2022年11月8日)	・学習障がい ・ハラスメントの理解
第6回 (2022年11月15日)	・アクティブラーニングの理解・反転授業にて得られるメリット
第7回 (2022年11月22日)	・「授業」を考える ・シラバスから授業の意図・流れを把握する
第8回 (2022年11月29日)	・新しい視聴覚設備の使い方、トラブルとその対処方法
第9回 (2022年12月6日)	・リフレクションを学ぶ ・これまでの振り返り
第10回 (2021年12月13日)	・ライティング支援の実践

※ 各回において、QLAによるアイスブレイクを実施

### 6-3-3 「QLA 育成プログラム」修了式

開催日：2023年1月31日（火）13:00～14:00

場 所：対面形式

修了者数 43名



### 6-3-4 QLA 育成プログラム修了者数の推移(2014年度～2017年度は上級SA 育成プログラム修了者数)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
志願者数	10名	8名	11名	9名	30名	18名	21名	37名
修了者数	10名	7名	11名	8名	28名	17名	11名	25名
	2022年度							
志願者数	47名							
修了者数	43名							

## 6-4 QLA小委員会制度

### 6-4-1 QLA小委員会概要

QLAは、本学が求める「学生による学びあいの推進」に向けて中核的な機能を果たすことが期待されており、本学における教育の活性化に向けてより一層QLAの発展が求められている。昨年度の学長諮問による時限的なプロジェクト「QLAプロジェクトチーム」の満了と共に、本年度は事務局のある高等教育開発・支援センターにおいて、学長指示の下、「QLA小委員会」を設置し、運用と決定プロセスの明確化を図り、今後のQLA制度の位置付けや方針に関する検討準備を行うこととした。

#### (1) 構成員

富谷 光良（高等教育開発・支援センター所長・理工学部教授）  
浅野 雅子（高等教育開発・支援センター副所長・理工学部教授）  
高橋 章建（高等教育開発・支援センター部長）

#### (2) 任務

以下の内容を主とする。

・QLA制度に係る業務全般の運用の決定およびQLA制度の運用課題の収集

#### (3) 期間

2022年4月1日～2023年3月31日

## 6-5 QLA活用説明会

### 6-5-1 「QLA活用説明会」概要

「QLAプロジェクトチーム」の提言を受け、QLAの活用拡大を目的に、「活用を検討している」あるいは「検討しているが活用までつながらない」教員の潜在需要の掘り起こしを目的として、活用説明会を昨年度に初の試みとして開催した。また、活用説明会の実施に先立ち、理解を深める取り組みとして、活用教員・現役QLAらのインタビューや活用の様子などをまとめた紹介動画を作成・公開を行い、QLA利用拡大に向けた需要喚起に努めている。

### 6-5-2 2022年度「QLA活用説明会」開催実績

本年度は開催を見合わせることにした。

## 7. 学外・海外セミナー等への派遣記録

## 7-1 学外セミナーへの派遣

### 7-1-1 概要

本学では、FD 施策の一環として、学外開催の FD セミナーへの派遣を行っており、本年度は、日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」に派遣を行ったほか、。

### 7-1-2 日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」

今年度は1名を派遣した。

氏名：鎌村 星平（理工学部）

派遣日：2022年8月5日

開催形式：「Zoom」によるオンライン形式

テーマ	令和4年度 FD 推進ワークショップ
目的・達成目標	模擬授業オンラインを通じ、参加者が教員と学生それぞれの立場を経験しながら、少人数のグループで意見交換を行うことで、学生の学びや参画を促進する授業運営のヒントを探る。
担当教員名	日本私立大学連盟
実施日時	2022年8月5日（金）
開催形式	オンライン形式
出席人数（内訳）	1人
プログラムと構成	10:30-10:50 開会・オリエンテーション 10:50-12:00 グループディスカッション 12:00-13:00 休憩 13:00-15:35 模擬授業・振り返り 15:35-15:50 休憩 15:50-16:50 全体発表 16:50-17:00 閉会・事務連絡
講評	教員経験のある先生方と積極的な意見交換を行うことで教員としてのスキルアップを図ることを目的として、本ワークショップに参加した。特に学生の考えや意見を可視化しそれをフィードバックしてあげることの意義や重要性を学んだため、今後実践していきたい。

## 7-2 海外セミナーへの派遣

### 7-2-1 概要

本学では、FD 施策の一環として、海外への派遣を行っており、本年度は、TA をはじめとするアシスタント制度の在り方を軸とした国際会議に派遣を行った。

### 7-2-2 コロラド大学「2022 International LA Conference」

今年度は1名を派遣した。

氏 名：財城 真寿美（経済学部）

派 遣 日：2022年11月11日～13日

開催形式：対面形式

8. 六大学における合同 FD・SD 等の  
実施に関する包括協定

## 8-1 六大学における合同FD・SD等の実施に関する包括協定

本学では、FD 施策の一環として、成城大学・武蔵大学・甲南大学・学習院女子大学・学習院大学と本学（以下「六大学」という。）において、合同でFD・SD等を実施するために必要な連携、協力に関する包括協定を締結している。なお、2021年度以降はFD部門に関する活動は休止している。

主な内容は以下の通り。

- (1)FD・SD等に関する合同研修会・講演会等の企画立案・実施
- (2)FD・SD等に関する他大学等による実践事例や政策動向等に関する調査研究・意見交換会等の企画立案・実施
- (3)合同FD・SD等の実施により得られた知見の社会への発信
- (4)FD・SD等に関連する領域における教職員の研修・人事交流等の検討・企画立案・実施
- (5)その他六大学が協議の上同意した事項

## 9. 関連規則

## 9-1-1 成蹊大学 FD 実施に関する規則

第1編 基本 第3章 組織改善等 (成蹊大学FD実施に関する規則)

## 成蹊大学FD実施に関する規則

制 定 2007年3月7日  
 大学評議会  
 最新改正 2019年5月22日

(目的)

第1条 この規則は、成蹊大学（以下「本学」という。）において行われる教育活動の内容・方法を改善し、向上させるための取組み（以下「FD」という。）に関し、全学的視野から推進及び統括を図ることを目的として、成蹊大学全学FD委員会（以下「大学委員会」という。）を置く。

2 前項の委員会のほか、各学部及び各研究科（以下「学部等」という。）にFD委員会（以下「個別委員会」という。）を置く。

(任務)

第2条 大学委員会の任務は、次のとおりとする。

- (1) FDについて全学的に企画・立案し、運営すること。
- (2) 個別委員会からの報告を統括整理し、本学のFDを取りまとめること。

2 個別委員会の任務は、次のとおりとする。

- (1) 当該学部等のFDについて企画・立案し、運営すること。
- (2) 前項の内容について大学委員会に報告すること。

(大学委員会の構成等)

第3条 大学委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長、各研究科長
- (4) 高等教育開発・支援センター所長
- (5) 学長室長
- (6) 教務部長
- (7) その他学長が委嘱する者

2 大学委員会の委員長は、学長とする。

3 前項の委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 大学委員会の委員の任期は、その職の在任期間とする。ただし、第1項第7号に規定する委員の任期は、その都度学長が定める。

5 大学委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

6 委員会に議事録を備え、議事進行の過程及び審議の結果並びに決定事項を記録する。

7 大学委員会に関する事務は、高等教育開発・支援センター教育開発・支援課が所管する。

(個別委員会の構成等)

第4条 個別委員会は、当該学部等において定める委員をもって構成する。

2 個別委員会の委員の任期は、当該学部等において定める。

(規則の改廃)

第5条 この規則の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附 則 (2007年3月7日制定)

この規則は、2007年4月1日から施行する。

附 則 (2008年11月12日一部改正)

この規則は、2009年4月1日から施行する。

附 則 (2009年5月13日一部改正)

この規則は、2009年6月1日から施行する。

附 則 (2010年5月12日一部改正)

この規則は、2010年5月12日から施行する。

附 則 (2015年6月3日一部改正)

この規則は、2015年6月3日から施行する。

附 則 (2017年3月8日一部改正)

この規則は、2017年4月1日から施行する。

附 則 (2019年5月22日一部改正)

この規則は、2019年6月1日から施行する。

成蹊大学高等教育開発・支援センター規則

制 定 2014年2月5日  
大 学 評 議 会  
最新改正 2021年3月10日

(趣旨)

**第1条** この規則は、成蹊大学学則第6条第3項の規定に基づき、成蹊大学高等教育開発・支援センター (Seikei Center for Higher Education Development (SCHED)) (以下「センター」という。)に関する基本的な事項について定める。

(目的)

**第2条** センターは、成蹊大学 (以下「本学」という。)における教育の質的向上に資する全学的な学修・教育支援施策の企画及び実施並びに教育活動の継続的な改善の推進及び支援を行うことにより、教育の一層の充実及び発展に寄与するとともに、ICT活用による教育に係る支援並びに学園における情報システムの管理及びコンピュータネットワークを用いた教育研究環境の整備を行うことを目的とする。

(業務)

**第3条** センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 教育内容及び教育方法の改善に係る支援及び推進に関する事項
- (2) ICT活用による教育の開発及び支援に関する事項
- (3) ICT活用に係る学生支援に関する事項
- (4) 学修成果等の測定方法の開発及び実施に関する事項
- (5) 教職員の研修、新任教員オリエンテーション、講演会等の企画及び実施に関する事項
- (6) 学部・学科、研究科等におけるFD (Faculty Development) 活動に係る支援に関する事項
- (7) 学生スタッフ (TA、SA等) の資質向上に係る支援に関する事項
- (8) 学園及び各部門 (各学校、各機関、各部、各室及び各センターをいう。以下この条において同じ。)の情報ネットワークインフラ及び基幹ネットワークシステム並びにこれらに係る機器・設備の管理及び運営に関する事項
- (9) 各部門間の情報システムの管理及び運営に係る連絡調整に関する事項
- (10) 成蹊学園情報システム管理・運用ガイドラインに基づく、情報システム管理台帳の取りまとめに関する事項
- (11) 大学教育に関する学内外の情報の収集及び分析並びに学内外への情報の発信に関する事項
- (12) その他センターの目的達成のために必要な事項

(構成)

**第4条** センターは、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 所長
- (2) 所員 若干名
- (3) 課長
- (4) 事務職員

2 前項に掲げる者のほか、センターに、副所長及び事務部長を置くことができる。

3 センターに任期及び業務を定めたセンター所属の専任教員を置くことができる。

(所長)

**第5条** 所長の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。

2 所長が任期途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副所長)

**第6条** 副所長は、本学の専任教職員のうちから学長が任命し、又は業務を命令する。この場合において、学長は、専任職員に対し、副所長として業務を命令しようとするときは、あらかじめ学園長と協議しなければならない。

- 2 副所長は、所長を補佐し、所長に事故あるとき又は所長が欠けたときは、その職務を代理し、又はその職務を行う。
  - 3 副所長の任期については、前条の規定を準用する。  
(所員)
- 第7条** 所員は、本学の専任教員のうちから学長が任命する。
- 2 所員は、センターのFD活動及び目的達成に必要な業務を遂行する。
  - 3 所員の任期は、2年とし、再任を妨げない。  
(専門スタッフ、研究員等)
- 第8条** 第4条に掲げる者のほか、学長がセンター運営上必要と認める場合には、FD及びICTに係る専門スタッフ、研究員等をセンターに置くことができる。  
(事務部長)
- 第9条** 事務部長は、所長を補佐する。  
(センター運営会議)
- 第10条** センターの円滑な運営を図るため、センターに、成蹊大学高等教育開発・支援センター運営会議(以下「運営会議」という。)を置く。
- 2 運営会議は、次の事項を審議する。
    - (1) 第3条に掲げる業務の企画・立案及び実施に関する事項
    - (2) センターの大学予算に関する事項
    - (3) センターに関する規則の制定・改廃に関する事項
    - (4) センターが行うFD活動の企画・立案及び実施に関する事項
    - (5) センターに設置する下部組織に関する事項
    - (6) 学長からの諮問に関する事項
    - (7) その他所長が必要と認めた事項
  - 3 運営会議は、次に掲げる委員をもって構成する。
    - (1) 所長
    - (2) 所員
    - (3) 教務部長
    - (4) 教務部課長 1名
    - (5) 課長
    - (6) 第4条第2項及び第3項によりセンターの構成員となった者
    - (7) その他所長が必要と認めた者
  - 4 運営会議は、所長が招集し、その議長となる。
  - 5 運営会議に議事録を備え、議事進行の過程及び審議の結果並びに決定事項を記録する。
  - 6 運営会議に関する事務は、教育開発・支援課が所管する。  
(下部組織)
- 第11条** 第3条に規定する業務を遂行するに当たり必要が生じた場合は、センターに、小委員会、プロジェクト等の下部組織を置くことができる。
- 2 下部組織の任務、構成員その他必要な事項は、その都度運営会議の議を経て所長が定める。  
(事務の所管)
- 第12条** センターに関する事務は、教育開発・支援課が所管する。  
(規則の改廃)
- 第13条** この規則の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。  
附 則 (2014年2月5日制定)
- 1 この規則は、2014年4月1日から施行する。
  - 2 次に掲げる規則は、廃止する。
    - (1) 成蹊大学情報センター規則(2010年2月10日大学評議会制定)
    - (2) 成蹊大学情報教育協議会規則(2010年2月10日大学評議会制定)
    - (3) 成蹊大学情報教育委員会規則(昭和56年1月21日大学評議会制定)

附 則 (2015年6月3日一部改正)

この規則は、2015年6月3日から施行する。

附 則 (2016年4月6日一部改正)

この規則は、2016年4月6日から施行する。

附 則 (2016年7月6日一部改正)

この規則は、2016年7月6日から施行する。

附 則 (2017年2月8日一部改正)

この規則は、2017年4月1日から施行する。

附 則 (2018年12月5日一部改正)

この規則は、2018年12月14日から施行する。

附 則 (2020年3月11日一部改正)

この規則は、2020年4月1日から施行する。

附 則 (2021年3月10日一部改正)

この規則は、2021年4月1日から施行する。

## 10. 記録・資料

## 10-1 これまでのFD活動の記録

FD活動の記録（概要・判明分）は以下の通りである。教員の所属等については開催時の内容である。本年度からの発刊にあたり、情報の集約化・集計を進めており、記載内容は発刊時点までの判明分としている。（議題中「SCHED」とあるものは、高等教育開発・支援センターの略称を意味する。）

### <2012年度>

#### ■ 全学FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2012年4月11日)	依頼1	私立大学連盟「平成24年度FD推進ワークショップ」の参加者募集について
第2回 (2012年4月25日)	懇談1	認証評価で指摘されたに改善事項等に対する対応について
第3回 (2012年7月4日)	懇談1	産学連携のプロジェクト型授業について
	依頼1	八王子セミナーハウス第53回大学教員セミナーの開催について
第4回 (2012年7月18日)	報告1	産学連携のプロジェクト型授業について
第5回 (2012年10月10日)	懇談1	大学自己点検・評価委員会答申について
第6回 (2013年2月20日)	報告1	河合塾第3回FDセミナーの開催について

### <2013年度>

#### ■ 全学FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2013年4月24日)	懇談1	2012年度自己点検・評価委員会に対する諮問事項に対する答申について
	懇談2	今後のFD推進について
	依頼1	私立大学連盟「平成25年度FD推進ワークショップ」の参加者募集について
	依頼2	平成25年度マネジメントサイクル（PDCAサイクル）修得研修について
第2回 (2013年10月23日)	懇談1	教育改革・改善プロジェクトの公募について
第3回 (2013年11月6日)	協議1	教育改革・改善プロジェクトの公募について
	懇談1	準備学修（予習、復習等）に必要な時間の目安のシラバスへの掲載について
	懇談2	シラバスの第三者チェックの実施について
	依頼1	アクティブラーニング実演会(情報センター、全学FD委員会共催)について

開催年月日	区分	議案事項
第4回 (2013年11月20日)	協議1	教育改革・改善プロジェクトの選定について
	協議2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談1	準備学修(予習、復習等)に必要な時間の目安のシラバスへの掲載について
	懇談2	シラバスの第三者チェックの実施について
第5回 (2013年12月4日)	協議1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議2	準備学修(予習、復習等)に必要な時間の目安のシラバスへの掲載について
	協議3	シラバスの第三者チェックの実施について
	協議4	シラバス作成方針の制定について
	懇談1	各学部・研究科のFD委員会について
	依頼1	IRに関する講演会(IR推進委員会、全学FD委員会共催)について
	報告1	アクティブラーニング実演会(情報センター、全学FD委員会共催)について
第6回 (2014年1月8日)	報告1	全学FD委員会主催FDセミナー(12月18日開催)について
第7回 (2014年1月22日)	協議1	教育改革・改善プロジェクト計画変更について
	報告1	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第8回 (2014年2月5日)	報告1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
第9回 (2014年2月26日)	報告1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について

<2014年度>

■ 全学FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2014年4月9日)	協議1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	報告1	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第2回 (2014年4月23日)	懇談1	2014年度授業評価アンケートの実施について
	懇談2	休講及び補講について
第3回 (2014年5月14日)	懇談1	2014年度授業評価アンケートの実施について
	懇談2	休講及び補講について
	依頼1	平成26年度日本私立大学連盟「FD推進ワークショップ」の参加者募集について
	依頼2	大学セミナーハウス第4回新任教員セミナーの開催について
	報告1	中期重点目標について
第4回 (2014年6月11日)	協議1	2014年度授業評価アンケートの実施について
	協議2	プロジェクト型授業奨励金の選定について

開催年月日	区分	議案事項
第 5 回 (2014 年 6 月 25 日)	協議 1	2014 年度授業評価アンケートの実施について
	懇談 1	企業連携授業履修学生誓約書について
	依頼 1	How to Teach University Students in English: (英語での教授法に関する FD 講演会) について
	報告 1	ポータルサイト講習会 (基礎からの活用方法) 開催報告について
第 6 回 (2014 年 7 月 9 日)	協議 1	2014 年度成蹊大学教育改革・改善プロジェクト事業 公募要領について
	依頼 1	平成 26 年度教育改革 ICT 戦略大会の開催について
	依頼 2	平成 26 年度教育改革 FD/ICT 理事長・学長等会議の開催について
	依頼 3	平成 26 年度 ICT による教育改善研究発表会の開催について
	依頼 4	大学の MOOC 活用に関するワークショップについて
第 7 回 (2014 年 9 月 10 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの選定について
	協議 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	2014 年度前期授業評価アンケート結果について
	依頼 1	FD 委員会議事録 (学部・研究科) の提出について
	報告 1	Excel で楽々成績集計! 講座開催報告について
	報告 2	英語での教授法に関する FD 講演会報告について
第 8 回 (2014 年 10 月 8 日)	報告 1	Web of Science 講習会開催につい
	報告 2	学生向け Office365 講習会開催につい
第 9 回 (2014 年 10 月 22 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 10 回 (2014 年 10 月 29 日)	協議 1	地域課題解決型研究プロジェクト奨励金の選定について
	協議 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 11 回 (2014 年 11 月 5 日)	協議 1	地域課題解決型研究プロジェクト奨励金の選定について
	懇談 1	2014 年度後期授業評価アンケートの実施について
第 12 回 (2014 年 11 月 19 日)	懇談 1	2014 年度後期授業評価アンケートの実施について
第 13 回 (2014 年 12 月 3 日)	懇談 1	2014 年度後期授業評価アンケートの実施について
第 14 回 (2015 年 1 月 28 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの選定について
	協議 2	フレッシュヤーズ講座「ロジカル・ライティング」テキストについて
	依頼 1	2014 年度 FD/SD 勉強会について
	報告 1	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第 15 回 (2015 年 2 月 4 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの選定について

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD 関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2014 年 4 月 10 日)	協議 1	2014 年度 ICT 関連講習会について
	報告 1	中期重点目標について
第 2 回 (2014 年 5 月 8 日)	協議 1	センター企画について
第 3 回 (2014 年 6 月 12 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 4 回 (2014 年 7 月 10 日)	懇談 1	次期情報教育システムの導入に伴う利用講習会の開催について
第 5 回 (臨時開催) (2015 年 7 月 30 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 6 回 (2014 年 9 月 16 日)	報告 1	中期重点施策の中間点検・評価について
	報告 2	成蹊大学教育改革・改善プロジェクト「上級 SA・TA 育成プログラムの開発」について
第 7 回 (2014 年 10 月 2 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 8 回 (2014 年 11 月 6 日)	報告 1	2014 年度前期活動報告・後期活動計画（中期重点目標を中心に）について
第 9 回 (2014 年 12 月 11 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 10 回 (2015 年 1 月 15 日)	報告 1	FD・SD ワークショップ開催予定について

■ 学内 FD 活動（★は学外公開）

日付	区分	内容	出席者
2014 年 6 月 12 日	センター	教務部共催 FD セミナー 「ポータルサイト講習会（基礎からの活用方法）」 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	20 名
2014 年 7 月 9 日	センター	Excel で楽々成績集計！講座 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	5 名
2014 年 9 月 30 日 10 月 1 日・3 日	センター	新 PC 教室利用者講習会 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	計 8 名
2015 年 2 月 4 日	センター	FD セミナー「本当に知ってる？「FD とは何か？」」 Prof. Bruce Macfarlane Prof. Julie Hall	20 名
2016 年 3 月 2 日	センター	学習障害講演会	

日付	区分	内容	出席者
2016年3月5日	センター	FD/SD 講演会★ 教育現場でいま求められていること ～ 2020年に向けてキーワードをよみとく ～	158名
2016年3月11日	センター	FD セミナー「Academic Citizenとしての大学教員」 Prof. Bruce Macfarlane Prof. Julie Hall	23名

<2015 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 4 月 8 日)	依頼 1	プロジェクト型授業奨励金の公募について
	依頼 2	地域課題解決型研究プロジェクトの公募について
第 2 回 (2015 年 4 月 22 日)	依頼 1	平成 27 年度日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」の参加者募集について
	報告 1	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
	報告 2	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
	報告 3	地域課題解決型研究プロジェクト成果報告書について
第 3 回 (2015 年 5 月 13 日)	諮問 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 4 回 (2015 年 5 月 20 日)	諮問 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 5 回 (2015 年 6 月 17 日)	協議 1	2015 年度授業評価アンケートの実施について
	依頼 1	2015 年度成蹊大学教育改革・改善プロジェクト公募要領について
第 6 回 (2015 年 7 月 8 日)	協議 1	地域課題解決型研究プロジェクト奨励金の選定について
第 7 回 (2015 年 9 月 9 日)	協議 1	2015 年度「成蹊 2018 プロジェクト」実施に係る予算について
	協議 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 8 回 (2015 年 9 月 30 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	2015 年度授業評価アンケートセルフレビューについて
第 9 回 (2015 年 10 月 21 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	2015 年度前期授業評価結果について
第 10 回 (2015 年 10 月 28 日)	依頼 1	学習院大学主催「FD 講演会及び懇親会」について
第 11 回 (2015 年 11 月 4 日)	協議 1	成城大学主催「FD ワークショップ及び懇親会」について
第 12 回 (2016 年 2 月 10 日)	依頼 1	「第 2 回 学生相談懇話会」について
	報告 1	FD・SD 合同研修会について
第 13 回 (2016 年 2 月 24 日)	依頼 1	高等教育開発・支援センター主催セミナーの開催について
第 14 回 (2016 年 3 月 2 日)	依頼 1	2016 年度新任教員研修会の開催について
	報告 1	シラバス第三者チェックについて

■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 4 月 6 日)	その他 1	履修指導について

日付	区分	内容
第2回 (2015年4月21日)	懇談1	経済学部指導教授制の復活について(案)
第3回 (2015年5月14日)	諮問1	2016年度「上級演習Ⅰ・Ⅱ」の募集について
	報告1	2014年度 後期授業評価アンケートについて
第4回 (2015年6月4日)	審議1	ゼミナール協議会発足について
	懇談1	授業評価アンケート(前期)の実施について
	懇談2	2016年度授業計画について
第5回 (2015年6月25日)	審議1	FD協議会委員の選出について
	審議2	ゼミナール協議会について
	懇談1	2016年度授業計画について
第6回 (2015年7月16日)	審議1	上級演習定員数について
	懇談1	2015年度経済学部父母懇談会アンケート結果について
	懇談2	ルーブリックの作成について
第7回 (2015年9月17日)	—	—
第8回 (2015年10月8日)	懇談1	前期授業評価アンケート結果について
第9回 (2015年10月29日)	懇談1	授業評価アンケート結果とFD意識向上に向けて
第10回 (2015年11月12日)	懇談1	2015年度後期授業評価アンケートの実施について
第11回 (2015年12月3日)	懇談1	後期授業評価アンケートについて
	懇談2	授業観察&授業研究会について
	懇談3	2016年度新任教員研修企画書
第12回 (2015年12月17日)	—	—
第13回 (2016年1月21日)	懇談1	2016年度シラバス第三者チェックについて
	報告1	FD協議会報告
	懇談1	2016年度学生に対するガイダンス・履修相談について
	懇談2	2016年度第14回フレッシュャーズ講座(ガイダンス部分)について
第14回 (2016年2月6日)	審議1	シラバスの第三者チェックについて
	報告1	フレッシュャーズ・セミナーのミニシラバスについて
	懇談1	カリキュラム申し合わせの改変について

日付	区分	内容
第 15 回 (2016 年 2 月 18 日)	審議 1	新旧科目対照表について
	報告 1	FD 協議会報告
	懇談 1	2016 年度学生に対するガイダンス・履修相談について
	懇談 2	2016 年度第 14 回フレッシュャーズ講座（ガイダンス部分）について
	懇談 1	2016 年度シラバス第三者チェックについて
第 16 回 (2016 年 3 月 1 日)	審議 1	2 年次ガイダンスのお知らせについて
	審議 2	新旧科目対照表（英語名称）について
	審議 3	カリキュラムに関する申合せについて
	懇談 1	2015 年度後期授業評価アンケート集計結果の分析について
	懇談 2	ティーチングアワードについて

## ■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 5 月 27 日)	議題 1	2014 年度後期授業評価アンケートの講評およびセルフレビューに関する件
	報告等 1	2014 年度後期授業評価アンケートに対する、学びの効果を確認するクロス集計の結果データに関する件
	報告等 2	2015 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
第 2 回 (2015 年 7 月 1 日)	報告等 1	2014 年度後期授業評価アンケートの「特色ある授業の取組み」に関する件
	報告等 2	2015 年度前期授業評価アンケート実施について
第 3 回 (2015 年 9 月 30 日)	報告等 1	2015 年度前期授業評価アンケートの「回答率」に関する件
第 4 回 (2015 年 11 月 4 日)	報告等 1	2015 年度前期授業評価アンケートの「集計結果」に関する件
	報告等 2	2016 年度シラバス入力について
第 5 回 (2015 年 12 月 9 日)	報告等 1	2015 年度後期授業評価アンケートの「対象科目」に関する件
	報告等 2	2016 年度シラバス第三者チェックについて
第 6 回 (2016 年 1 月 13 日)	報告等 1	2016 年度シラバス第三者チェックについて
	報告等 2	2015 年度後期授業評価アンケート回答期間について
	報告等 3	学部別 FD 委員会の活動内容について
第 7 回 (2016 年 2 月 24 日)	報告等 1	2016 年度シラバス第三者チェックの実施結果に関する件
	報告等 2	2015 年度後期授業評価アンケート学生回答率について
	報告等 3	2015 年度後期教員セルフレビュー回答期間について
	報告等 4	ティーチングアワードについて

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD 関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 4 月 17 日)	報告 1	中期重点目標について
	依頼 1	FD・SD 講演会開催報告「教育現場でいま求められていること～2020 年に向けてキーワードをよみとく～」
第 2 回 (2015 年 5 月 21 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 3 回 (2015 年 6 月 18 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 4 回 (2015 年 7 月 9 日)	懇談 1	FD/SD ICT 講習会について
	報告 1	情報基盤科目の 2014 年度後期授業評価アンケート分析結果について
第 5 回 (2015 年 9 月 15 日)	報告 1	FD・SD 講習会「国内外の大学でも自分の PC でインターネットができるようにしませんか？」(7 月 30 日) の開催報告
	報告 2	授業方法研究<CALL システム編> (9 月 11 日) の開催報告
第 6 回 (2015 年 10 月 9 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 7 回 (2015 年 11 月 27 日)	報告 1	FD/SD Office365 講習会『情報共有の仕方』開催報告
	報告 2	シラバスワークショップについて
第 8 回 (2016 年 1 月 15 日)	協議 1	FD セミナーの開催について
	報告 1	2015 年度前期情報基礎科目授業評価アンケート分析結果について
	報告 2	シラバスワークショップ開催報告

■ FD 協議会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 9 月 25 日)	協議 1	2015 年度 FD 協議会の開催日程について
	懇談 1	成蹊大学のための今後の FD 活動について
	懇談 2	高等教育開発・支援センター活動報告 (FD・SD・ICT 講習会等) について
	報告 1	成蹊大学高等教育開発・支援センター規則等について
	報告 2	SCHED 主催イベントの開催状況について
	報告 3	SCHED 設立一周年記念行事について
	報告 4	2015 年度取り組みのプロジェクトについて
	報告 5	中期重点目標「教育の継続的改善」について
第 2 回 (2015 年 11 月 26 日)	懇談 1	授業評価アンケートの実施タイミングについて
	懇談 2	授業評価アンケートのデータについて
	懇談 3	授業観察・授業研究会の企画(案)について
	報告 1	高等教育開発・支援センター設立一周年記念行事の開催報告
	報告 2	FD/SD 講習会『Office365 で情報共有手段を増やしませんか?』の開催報告
	報告 3	FD/SD 講習会『シラバスワークショップ』の開催について

開催年月日	区分	議案事項
第3回 (2016年1月14日)	懇談1	授業公開の企画(案)について
	懇談2	学生・教員の意思疎通の仕組み(案)について
	報告1	Yanmar 利用マニュアルについて
	報告2	FD/SD 講習会『シラバスワークショップ』の開催報告

■ 学内 FD 活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2015年5月27日	センター	ネットリテラシー向上等啓発講習会	65名
2015年7月16日	学部	法学部 FD 研修会 「ベネッセアセスメントテストと卒業生満足度調査にかかる結果報告と考察」 株式会社ベネッセ 塩澤一洋(法学部) 企画運営部企画運営課	27名
2015年7月30日	センター	FD, SD 講習会 「国内外の大学でも自分の PC でインターネットが利用できるようにしませんか？」 勝野 喜以子(大学・高等教育開発・支援センター副所長)	16名
2015年9月11日	センター	CALL 活用勉強会(秋期) チエル株式会社	8名
2015年10月15日・ 11月25日・12月5 日(各日同一内容)	国際	国際教育センターFD(英語一貫)★ 「Extensive Reading: The What, The Why and The How」 Maurice Jamall(文学部)	計29名
2015年11月20日	センター	Office365 講習会『情報共有の仕方』 勝野 喜以子(大学・高等教育開発・支援センター副所長)	4名
2015年12月10日	センター	シラバスワークショップ(2部構成により実施) 甲斐 宗徳(理工学部・高等教育開発・支援センター所長) 勝野 喜以子(大学・高等教育開発・支援センター副所長)	計19名
2016年3月2日	センター	学習障害講演会	
2016年3月11日	センター	FD セミナー「Academic Citizenとしての大学教員」 Prof. Bruce Macfarlane Prof. Julie Hall	23名

■ 六大学合同 SD・FD 研修会

開催日	テーマ
2015年3月12日	教育改善に資する IR 業務について
2015年6月25日	授業設計とシラバスを考える
2016年3月2日	カリキュラムの体系化と可視化

■ 上級 SA (現 QLA) 育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回 (※は体験講習会) 2015 年 10 月 4 日※ 10 月 20 日・10 月 27 日・ 11 月 3 日・11 月 10 日・11 月 17 日・11 月 24 日・ 12 月 1 日・12 月 8 日・12 月 15 日・12 月 22 日	講師： 勝野 喜以子 (学長直属) 岩田 淳子 (文学部)  高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2016 年 2 月 2 日	修了生：7 名

<2016 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 4 月 6 日)	懇談 1	2015 年度後期授業評価アンケート結果について
	依頼 1	プロジェクト型授業奨励金の公募について
	依頼 2	地域課題解決型研究プロジェクトの公募について
	依頼 3	成蹊ティーチングアワードの一次候補者の推薦について
	報告 1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
	報告 2	地域課題解決型研究プロジェクト成果報告書について
第 2 回 (2016 年 4 月 20 日)	懇談 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	依頼 1	学長主催 SD・FD セミナーについて
	懇談 2	平成 28 年度日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」の参加者募集について
第 3 回 (2016 年 5 月 11 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	懇談 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 4 回 (2016 年 6 月 1 日)	協議 1	新任教員研修について
	依頼 1	全教員を対象とした FD の開催について
第 5 回 (2016 年 6 月 16 日)	協議 1	授業研究会について
	協議 2	授業公開のテストランについて
	依頼 1	FD セミナー（ディープラーニング）について
	その他 1	学長主催 SD・FD セミナー（6 月 22 日開催）に関する事前研修
第 6 回 (2016 年 6 月 22 日)	協議 1	2016 年度前期授業評価アンケート設問について
	懇談 1	2015 年度後期授業評価アンケート結果について
	依頼 1	学内教職員向け SD 研修会（学長による大学運営に関する第 2 回説明会）の開催について
	依頼 2	2016 年度成蹊大学教育改革・改善プロジェクト公募要領について
第 7 回 (2016 年 7 月 20 日)	協議 1	ティーチングアワードの公示原稿について
第 8 回 (2016 年 9 月 7 日)	協議 1	授業研究会（パイロットスタディ）について
	協議 2	2016 年度成蹊大学教育改革・改善プロジェクトの申請について
	報告 1	ティーチングアワードの公示について
第 9 回 (2016 年 9 月 28 日)	協議 1	2016 年度プロジェクト型授業奨励金の申請について
	協議 2	2016 年度前期授業評価アンケート結果について
第 10 回 (2016 年 10 月 19 日)	協議 1	2016 年度プロジェクト型授業奨励金の申請について
第 11 回 (2016 年 11 月 16 日)	懇談 1	ループリック、学修ポートフォリオについて
第 12 回 (2016 年 11 月 19 日)	懇談 1	ループリック、学修ポートフォリオについて
	依頼 1	FD 研修参加者の把握について

開催年月日	区分	議案事項
第 13 回 (2017 年 2 月 8 日)	依頼 1	第 2 回学生相談懇談会について
第 14 回 (2017 年 2 月 22 日)	協議 1	授業支援ボックスの設置場所について
	報告 1	経済学部におけるルーブリック・学修ポートフォリオ実施報告について
	報告 2	新任教員の FD 研修について
第 15 回 (2017 年 3 月 8 日)	協議 1	成蹊大学 FD 実施に関する規則の一部改正について

## ■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 4 月 5 日)	審議 1	ティーチング・アワードの申合せ(案)について
	審議 2	ティーチング・アワードの候補者の選出について
	審議 3	FD 研修について
	審議 4	ルーブリックについて
	審議 5	指導教授制導入に伴う担当教員の連絡先取扱いについて
	その他 1	2016 年度 後期 1 年次対象個別履修相談について
第 2 回 (2016 年 4 月 21 日)	審議 1	2016 年度 経済学部 FD 委員の年間業務について
	審議 2	ゼミナール協議会について
	報告 1	ティーチングアワード推薦候補者について
	懇談 1	ルーブリックの運用について
	懇談 2	学修ポートフォリオの運用について
	懇談 3	ティーチング・アワードのプロジェクトチームについて
	懇談 4	ルーブリック、学修ポートフォリオのプロジェクトチームについて
第 3 回 (2016 年 5 月 12 日)	審議 1	ゼミナール協議会について
	報告 1	2014 年度 後期授業評価アンケートについて
	懇談 1	ルーブリックの運用について
	懇談 2	学修ポートフォリオの運用について
	懇談 3	2017 年度「上級演習Ⅰ・Ⅱ」の募集について
	懇談 4	経済学部活性化プランについて
	懇談 5	ティーチング・アワードのプロジェクトチームについて
	懇談 6	ルーブリック、学修ポートフォリオのプロジェクトチームについて

開催年月日	区分	議案事項
第4回 (2016年6月2日)	審議1	ループリックの運用について
	審議2	学修ポートフォリオの運用について
	審議3	上級演習履修変更手続きに関する件について
	審議4	上級演習Ⅰ欠席過多学生に関する件について
	報告1	授業評価アンケート(前期)の実施について
	懇談1	2017年度 授業計画について
	懇談2	2017年度「上級演習Ⅰ・Ⅱ」の募集について ・海外研修予定者の上級演習及び卒業研究の開講について ・学生主体上級演習(ゼミ)説明会の日程について ・ゼミナール協議会について
第5回 (2016年6月23日)	審議1	第2回学部FD研修会について
	審議2	ゼミナール協議会について(再)
	報告1	学修ポートフォリオの運用について
	報告2	ループリックの運用について
	懇談1	2017年度授業計画について
	懇談2	シラバスと3ポリシーについて
第6回 (2016年7月16日)	報告1	2016年度経済学部父母懇談会アンケート結果について
	懇談1	2017年度授業計画について
	懇談2	演習科目のティーチングアワード候補者選定の評価基準(案)
	懇談3	卒業研究の成果基準の目安について(案)
	懇談4	学生面談の記録および面談体制について
第7回 (2016年9月15日)	懇談1	学修ポートフォリオとループリックの活用について
第8回 (2016年10月6日)	懇談1	前期授業評価アンケート結果について
第9回 (2016年10月27日)	懇談1	授業評価アンケート結果とFD意識向上に向けて
第10回 (2016年11月17日)	審議1	2017年度シラバス作成について
	懇談1	学修ポートフォリオとループリックの実施について
	懇談2	学生の評価システムについて
	懇談3	2016年度前期 授業評価アンケート結果の課題対応について
第11回 (2016年12月1日)	審議1	学部FD研修 プロジェクト型授業について
	懇談1	2016年度前期 授業評価アンケート結果の課題対応について
第12回 (2016年12月15日)	報告1	IR推進委員会「学生の学修時間・学修行動に関するアンケート」結果について
	懇談1	演習科目のティーチングアワード候補者選定の評価基準
第13回 (2017年1月26日)	懇談1	2017年度シラバス第三者チェックについて
	懇談1	2017年度学生に対するガイダンス・履修相談について
	懇談2	演習科目のティーチングアワード候補者選定の評価基準について

開催年月日	区分	議案事項
第 14 回 (2017 年 2 月 6 日)	審議 1	ティーチング・アワードの申合せ (案) について
	報告 1	フレッシュヤーズ・セミナーのミニシラバスについて
	懇談 1	ループリック及び学修ポートフォリオのプロジェクトについて
	懇談 2	カリキュラム申し合わせの改変について
第 15 回 (2017 年 2 月 17 日)	審議 1	カリキュラム申し合わせの改変について
	報告 1	授業評価アンケート セルフレビュー 入力率について
	報告 2	ループリックと学修ポートフォリオの結果について
	懇談 1	ティーチングアワードについて
第 16 回 (2017 年 3 月 1 日)	審議 1	2 年次ガイダンスのお知らせについて
	審議 2	ティーチングアワードについて
	審議 3	各年次履修ガイドについて (ガイダンス用: 2017~)
	報告 1	シラバス第三者チェックによる修正について
	懇談 1	2016 年度後期授業評価アンケート集計結果の分析について

#### ■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 5 月 25 日)	報告等 1	2015 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 2	2016 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
第 2 回 (2016 年 6 月 29 日)	報告等 1	2015 年度後期授業評価アンケートのクロス集計に関する件について
	報告等 2	2016 年度前期授業評価アンケート実施について
	報告等 3	理工学部 FD 委員会主催「FD 研修会」について
第 3 回 (2016 年 9 月 28 日)	報告等 1	理工学部 FD 委員会主催「FD 研修会」(アセスメントテスト及びアンケート結果報告会) 実施報告に関する件
	報告等 2	2016 年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
第 4 回 (2016 年 11 月 9 日)	報告等 1	2017 年度シラバス入力に関する件
	報告等 2	2016 年度前期授業評価アンケート学科毎集計結果に関する件
	報告等 2	2016 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 5 回 (2016 年 12 月 7 日)	報告等 1	2017 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 6 回 (2017 年 1 月 11 日)	報告等 1	2017 年度学生の学修時間、学修行動に関するアンケート結果に関する件
	報告等 2	2018 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 3	2017 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 7 回 (2017 年 2 月 23 日)	報告等 1	第 2 回学長室全学教育機構セミナー (2016 年 12 月 3 日実施) に関する件
	報告等 2	2017 年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等 3	2016 年度後期授業評価アンケート学科毎集計結果に関する件
	報告等 4	2016 年度後期授業評価アンケートセルフレビュー入力に関する件

■ 文学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 6 月 14 日)	議題 1	文学研究科 3 ポリシー (DP・CP・AP) の修正案について
開催年月日	区分	議案事項
第 2 回 (2016 年 6 月 28 日)	議題 1	文学研究科 3 ポリシー (DP・CP・AP) の修正案について
第 3 回 (2017 年 2 月 7 日)	議題 1	シラバス第三者チェックについて
	議題 2	2016 年度前期授業評価アンケート結果、検討
	議題 3	来年度からの文学部 FD 活動について
第 4 回 (2017 年 2 月 17 日)	議題 1	シラバス第三者チェックについて

■ 高等教育開発・支援センター運営会議 (FD 関連のみ)

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2012 年 4 月 11 日)	依頼 1	中期重点目標について
	報告 2	FD・SD 講習会開催報告
第 2 回 (2016 年 5 月 25 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 3 回 (2016 年 6 月 15 日)	依頼 1	授業支援ボックスのデモについて
第 4 回 (2016 年 7 月 7 日)	報告 1	ネットリテラシー講習会開催報告
第 5 回 (2016 年 9 月 28 日)	懇談 1	授業研究会について
	報告 1	授業支援ボックスのデモ実施報告
	報告 2	上級 SA 合宿実施報告
	報告 3	2016 年度秋季 CALL 講習会 開催報告
第 6 回 (2016 年 11 月 24 日)	報告 1	FD セミナー「教員と学生で考える デジタル教材のかたち」開催予定について
	報告 2	シラバスワークショップ開催予定について
第 7 回 (2017 年 1 月 12 日)	報告 1	デジタル教材研究会 開催報告
	報告 2	シラバスワークショップ 開催報告
	報告 3	教職基礎教養強化講座 開催予定

■ FD 協議会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 4 月 12 日)	報告 1	成蹊大学高等教育開発・支援センター規則等について
	報告 2	2015 年度成蹊大学 FD 協議会の概要
	報告 3	SCHED 開催イベントの報告について
	報告 4	中期重点目標「教育の継続的改善」について
	報告 5	2016 年度 SCHED 主催イベント（新任教員 4 月研修・春季 CALL システム講習会）の報告について
	協議 1	2016 年度 FD 協議会の開催日程について
	懇談 1	今後の FD 活動について
第 2 回 (2016 年 5 月 17 日)	協議 1	新任教員夏研修について（情報基盤科目）
	協議 2	授業研究会について
	協議 3	授業公開について
	報告 1	FD セミナー「Academic Citizen としての大学教員」の開催報告
	報告 2	学長への上申書の共有
第 3 回 (2016 年 6 月 14 日)	協議 1	授業研究会について
	協議 2	授業公開のテストランについて
	協議 3	次回 FD 協議会の開催日程について
	依頼 1	授業支援ボックスのデモンストレーションについて
	報告 1	全学 FD 委員会への上申報告
	報告 2	私立大学等改革総合支援事業について
	報告 3	新任教員研修『上級救命講習』開催について
	報告 4	SCHED 主催講習会『Office365「包括機能説明&実習」』実施について
	報告 5	SCHED 主催 FD セミナー『深い学びへのアプローチ～学生の理解を深める教授法～』開催について
第 4 回 (2016 年 7 月 30 日)	協議 1	FD 関連：QLA 育成プログラム・授業研究会の実施について
	報告 1	FD 活動方針について
	報告 2	2017 年度前期授業研究会について
	報告 3	新任教員研修『上級救命講習』について
	報告 4	平成 29 年度改革総合支援事業タイプ 1 について
第 5 回 (2016 年 9 月 29 日)	依頼 1	授業公開（後期）ご協力をお願い
	報告 1	『CALL 教室活用研究会』実施について
	報告 2	『上級 SA 研修合宿』実施について
	報告 3	『授業研究会』開催について
第 6 回 (2016 年 10 月 20 日)	協議 1	FD 参加者の情報提供方法について
	報告 1	『授業研究会』（途中経過）実施について
	報告 2	『ICT 機器を使った教材開発研究会（仮）』開催について
	報告 3	『シラバスワークショップ』開催について
	報告 4	ポータル英語マニュアルの整備について

開催年月日	区分	議案事項
第7回 (2016年11月24日)	協議1	2017年度新任教員4月研修について
	報告1	学内文書およびコンテンツの英語化の方針について
	報告2	『授業研究会』実施について
第8回 (2016年12月22日)	協議1	『授業研究会』について
	報告1	『デジタル教材研究会』実施について
	報告2	『シラバスワークショップ』実施について
	懇談1	私立大学等改革総合支援事業タイプ1について

■ 学内FD活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2016年4月5日	センター	新任教員研修	17名
2016年4月6日	センター	CALL活用勉強会(春期) チエル株式会社	15名
2016年4月7日	学部	経済学部FD研修会 「「上級演習」の履修指導に必要な情報共有・チャレンジセブンの学生の学修成果を高める教育支援の推進」 経済学部FD委員会	42名
2016年5月27日	センター	Office365『包括機能説明&実習』 日本マイクロソフト株式会社	19名
2016年6月23日	学部	経済学部FD研修会 「国内外大学のFD推進、連携プログラムによる教育改革事例」 経済学部FD委員会	39名
2016年7月5日	センター	ネットリテラシー向上等啓発講習会 FutureOne株式会社<東京都からの外部派遣>	22名
2016年7月8日	センター	FDセミナー★ 「深い学びへのアプローチ～学生の理解を深める教授法」 加藤 かわり (帝京大学)	21名
2016年7月14日	学部	経済学部FD研修会 「ベネッセ i-キャリアアセスメントテストと卒業生満足度調査にかかるとの結果報告と考察」 株式会社ベネッセ 企画運営部調査企画課	43名
2016年7月14日	学部	法学部FD研修会 「ベネッセ i-キャリアアセスメントテストと卒業生満足度調査にかかるとの結果報告と考察」 株式会社ベネッセ 塩澤 一洋 (法学部)	30名
2016年9月12日	センター	CALL活用勉強会(秋期) チエル株式会社	8名

日付	区分	内容	出席者
2016年10月7日	センター	授業研究会「マーケティング<2>」 石井 裕明（経済学部）	9名
2016年10月27日	センター	授業研究会「古典文学基礎研究」 平野 多恵（文学部）	4名
2016年10月28日	センター	授業研究会「認知工学」 竹本 雅憲（理工学部）	3名
2016年11月14日	センター	授業研究会「成蹊を知る」 北川 浩（全学共通）	6名
2016年11月22日	センター	授業研究会「民事法特殊講義Ⅱ（企業・市場と法）」 北川 徹（法学部）	5名
2016年11月24日	センター	FD研修会 「教員と学生で考える デジタル素材の形」 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	13名
2016年12月9日・ 15日（各日同一内 容）	国際	国際教育センターFD（英語一貫）「Student-Centered Learning, Texts and Classroom Issues」 Barnaby Ralph（文学部）	計15名
2016年12月15日	センター	シラバスワークショップ 甲斐 宗徳（理工学部）	7名
2017年2月6日	センター	教職課程指導室共催 教職基礎教養強化講座「授業におけるICT講座」 教職課程指導室 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	3名
2017年2月22日	センター	「ピア・ラーニングを促進するICT活用法研究会」	12名

■ ティーチングアワード（2015年度授業）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
上田 泰	経済学部教授	人間行動と組織
石井 裕明	経済学部准教授	ブランド戦略
浜松 翔平	経済学部助教	競争戦略
竹本 雅憲	理工学部准教授	認知工学
脊戸 和寿	理工学部講師	コンピュータ基礎
平野 多恵	文学部教授	実践する日本文化
塩澤 一洋	法学部教授	民法、知的財産権法、LEI（民法発展講義）
Denny Lam	国際教育センター常勤講師	English for the Work Place
北山 修悟	法科大学院教授	民事法に係る諸科目

■ 日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」派遣者

氏名（所属）	派遣期間・会場	テーマ
野原 将揮（法学部講師）	2016年8月4日・5日 グランドホテル浜松	大学教員の職能開発と FD

■ 上級 SA（現 QLA）育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回（※は体験講習会）  2016 年 10 月 4 日※ 10 月 11 日・10 月 18 日・10 月 25 日 11 月 1 日・11 月 8 日・11 月 15 日・11 月 22 日・ 11 月 29 日・12 月 6 日・12 月 13 日 2018 年 1 月 10 日	勝野喜以子（学長直属） 岩田淳子（文学部）  高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2017 年 2 月 1 日	修了生：11 名

<2017 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 5 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の公募について
	協議 2	地域課題解決型研究プロジェクトの公募について
	協議 3	教育改革・改善プロジェクトの公募について
	協議 4	教育改革・改善プロジェクトの申請について（前年度からの継続事業）
	協議 5	ルーブリック・学修ポートフォリオの検討について
	懇談 1	授業評価アンケート結果について（2016 年度後期）
	依頼 1	一般財団法人全国大学実務教育協会「能動的学修の教員研修リーダー講座」の参加について
	依頼 2	公益財団法人大学セミナーハウス「新任教員研修セミナー」について
	報告 1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第 2 回 (2017 年 4 月 19 日)	依頼 1	ティーチングアワードの選出について（2016 年度分）
	依頼 2	日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」の参加者募集について（平成 29 年度）
	報告 1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
第 3 回 (2017 年 5 月 10 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	FD 参加状況について
	懇談 2	授業研究会について
第 4 回 (2017 年 5 月 16 日)	懇談 1	学科別の通算 GPA 分布について
第 5 回 (2017 年 5 月 24 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 6 回 (2017 年 6 月 7 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	協議 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 3	成蹊大学 FD 活動方針について
第 7 回 (2017 年 6 月 21 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について（追加）
	懇談 1	e-ラーニング教材に関するアンケート結果について
	報告 1	成蹊大学 FD 活動方針について（修正）
第 8 回 (2017 年 7 月 5 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について（追加）
第 9 回 (2017 年 7 月 19 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について（追加）
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	懇談 1	FD の参加者把握について
第 10 回 (2017 年 9 月 6 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	報告 1	経済学部「学生生活ポートフォリオ」について

開催年月日	区分	議案事項
第 11 回 (2017 年 10 月 4 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 12 回 (2017 年 10 月 18 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	授業評価アンケート結果について (2017 年度前期)
第 13 回 (2017 年 10 月 25 日)	依頼 1	高等教育開発支援センター・学長室共催 FD 講習会の開催について
第 14 回 (2017 年 12 月 20 日)	懇談 1	学生の学修時間、学修行動に関するアンケート結果について (2017 年度)
	依頼 1	一財) 全国大学実務教育協会「能動的学修の教員研修リーダー講座」 (第 5 回、平成 30 年度) の事前案内について
	報告 1	一財) 全国大学実務教育協会「能動的学修の教員研修リーダー講座」 (第 4 回、平成 29 年度) 実施報告について
第 15 回 (2018 年 2 月 21 日)	懇談 1	プロジェクトについて (2017 年度の報告、2018 年度の申込等)
	懇談 2	師弟協働型プロジェクト (仮称) の申込要領について
	依頼 1	一財) 全国大学実務教育協会「能動的学修の教員研修リーダー講座」 (第 5 回、平成 30 年度) の事前案内について
	報告 1	新任教員の FD 研修について
第 16 回 (2018 年 3 月 7 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の公募について
	協議 2	地域課題解決型研究プロジェクトの公募について
	協議 3	教育改革・改善プロジェクトの公募について
	懇談 1	ブリリアントプロジェクトの申込要領について

#### ■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 6 日)	審議 1	2016 年度 ティーチングアワードの候補者の選定について
	審議 2	ルーブリックならびにポートフォリオの改善について
	審議 3	各種届出決裁の担当教員について
	審議 4	FD 研修の年間計画について
	報告 1	学生生活ポートフォリオの入力説明について (2018 年度対応)
第 2 回 (2017 年 4 月 20 日)	審議 1	2016 年度 ティーチングアワードの候補者の選定について
	審議 2	FD 研修について
	懇談 1	ゼミナール協議会について
	懇談 2	ルーブリックならびに学生生活ポートフォリオの改善について

開催年月日	区分	議案事項
第3回 (2017年5月11日)	審議1	ゼミナール協議会について
	懇談1	ルーブリックについて
	懇談2	学修ポートフォリオについて
	懇談3	経済学部活性化プランについて
	その他1	FD研修『学生へのフィードバックによる授業改善ワークショップ』 (授業支援ボックス)開催について
第4回 (2017年6月1日)	審議1	ルーブリックについて
	審議2	学修ポートフォリオについて
	報告1	授業評価アンケート(前期)の実施について
	報告2	学生の学修評価の把握に関するアンケート結果について
	懇談1	ルーブリックについて
	懇談2	学生生活ポートフォリオについて
	懇談3	シラバスについて
	懇談4	105分13回授業とアクティブラーニングについて
	懇談5	授業支援ボックスの活用について
第5回 (2017年6月22日)	審議1	学生生活ポートフォリオについて
	報告1	2017年度 経済学部父母懇談会アンケート結果について
	懇談1	シラバスについて
	懇談2	授業支援ボックスの活用について
	懇談3	FD研修会について(学生の学修成果の把握に関するアンケートの結果について)
第6回 (2017年7月13日)	審議1	FD研修会(9/14)の実施について
	審議2	学生生活ポートフォリオのデータ集計について
	報告1	成蹊大学におけるFD基本方針と2017-2018活動方針について
	懇談1	FD研修会の実施計画について
第7回 (2017年9月14日)	審議1	授業支援ボックスの活用方法について
	懇談1	2018年度シラバス第三者チェックについて
第8回 (2016年10月6日)	報告1	第3回経済学部FD研修会の事後アンケート結果について
	懇談1	第4回経済学部FD研修会(10/26)について ・2018年度 シラバス作成および第三者チェックについて
第9回 (2017年10月26日)	審議1	2017年度のFD委員会日程について
	審議2	2017年度FD研修会の実施計画について
	報告1	シラバスワークショップ(高等教育開発・支援センター主催)について
	懇談1	2017年度前期授業評価アンケート結果について
	懇談2	第4回経済学部FD研修会(12/14)資料について
	懇談3	第4回経済学部FD研修会(12/14)資料について

開催年月日	区分	議案事項
第 10 回 (2017 年 11 月 16 日)	懇談 1	2017 年度前期 授業評価アンケート結果の課題対応について
	懇談 2	第 4 回経済学部 FD 研修会 (12/14) 資料について (再)
	懇談 3	学生生活ポートフォリオの活用について
第 11 回 (2017 年 11 月 30 日)	審議 1	学生生活ポートフォリオの活用について
	審議 2	第 4 回経済学部 FD 研修会 (12/14) 資料について
	審議 3	学生生活ポートフォリオの活用について
	懇談 1	各会議資料の電子化について
第 12 回 (2017 年 12 月 14 日)	審議 1	各会議資料の電子化について
	懇談 1	e ラーニング教材の利用と開発について
第 13 回 (2018 年 1 月 25 日)	懇談 1	2018 年度シラバス第三者チェックについて
	懇談 1	2018 年度学生に対するガイダンス・履修相談について
第 14 回 (2018 年 2 月 6 日)	審議 1	2018 年度学生に対するガイダンス・履修相談について
	報告 1	フレッシュャーズ・セミナーのミニシラバスについて
	懇談 1	14 カリキュラム申し合わせの改変について
第 15 回 (2018 年 2 月 16 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビュー 入力率について
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正について
	報告 3	2017 年度学生生活ポートフォリオの結果について
	報告 4	ティーチングアワードについて
	懇談 1	学生生活ポートフォリオについて
	懇談 2	14 カリキュラム申し合わせの改変について
第 16 回 (2018 年 3 月 1 日)	審議 1	14 カリキュラム申し合わせの改変について
	審議 2	2 年次ガイダンスのお知らせについて
	報告 1	2017 年度後期 授業評価アンケート集計結果の分析について
	懇談 1	ティーチングアワードについて
	懇談 2	ブリリアント・プロジェクト (仮称) について
	懇談 3	2018 年度 FD 研修会実施計画について

#### ■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 5 月 17 日)	報告等 1	能動的学修の教員研修リーダー講座に関する件
	報告等 2	2016 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 3	2017 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 4	2016 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2017 年 6 月 28 日)	報告等 1	2017 年度前期授業評価アンケート実施について
	報告等 2	理工学部 FD 委員会主催「FD 研修会」について

開催年月日	区分	議案事項
第3回 (2017年9月27日)	報告等1	理工学部 FD 委員会主催「FD 研修会」実施報告に関する件
	報告等2	学生生活ポートフォリオの実施について（案）に関する件
	報告等3	学生の学修成果に関するアンケート（卒業生満足度調査）に関する件
	報告等4	学生の学修時間、学修行動に関するアンケートに関する件
第4回 (2017年11月1日)	報告等1	2018年度シラバス入力に関する件
	報告等2	2017年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
第5回 (2017年12月6日)	報告等1	2017年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第6回 (2018年月10日)	報告等1	2017年度学生の学修時間、学修行動に関するアンケート結果に関する件
	報告等2	2018年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等3	2017年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第7回 (2018年2月21日)	報告等1	2017年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等2	2017年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等4	ティーチングアワードについて

#### ■ 文学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2017年5月10日)	議題1	2016年度成蹊大学ティーチングアワードの選考について
	議題2	文学部における今年度のFD活動について
第2回 (2017年5月26日～31日)※持ち回り開催	議題1	昨年度実施された卒業生アンケート結果について
第3回 (2017年9月17日)	議題1	昨年度後期に実施された授業評価アンケート結果について
第4回 (2017年10月13日～23日) ※持ち回り開催	議題1	今年度前期に実施された授業評価アンケート結果について
第5回 (2018年2月7日)	議題1	シラバス第三者チェックについて
第6回 (2018年2月17日)	議題1	シラバス第三者チェックについて

■ 法学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 1 日)	検討 1	法学部内部質保証／点検・評価シートについて
	検討 2	ティーチングアワードについて
	検討 3	カリキュラム改変について
第 2 回 (2017 年 4 月 20 日)	検討 1	ティーチングアワードについて
	検討 2	カリキュラム改変について
第 3 回 (2017 年 5 月 11 日)	検討 1	授業評価アンケート集計結果について
	検討 2	授業時間の変更について
第 4 回 (2017 年 6 月 1 日)	検討 1	第 2 回 FD 研修会の開催について
	検討 2	ティーチングアワードについて
	検討 3	副選考について
	検討 4	授業時間および授業回数について
	検討 5	授業評価アンケート学生コメントについて
第 5 回 (2017 年 6 月 22 日)	検討 1	内部質保証の資料作成について
	検討 2	法学部内部質保証／点検・評価シートについて
第 6 回 (2017 年 7 月 13 日)	検討 1	新カリキュラムの検討状況について
第 7 回 (2017 年 10 月 26 日)	検討 1	大学基準協会の指摘事項について
	検討 2	FD 研修会開催について
第 8 回 (2018 年 1 月 25 日)	検討 1	論文題目の管理について
	検討 2	FD 研修会開催について
	検討 3	学部・研究科の運営について
第 9 回 (2018 年 2 月 7 日)	検討 1	シラバス第三者チェックについて
第 10 回 (2018 年 2 月 16 日)	検討 1	シラバス第三者チェックについて

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD 関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 13 日)	報告 1	授業支援ボックスについて
	報告 2	中期重点目標について
	報告 3	FD・SD 講習会開催報告
第 2 回 (2017 年 5 月 18 日)	依頼 1	上級 SA の授業活用について
	報告 1	上級 SA レジюме勉強会報告
第 3 回 (2017 年 6 月 22 日)	報告 1	「私立大学等改革総合支援事業」における補助金対象事業について
	報告 2	情報基盤科目授業評価アンケート（2016 年度後期）の分析結果について
	報告 3	授業支援ボックス実運用講習会 開催予定について
第 4 回 (2017 年 7 月 13 日)	報告 1	授業支援ボックス実運用講習会開催報告
	報告 2	CALL システム講習会開催予定
第 5 回 (2017 年 9 月 14 日)	懇談 1	2017 年度後期授業研究会開催予定
	報告 1	上級 SA 合宿実施報告
	報告 2	2017 年度秋季 CALL 活用勉強会開催報告
第 6 回 (2017 年 10 月 19 日)	報告 1	2017 年度前期授業評価アンケート分析結果について（情報基盤科目）
	報告 2	ループリックに関するワークショップ 開催予定
第 7 回 (2017 年 11 月 16 日)	報告 1	FD セミナー『はじめてのループリック』開催報告
	報告 2	シラバスワークショップ開催予定
第 8 回 (2018 年 1 月 11 日)	協議 1	FD 研修会『授業研究会』開催報告
	報告 1	「持ち込み端末活用方法講習会」開催について
	報告 2	「FD 勉強会」開催について
	報告 3	「プレゼン発表練習会」 実施報告
	報告 4	シラバスワークショップ 実施報告

■ FD 協議会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 27 日)	協議 1	2017 年度 FD 協議会の開催日程について
	依頼 1	各学部等の FD 参加状況について
	依頼 2	各学部・研究科等の FD 活動状況について
	報告 1	SCHED 開催イベントの報告について
	報告 2	中期重点目標「教育の継続的改善」について
	報告 3	ループリック・学修ポートフォリオについて
	報告 4	2017 年度 SCHED 主催イベントの報告について
	報告 5	今後の SCHED 開催イベントについて
第 2 回 (2017 年 5 月 24 日)	依頼 1	学内 FD 情報サイトについて
	報告 1	2017 年度授業研究会について
	報告 2	FD 参加者一覧の閲覧者および編集者について
	報告 3	SCHED 主催 FD イベント『学生へのフィードバックによる授業改善ワークショップ』の報告について
	懇談 1	各学部・研究科等での FD 活動状況について
第 3 回 (2017 年 6 月 15 日)	報告 1	2017 年度前期授業研究会について
	報告 2	学部等別 FD エビデンスフォルダの共有者について
	報告 3	私立大学等改革総合支援事業タイプ 1 について
	報告 4	FD 活動方針について
第 4 回 (2017 年 7 月 20 日)	協議 1	後期 FD 協議会の開催日程について
	報告 1	FD 活動方針について
	報告 2	2017 年度前期授業研究会について
	報告 3	新任教員研修『上級救命講習』について
	報告 4	平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業タイプ 1 について
第 5 回 (2017 年 9 月 28 日)	報告 1	平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業タイプ 1 について
	報告 2	『2017 年度後期授業研究会』開催について
	報告 3	『CALL 教室活用研究会』実施について
	報告 4	『上級 SA 研修合宿』実施について
第 6 回 (2017 年 11 月 9 日)	報告 1	FD 企画の次年度計画について
第 7 回 (2018 年 1 月 18 日)	依頼 1	次期 FD 協議会委員の選任について
	依頼 2	新年度の各学部等のスケジュールについて
	報告 1	『授業研究会』実施について
	報告 2	『はじめてのループリック』実施について
	報告 3	『シラバスワークショップ』実施について
	報告 4	『スペシャル勉強会』開催について

■ 学内 FD 活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2017年4月6日	センター	新任教員研修	18名
2017年4月6日	センター	CALL 活用勉強会(春期) チエル株式会社	7名
2017年 4月26日・27日 5月17日・18日	センター	FD 研修会 「学生へのフィードバックによる授業改善ワークショップ」	計31名
2017年5月11日	学 部	法学部 FD 研修会 「2016年度後期授業評価アンケートから見る課題・改善点について」 塩澤 一洋(法学部)	30名
2017年6月1日	学 部	法学部 FD 研修会 「学科別通算 GPA 分布から見る課題・改善点について」 塩澤 一洋(法学部)	27名
2017年6月21日	学 部	文学部 FD 研修会 「ゼミにおける学生の意欲的発言を促す方法について」	40名
2017年6月28日	センター	授業支援ボックス実運用講習会 勝野 喜以子(大学・高等教育開発・支援センター副所長)	2名
2017年6月29日	センター	授業研究会「民法Ⅱ」 塩澤 一洋(法学部)	4名
2017年7月13日	センター	授業研究会「キャリアプランニング」 鈴木 賞子(全学共通)	4名
2017年9月12日	センター	CALL 活用勉強会(秋期) チエル株式会社	4名
2017年9月14日	学 部	経済学部 FD 研修会 「ICT 活用教育の推進～授業支援ボックスの活用事例紹介～」 経済学部 FD 委員会	41名
2017年10月9日	センター	授業研究会「社会調査の方法」 渡邊 大輔(文学部)	2名
2017年10月25日	センター	授業研究会「卒業研究<3>」 伊藤 克容(経済学部)	3名
2017年10月30日・ 11月15日 (各日同一内容)	国 際	国際教育センターFD(英語一貫) 「Increasing Motivation and Confidence: Facebook Secret Groups」 Christopher P. Madden (国際教育センター)	計13名
2017年11月10日	センター	FD セミナー★ 「はじめてのルーブリック」 沖 裕貴(立命館大学)	27名

日付	区分	内容	出席者
2017年11月22日	センター	授業研究会「流体力学Ⅰ」 小川 隆申（理工学部）	6名
2017年12月4日	国際	国際教育センターFD（英語一貫）「Teaching subjects through English (EMI): Issues and strategies」 Julie Dearden Tom Spain (Oxford EMI Training)	9名
2017年12月14日	学部	経済学部 FD 研修会 「シラバス講習会～シラバス作成と第三者チェックについて」 経済学部 FD 委員会	42名
2017年12月22日	センター	シラバスワークショップ 甲斐 宗徳（理工学部）	2名
2018年1月11日	センター	ICT 講習会「持ち込み端末活用方法講習会」 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	2名

■ ティーチングアワード（2016年度授業）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
伊藤 克容	経済学部教授	フレッシュャーズ・セミナー、上級演習、卒業研究
井上 潔司	経済学部教授	情報分析演習、フレッシュャーズ・セミナー
福澤 光啓	経済学部准教授	フレッシュャーズ・セミナー、コア演習、卒業研究
石井 卓	理工学部教授	線形数学
世木 寛之	理工学部教授	基礎プログラミング
森住 史	文学部准教授	翻訳・通訳セミナー
原 昌登	法学部教授	労働法、演習
三田 奈穂	法学部助教	日本国憲法、裁判と社会、生命倫理と法、日本法制史
鈴木 理恵	国際教育センター常勤講師	College English、Research methodology、Independent Study
芦沢 キャロリン	国際教育センター常勤講師	College English、Independent Study
峰松 愛子	国際教育センター常勤講師	College English、Academic Listening、Global Perspectives
尾関 幸美	法科大学院教授	企業組織法をはじめとする商法系諸科目
高部 道彦	法科大学院教授	刑法及び刑事訴訟法をはじめとする刑事系諸科目

■ 六大学合同 SD・FD 研修会

開催日	テーマ
2017年9月5日	DP からの一貫性あるカリキュラム設計：追手門学院大学での革新

■ 上級 SA (現 QLA) 育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回 (※は体験講習会) 2017 年 10 月 3 日※ 10 月 10 日・10 月 17 日・10 月 24 日・10 月 31 日 11 月 7 日・11 月 14 日・11 月 21 日・11 月 28 日・ 12 月 5 日・12 月 12 日	講師： 勝野喜以子 (学長直属) 岩田淳子 (文学部)  高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2018 年 1 月 30 日	修了生：8 名

■ 高等教育開発・支援センター・上級 SA 「広島大学国際フォーラム」教職員学生共同発表

開催日	テーマ・開催場所	発表者
2018 年 2 月 27 日	<国際フォーラム> 「大学におけるティーチング・アシスタント (TA) 制度改革の挑戦～ 大学・大学院教育の充実にむけ て～」 広島大学東広島キャンパス	勝野喜以子 (学長直属) ・ 上級 SA 3 名 ・ 高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課職員 3 名

<2018 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2018 年 4 月 11 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトについて
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	懇談 1	授業評価アンケート結果について (2017 年度後期)
	依頼 1	日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」の参加者募集について (平成 29 年度)
	報告 1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第 2 回 (2018 年 4 月 25 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
	依頼 1	ティーチングアワードの選出について (2017 年度分)
第 3 回 (2018 年 5 月 22 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	懇談 1	プロジェクト型授業奨励金にかかる依頼状について
	懇談 2	ブリリアントプロジェクトに関する確認事項について
	依頼 1	公益財団法人大学セミナーハウス「新任教員研修セミナー」について
第 4 回 (2018 年 6 月 6 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 2	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
第 5 回 (2018 年 6 月 20 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について (追加)
第 6 回 (2018 年 7 月 4 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトの申請について
第 7 回 (2018 年 7 月 18 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
第 8 回 (2018 年 9 月 5 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトの選定について
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	報告 1	授業での QLA 活用について
第 9 回 (2018 年 10 月 3 日)	協議 1	プロジェクト型授業 (奨励金) の選定について
	報告 1	教育改革・改善プロジェクトの経費について
第 10 回 (2018 年 10 月 17 日)	協議 1	プロジェクト型授業 学外活動参加同意書について
	報告 1	FD セミナーについて
第 11 回 (2018 年 11 月 7 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 12 回 (2019 年 2 月 6 日)	協議 1	2019-2020 年度 成蹊大学 FD 方針について
	協議 2	ブリリアントプロジェクト奨励金 公募要領について (2019 年度)
	協議 3	教育改革・改善プロジェクト 公募要領について (2019 年度)
	協議 4	プロジェクト型授業奨励金について (2019 年度)
	協議 5	地域課題解決型研究プロジェクトの廃止について

開催年月日	区分	議案事項
第13回 (2019年3月6日)	協議1	教育改革・改善プロジェクトの申請について①
	協議2	教育改革・改善プロジェクトの申請について②
	依頼1	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について①
	報告1	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について②
	依頼1	成蹊ティーチングアワード一次候補者の選考について

## ■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年4月5日)	審議1	2017年度 ティーチングアワードの候補者の選定方法について
	審議2	FD研修の年間計画について
	報告1	学生生活ポートフォリオの活用説明について(2018年度対応)
	懇談1	学生生活ポートフォリオの改善について
	懇談2	新学生生活ポートフォリオの検討について
	懇談3	研究倫理について ・他大学の指導事例について ・3~4年次の指導について
第2回 (2018年4月26日)	審議1	2017年度 ティーチングアワードの候補者の選定について
	審議2	FD研修の年間計画について
	報告1	ゼミナール協議会について
	懇談1	各学部等のFD参加状況把握について
第3回 (2018年5月17日)	審議1	ゼミナール協議会について
	懇談1	新「学生生活ポートフォリオ(仮称)」の検討について
第4回 (2018年6月7日)	審議1	新「学生生活ポートフォリオ(仮称)」の検討について
	報告1	授業評価アンケート(前期)の実施について
	報告2	第1回経済学部FD研修会実施結果について
第5回 (2018年6月21日)	報告1	2018年度経済学部父母懇談会アンケート結果について
	審議2	オンライン教材の活用について
	懇談1	新「学生生活ポートフォリオ(仮称)」システムについて
第6回 (2018年7月12日)	報告1	学生生活ポートフォリオのデータ集計について
	懇談1	2018年度FD活動について
	懇談2	新「学生生活ポートフォリオ(仮称)」システムについて
	その他1	2018年度前期 学生生活ポートフォリオの実施について
第7回 (2018年9月13日)	報告1	学生生活ポートフォリオの記録状況について
	懇談1	2019年度 シラバス第三者チェックについて
第8回 (2018年10月4日)	報告1	平成30年度私立大学等改革総合支援事業(タイプ1)の内容について

開催年月日	区分	議案事項
第9回 (2018年10月25日)	懇談1	2018年度前期 授業評価アンケート結果とFD意識向上に向けて
	懇談2	第2回FD研修会(12/6予定)について
	その他1	シラバスワークショップ(高等教育開発・支援センター主催)について
第10回 (2018年11月8日)	審議1	2018年度前期 授業評価アンケート結果からの課題対応について
	懇談1	第2回FD研修会(12/6)について
第11回 (2018年11月22日)	審議1	シラバス作成に関する資料について
	懇談1	学生生活ポートフォリオの活用について
第12回 (2018年12月6日)	審議1	学生生活ポートフォリオの活用について
	審議2	FD委員会の開催日時について
第13回 (2018年12月20日)	報告1	大学運営会議(12/19)について
第14回 (2019年1月24日)	報告1	2019年度 シラバス第三者チェックについて
	懇談1	2019年度 学生に対するガイダンス・履修相談について
第15回 (2019年2月17日)	審議1	2019年度 学生に対するガイダンス・履修相談について
	報告1	2018年度 学生生活ポートフォリオの結果について
	懇談1	14カリキュラム申し合わせの改変について
第16回 (2019年2月18日)	審議1	14カリキュラム申し合わせの改変について
	報告1	シラバス第三者チェックによる修正について

#### ■ 理工学部FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年5月23日)	報告等1	2017年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等2	2018年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等3	2017年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第2回 (2018年6月27日)	報告等1	2018年度前期授業評価アンケート実施について
	報告等2	学生の学修成果に関するアンケート(卒業生満足度調査)に関する件
第3回 (2018年9月26日)	報告等1	理工学部FD委員会主催「FD研修会」実施報告に関する件
	報告等2	2017年度卒業生満足度調査(理工学部と文系学部の比較)に関する件
第4回 (2018年11月28日)	報告等1	2019年度シラバス入力に関する件
	報告等2	2018年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等3	2018年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第5回 (2018年12月12日)	報告等1	2018年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第6回 (2019年1月9日)	報告等1	2019年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等2	2018年度後期授業評価アンケート実施に関する件

開催年月日	区分	議案事項
第7回 (2019年2月27日)	報告等1	2017年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等2	2017年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等3	2018年度「学生の学修時間の実態、学修行動の把握に関する調査」に関する件
	報告等4	2018年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件

#### ■ 文学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年5月16日)	議題1	2017年度成蹊大学ティーチングアワードの選考について
	議題2	文学部における今年度のFD研修会について
第2回 (2018年7月13日～24日)※持ち回り開催	議題1	昨年度後期に実施された授業評価アンケート結果について
第3回 (2018年7月27日～8月1日・8月24日～28日)※持ち回り開催	議題1	2017年度卒業生満足度調査の結果について
第4回 (2018年9月24日～10月1日) ※持ち回り開催	議題1	2018年度前期に実施された授業評価アンケート結果について
第5回 (2019年2月7日)	議題1	シラバス第三者チェックについて
第6回 (2019年2月16日)	議題1	シラバス第三者チェックについて

#### ■ 法学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年4月3日)	検討1	法学部内部質保証／点検・評価シートについて
	検討2	自己点検評価について
	検討3	ティーチングアワードについて
	検討4	学部・研究科の運営について
第2回 (2018年4月26日)	検討1	FD研修会の開催について
	検討1	内部質保証シートの作成について
第3回 (2018年5月17日)	検討1	ティーチングアワードについて

開催年月日	区分	議案事項
第4回 (2018年6月7日)	検討1	内部質保証の資料作成について
	検討2	自己点検・評価について
	検討3	卒業生アンケートについて
第5回 (2018年6月9日)	検討1	内部質保証の資料作成について
第6回 (2018年9月13日)	検討1	2020年度以降の授業時間等の変更について
第7回 (2018年10月25日)	検討1	成蹊教養カリキュラムプロジェクトについて
	検討2	副専攻について
第8回 (2018年11月8日)	検討1	カリキュラム改編について
第9回 (2018年11月22日)	検討1	カリキュラムと3ポリシーについて
第10回 (2019年2月14日)	検討1	補助金(タイプ1)の改善事項についての取り組みについて
	検討1	シラバス第三者チェックについて
第11回 (2019年3月4日)	検討1	内部質保証に係る指摘事項への対応について
	検討2	法学部3ポリシーの改定について

■ 高等教育開発・支援センター運営会議 (FD関連のみ)

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年5月15日)	報告1	中期重点目標について
	報告2	2017年度後期授業評価アンケート分析結果について(情報基盤科目)
	報告3	高等教育開発および支援センター活動報告(FD・SD・ICT講習会等)
第2回 (2018年6月19日)	懇談1	2017年度後期授業評価アンケート分析結果について
	報告1	「私立大学等改革総合支援事業」における補助金対象事業について
第3回 (2018年7月10日)	懇談1	中期計画アセスメントについて
	報告1	「授業研究会」開催報告
	報告2	「CALLシステム講習会」開催予定
第4回 (2018年9月12日)	報告1	「CALL活用勉強会」開催予定
	報告2	「イベント開催ノウハウ講習会」開催予定
第5回 (2021年1月14日)	報告1	2018年度前期授業評価アンケート分析結果について(情報基盤科目)
	報告2	「QLA合宿」実施報告
	報告3	「CALL活用勉強会」実施報告
	報告4	「イベント開催ノウハウ講習会」実施報告
	報告5	「授業研究会」開催予定
	報告6	「FDセミナー SA・TA活用のからくり」開催予定

開催年月日	区分	議案事項
第 6 回 (2018 年 11 月 16 日)	懇談 1	2018 年度前期授業評価アンケート分析結果について (情報基盤科目)
	報告 1	「ミニ FD スペシャル勉強会」開催報告
	報告 2	「FD セミナー SA・TA 活用のからくり」開催報告
第 7 回 (2019 年 1 月 11 日)	報告 1	後期授業研究会 (10/23・11/8・11/20) 開催報告
	報告 2	「シラバスワークショップ」(12/21) 開催報告

## ■ FD 協議会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2018 年 4 月 24 日)	協議 1	2018 年度 FD 協議会の開催日程について
	依頼 1	各学部等の FD 参加状況把握について
	依頼 2	2018 年度各学部等の FD 活動計画について
	依頼 3	授業研究会について
	報告 1	中期重点目標「教育の継続的改善」について
	報告 2	<実施報告>SCHED 主催イベントについて
	報告 3	<実施計画>SCHED 主催イベントについて
	報告 4	スペシャル勉強会のお知らせ
第 2 回 (2018 年 5 月 29 日)	報告 1	2018 年度授業研究会について
	報告 2	FD 参加者一覧の閲覧者および編集者について
	報告 3	SCHED 主催 FD イベント『授業支援ボックス実運用講習会』の報告について
	懇談 1	各学部・研究科等での FD 活動状況について
第 3 回 (2018 年 7 月 10 日)	協議 1	後期 FD 協議会の開催日程について
	報告 1	2018 年度前期授業研究会について
	報告 2	新任教員研修『上級救命講習』について
	報告 3	平成 29 年度改革総合支援事業タイプ 1 について
	懇談 1	FD 基本方針について
第 4 回 (2018 年 10 月 5 日)	協議 1	平成 30 年度改革総合支援事業タイプ 1 について
	協議 2	FD アンケートの内容確認
	報告 1	FD セミナー 『授業が変わる！学生が変わる！SA・TA 活用のからくり』開催について
	報告 2	『後期授業研究会』開催について
	報告 3	『CALL 教室活用講習会』について (9/14 実施)
	報告 4	『イベントノウハウ講習会』について (9/14 実施)

開催年月日	区分	議案事項
第5回 (2018年12月14日)	報告1	『授業運営上の工夫』に関するアンケート集計結果
	報告2	2018年度QLA箱根合宿の実施報告(9/9-9/11)
	報告3	『ミニFD-スペシャル勉強会』開催報告(10/5)
	報告4	2018年度後期授業研究会実施報告(10/23、11/8、11/20)
	報告5	FDセミナー『授業が変わる！学生が変わる！SA・TA(QLA)活用のからくり』開催報告(11/1)
	報告6	シラバスワークショップの開催について(12/21)
第6回 (2019年1月10日)	協議1	2019～2020年度成蹊大学FD活動方針について
	依頼1	次期FD協議会委員の選任について
	依頼2	新任教員研修の開催について
	報告1	シラバスワークショップ(12/21)開催報告
	報告2	FD企画の次年度計画について

■ 学内FD活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2018年4月6日	センター	新任教員研修	17名
2018年5月10日	センター	授業支援ボックス実運用講習会 勝野 喜以子(大学・高等教育開発・支援センター副所長)	8名
2018年6月7日	学部	法学部FD研修会 「2017年度卒業生満足度調査について」 坂野 由紀子(法学部)	31名
2018年6月28日	センター	授業研究会「健康・スポーツの基礎」 武藤 健一郎・稲葉 佳奈子(全学共通)	3名
2018年7月2日	センター	授業研究会「フレッシュャーズ・セミナー」 浜松 翔平(経済学部)	1名
2018年7月11日	学部	文学部FD研修会 「学生間の意欲的な意見交換を促す方法について」 喜岡 淳治(文学部)	36名
2018年7月17日	国際	国際教育センター(英語教員)FD「Learning Vocabulary: Sequences and Sounds」 Michael Green(国際教育センター)	14名
2018年9月14日	センター	イベント開催ノウハウ講習会 勝野 喜以子	12名
2018年9月14日	センター	CALL活用勉強会(秋期) チエル株式会社	3名

開催年月日	区分	議案事項	開催年月日
2018年10月5日	センター	ミニFDスペシャル勉強会 井上 智夫（経済学部）	3名
2018年10月23日	センター	授業研究会「メディア英語B」 森住 史（文学部）	4名
2018年11月1日	センター	FDセミナー★ 「授業が変わる！学生が変わる！QLA・SA・TA活用のからくり」 Eric Stude（コロラド大学） 佐藤 万知（広島大学） 井上 智夫（経済学部）	29名
2018年11月8日	センター	授業研究会「実践科学研究スキル」 戸谷 希一郎（理工学部）	10名
2018年11月20日	センター	授業研究会「労働法演習ⅢB/IVB」 原 昌登（法学部）	3名
2018年11月20日	国際	国際教育センター（英語教員）FD「英語俳句を通じた文化認識 と言語スキル」 Quenby Hoffman Aoki（国際教育センター）	14名
2018年11月30日	センター	教育改革・改善プロジェクト 『2018 International Learning Assistant Conference』報告 会 大野 正智（経済学部） 井上 智夫（経済学部）	
2018年12月5日	学部	経済学部FD研修会 「学生生活ポートフォリオの活用について」 鷹岡 澄子（経済学部）	42名
2018年12月21日	センター	シラバスワークショップ 甲斐 宗徳（理工学部）	3名

■ ティーチングアワード（2017年度）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
時岡 規夫	経済学部教授	国際経営
挾本 佳代	経済学部教授	環境問題の基礎
山崎 由香里	経済学部教授	人間情報処理
三浦 正志	理工学部教授	エレクトロニクス計測、電磁気学、電気機械システム
増田 斐那子	理工学部准教授	College English、科学英語
澁谷 智子	文学部准教授	社会学入門、社会福祉概論
山田 崇人	法学部教授	多読で学ぶ英語と文化
立石 洋子	法学部助教	フレッシャーズ・セミナー、社会科学方法論、政治学の基礎
ハガ サチエ	国際教育センター常勤講師	Independent Study

■ 六大学合同 SD・FD 研修会

開催日	テーマ
2018年7月30日	今後求められる人材育成と高大接続 ～2030年に向けた大学改革

■ QLA 育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全10回（※は体験講習会） 2018年 10月2日※ 10月9日・10月16日・10月23日・10月30日 11月6日・11月13日・11月20日・11月27日・ 12月4日・12月11日	講師： 勝野喜以子（学長直属） 岩田淳子（文学部）  高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2019年2月4日	修了生：28名

<2019 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 10 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの申請について<1 件>
	報告 1	プロジェクト型授業<8 件>
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト<7 件>
	報告 3	ブリリアントプロジェクト<2 件>
第 2 回 (2019 年 4 月 24 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
第 3 回 (2019 年 5 月 22 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
第 4 回 (2019 年 5 月 28 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
第 5 回 (2019 年 6 月 12 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
	懇談 1	GPA の分布の適正性について
第 6 回 (2019 年 7 月 3 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	協議 2	ブリリアントプロジェクトの申請について
第 7 回 (2019 年 7 月 24 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの申請について
第 8 回 (2019 年 9 月 11 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトの申請について
	懇談 1	シラバス第三者チェックについて
第 9 回 (2019 年 10 月 2 日)	懇談 1	シラバス第三者チェックについて
	懇談 1	シラバス作成要領の改訂ポイントについて (2020 年度)
	懇談 1	IR コンソーシアムアンケート (2018 年度) の結果公開について
第 10 回 (2019 年 10 月 23 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
	協議 2	シラバス作成要領の改訂ポイントおよびシラバス作成要領について
	懇談 1	シラバス第三者チェックにおける重点項目の設定について
第 11 回 (2019 年 11 月 27 日)	協議 1	シラバス第三者チェックにおける重点項目の設定について
第 12 回 (2020 年 2 月 5 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクト奨励金 公募要領について (2020 年度)
	協議 2	教育改革・改善プロジェクト 公募要領について (2020 年度)。
	協議 3	プロジェクト型授業奨励金について (2020 年度)
第 13 回 (2020 年 2 月 26 日)	依頼 1	アセスメントテスト「GPS-Academic」報告会実施について
	報告 1	IR 指標作成について (アセスメント・ポリシーに明示されたデータによる指標作成状況)

開催年月日	区分	議案事項
第 14 回 (2020 年 3 月 11 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの申請について①
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について②
	協議 3	ブリリアントプロジェクトの申請について
	報告 1	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について①
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について②
	報告 3	ブリリアントプロジェクト 成果報告書について
	依頼 1	成蹊ティーチングアワード一次候補者の選考について

## ■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 4 日)	審議 1	ティーチングアワード候補者推薦に関する申合せについて
	報告 1	研究倫理について ・1 年次の指導について ・3 年次の指導について
	懇談 1	2018 年度 ティーチングアワードの選定について
	懇談 2	FD 研修の年間計画について
第 2 回 (2019 年 4 月 18 日)	審議 1	2018 年度 ティーチングアワード候補者の選定について
第 3 回 (2019 年 5 月 16 日)	—	—
第 4 回 (2019 年 6 月 6 日)	懇談 1	2019 年度の FD 活動について
第 5 回 (2019 年 6 月 27 日)	報告 1	経済学部父母懇談会アンケート結果について
	懇談 1	2019 年度の FD 活動について
第 6 回 (2019 年 7 月 18 日)	懇談 1	2019 年度の FD 活動について
第 7 回 (2019 年 9 月 12 日)	報告 1	FD 研修会の開催について
第 8 回 (2019 年 10 月 10 日)	審議 1	IR 推進委員会実施アンケートの内容の検討について*
	報告 1	第 1 回経済学部 FD 研修会について
	懇談 1	前期授業評価アンケート結果について
第 9 回 (2019 年 10 月 31 日)	報告 1	シラバス作成依頼について
	懇談 1	2020 年度シラバスとりまとめについて
	懇談 2	2020 年度シラバス第三者チェックについて
第 10 回 (2019 年 11 月 21 日)	審議 1	2020 年度シラバスとりまとめについて
	懇談 1	2020 年度シラバス第三者チェックについて
	懇談 2	2020 年度シラバス第三者チェック承認者について

開催年月日	区分	議案事項
第 11 回 (2019 年 12 月 5 日)	審議 1	2020 年度シラバス第三者チェックについて
	審議 2	FD 委員会等の開催日時について
第 12 回 (2019 年 12 月 19 日)	—	—
第 13 回 (2019 年 1 月 23 日)	報告 1	2020 年度シラバス第三者チェックについて
	報告 2	2020 年度シラバス第三者チェック承認者について
	報告 3	2020 年度シラバス第三者チェックについて
第 14 回 (2019 年 2 月 6 日)	報告 1	2020 年度シラバス入稿状況について
	報告 2	2020 年度シラバス第三者チェックによる修正について
	懇談 1	シラバス第三者チェックについて
	懇談 2	14 カリキュラム申し合わせの改変について
第 15 回 (2019 年 2 月 18 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビュー 入力率について
第 16 回 (2019 年 3 月 2 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビュー 入力率について
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正について
	懇談 1	ティーチングアワードについて
	懇談 1	2020 年度 FD 研修会実施計画について

#### ■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 17 日)	報告等 1	2018 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2019 年 5 月 29 日)	報告等 1	2019 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 2	2019 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 3	卒業時アンケート (2018 年度) に関する件
	報告等 4	学生の学修時間の実態、学修行動の把握に関する調査 (2018 年度) に関する件
第 3 回 (2019 年 6 月 19 日)	報告等 1	2019 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 2	2018 年度後期授業評価アンケート GPA クロス集計結果に関する件
第 4 回 (2019 年 9 月 25 日)	報告等 1	2014 年度～2017 年度入学生の卒業率に関する件

開催年月日	区分	議案事項
第5回 (2019年11月13日)	報告等1	2020年度シラバス入力に関する件
	報告等2	2020年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等3	2019年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等4	2019年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等5	2018年度IRコンソーシアムアンケートの結果(一年生調査)に関する件
	報告等6	2018年度IRコンソーシアムアンケートの結果(上級生調査)に関する件
	報告等7	2008年度～2015年度入学生の卒業率に関する件
	報告等8	教授会前の定期的なFD活動について
第6回 (2019年12月19日)	報告等1	2019年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第7回 (2020年1月8日)	報告等1	2020年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等2	2017年度後期授業評価アンケート結果に関する件
第8回 (2020年2月19日)	報告等1	2020年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等2	2017年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等3	2019年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件

#### ■ 文学部FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2019年4月17日)	議題1	2018年度成蹊大学ティーチングアワードの選考について
	議題2	文学部における今年度のFD研修会について
第2回 (2019年5月9日～23日)※持ち回り開催	議題1	2018年度「学生の学修時間の実態・学修行動の把握に関する調査」の結果について
第3回 (2019年7月4日～18日)※持ち回り開催	議題1	2018年度後期の授業評価アンケート結果について
第4回 (2019年9月19日～10月3日) ※持ち回り開催	議題1	2019年度前期に実施された授業評価アンケート結果について
第5回 (2019年10月4日～7日・10月28日～11月5日) ※持ち回り開催	議題1	IR推進委員会実施アンケートの結果分析について
第6回 (2020年2月7日)	議題1	カリキュラム・フローとシラバス第三者チェックについて

■ 法学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 2 日)	検討 1	ティーチング・アワードについて
	検討 2	学部・研究科の運営について
第 2 回 (2019 年 4 月 18 日)	検討 1	内部質保証シートの作成について
第 3 回 (2019 年 6 月 6 日)	検討 1	卒業生アンケートを題材とした FD 活動の実施について
	検討 2	内部質保証の資料（自己点検シート）作成について
第 4 回 (2019 年 6 月 8 日)	検討 1	内部質保証の資料作成について
第 5 回 (2019 年 6 月 27 日)	検討 1	2020 カリキュラムの修正について
	検討 2	法学政治学研究科における認証評価指摘事項への対応について
第 6 回 (2019 年 7 月 18 日)	検討 1	内部質保証における努力課題について
	検討 2	法学政治学研究科における認証評価指摘事項への対応について
第 7 回 (2019 年 9 月 12 日)	検討 1	重点学修認定制度について
	検討 2	初年次教育の内容明示について
	検討 3	シラバス第三者チェックについて
	検討 4	大学院カリキュラムの改編について
第 8 回 (2019 年 10 月 10 日)	検討 1	IR コンソーシアムアンケートについて
	検討 2	カリキュラムマップの検討について
	検討 3	大学院 3 ポリシーの検討について
第 9 回 (2019 年 10 月 31 日)	検討 1	法学部カリキュラムマップについて
	検討 2	大学院カリキュラムマップおよび 3 ポリシーについて
第 10 回 (2020 年 2 月 20 日)	検討 1	シラバス第三者チェックについて
第 11 回 (2020 年 3 月 2 日)	検討 1	内部質保証に係る指摘事項への対応について

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD 関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 26 日)	協議 1	高等教育開発・支援センター運営会議の開催日程について
	懇談 1	2018 年度後期授業評価アンケート分析結果について（情報基盤科目）
	依頼 1	QLA の授業活用について
	報告 1	第 2 次中期計画について
	報告 2	オンライン教育検討プロジェクト最終報告について
	報告 3	高等教育開発・支援センター活動報告（FD・SD・ICT 講習会等）

開催年月日	区分	議案事項
第2回 (2019年6月14日)	懇談1	情報基盤科目部会の在り方について
	報告1	教育の質向上に向けたロードマップ2018の実行について
	報告2	第2次中期計画について
	報告3	「授業研究会」開催について
第3回 (2019年7月12日)	協議1	情報基盤科目部会の在り方について
第4回 (2019年9月12日)	—	(FD関連議題なし)
第5回 (2019年10月11日)	報告1	イベント関連報告：QLA合宿、CALL講習会
第6回 (2019年11月18日)	報告1	イベント関連：授業支援ボックス実運用講習会、FDセミナー「～学生と一緒に考える～学習成果を見据えた授業デザイン」、授業研究会、シラバスワークショップ
第7回 (2019年12月19日)	報告1	イベント関連報告：FDセミナー「～学生と一緒に考える～学習成果を見据えた授業デザイン」、授業研究会

#### ■ FD協議会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2019年4月23日)	協議1	2019年度FD協議会の開催日程について
	依頼1	各学部等のFD参加状況把握について
	依頼2	授業研究会について
	依頼3	2019年度各学部等のFD活動計画について
	報告1	2019年度新任教員研修の開催報告
	報告2	新任教員研修への客員教員の参加について
	報告3	2019年度春季CALL講習会
	報告4	<実施計画>SCHED主催イベントについて
	報告5	スペシャル勉強会のお知らせ
第2回 (2019年6月4日)	報告1	2019年度授業研究会について
第3回 (2019年7月23日)	協議1	後期FD協議会の開催日程について
	報告1	各学部・研究科等でのFD活動状況について
	報告2	各学部・研究科等のFD参加状況について
	報告3	新任教員研修『上級救命講習』について
	報告4	授業研究会開催報告

開催年月日	区分	議案事項
第4回 (2019年10月15日)	協議1	令和元年度改革総合支援事業タイプ1について
	報告1	2021～2022年度成蹊大学FD活動方針について ・学部・国際教育センター各委員よりFD活動についての報告・総括
	報告2	令和元年度改革総合支援事業タイプ1について
	報告3	『2019年度QLA箱根合宿について(実施報告)』(8/23-25実施)
	報告4	『秋季CALL活用勉強会 開催報告』(9/5実施)
第5回 (2019年11月19日)	協議1	授業研究会の授業見学のみの参加について
	報告1	FDセミナー『～学生と一緒に考える～学習成果を見据えた授業デザイン』開催報告(11/13実施)
	報告2	2019年度後期授業研究会の開催について(12/13開催予定)
	報告3	2019年度シラバスワークショップの開催について(12/20開催予定)
第6回 (2019年12月17日)	協議1	授業研究会の授業見学のみの参加について
	報告1	2019年度後期授業研究会開催報告(9/26、12/13実施)
第7回 (2020年1月21日)	依頼1	次期FD協議会委員の選任について
	依頼2	新任教員研修の開催について
	報告1	シラバスワークショップ(12/20実施)開催報告

■ 学内FD活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2019年4月2日	センター	教員向けICT環境・操作説明会	
2019年4月4日	センター	CALL活用勉強会(春期) チエル株式会社	3名
2019年4月5日	センター	新任教員研修	14名
2019年5月16日	学部	法学部FD研修会 「2018年度卒業満足度調査について」 野原 将揮(法学部)	29名
2019年6月25日	センター	授業研究会「地域福祉論」 澁谷 智子(文学部)	5名
2019年6月28日	センター	授業研究会「日本語ⅡロールプレイⅠ」 川上 麻里(全学教育講師)	2名
2019年7月2日	センター	授業研究会「情報基礎」 脊戸 和寿(理工学部)	5名
2019年7月17日	学部	文学部FD研修会 「ホワイトボードを用いたペアワーク実践」 喜岡 淳治(文学部)	38名

日付	区分	内容	出席者
2019年7月22日	センター	授業研究会「フレッシューズ・セミナー」 村上 朝之（理工学部） 柴田 昌明（理工学部） 小方 博之（理工学部）	1名
2019年9月5日	センター	CALL 活用勉強会（秋期） チエル株式会社	3名
2019年9月12日	学 部	法学部 FD 研修会 「2018年度卒業生アンケート結果について」 野原 将揮（法学部）	25名
2019年9月17日	学 部	経済学部 FD 研修会「シラバス・レビュー」 井上 淳子（経済学部）	41名
2019年9月26日	センター	授業研究会「アメリカ政治外交論」 西山 隆行（法学部）	1名
2019年10月2日～ 4日	センター	授業支援ボックス実運用講習会 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	計9名
2019年10月10日	学 部	法学部 FD 研修会 「IR コンソーシアムアンケートの結果に基づく授業計画や教育 活動への活用について」 金 光旭（法学部）	FD 委員長 ・委員
2019年10月10日	学 部	法学部 FD 研修会 「IR コンソーシアムアンケートの結果について」 金 光旭（法学部）	26名
2019年11月13日	センター	FD セミナー★ 「～学生と一緒に考える～学習成果を見据えた授業デザイン」 岩崎 千晶（関西大学）	29名
2019年12月13日	センター	授業研究会「マクロ経済学入門Ⅱ」 井上 智夫（経済学部）	1名
2019年12月17日	国 際	国際教育センター（英語教員）FD「授業時のアイスブレイク法 およびウォームアップ活動について」 Christopher Madden（国際教育センター） Hiroaki Umehara（国際教育センター）	13名
2019年12月20日	センター	シラバスワークショップ 甲斐 宗徳（理工学部）	2名
2020年1月16日	センター	『2019 International Learning Assistant Conference』参加 報告会 井上 智夫（経済学部） 鈴木 史馬（経済学部）	11名

■ ティーチングアワード（2018年度）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
俊野 雅司	経済学部教授	上級演習
伊藤 公哉	経済学部准教授	フレッシュャーズ・セミナー
田中 研太郎	経済学部准教授	情報分析演習
作間 啓太	理工学部助教	基礎物理学、システムデザイン実験
菅原 一輝	理工学部助教	基礎生物学、理工学計算
高瀬 裕	理工学部助教	上級プログラミング、応用プログラミング実験
有富 純也	文学部教授	日本の歴史と文化、基礎演習
李 林静	法学部教授	中国語基礎、異文化理解A（ことばと文化の窓）
野原 将揮	法学部准教授	中国語基礎、文化演習（中国語圏）
萩澤 達彦	法科大学院教授	民事訴訟法、民事手続法系諸科目

■ 六大学合同 SD・FD 研修会

開催日	テーマ
2019年10月4日	学修成果の可視化を改革に活かす －学生の学びを中心に据えた大学を目指して－

■ 日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」派遣者

氏名（所属）	派遣期間・会場	テーマ
井上 慶太（経済学部）	2019年8月7日・8日 グランドホテル浜松	大学教員の職能開発とFD
齋藤 守弘（理工学部）	2019年8月8日・9日 グランドホテル浜松	大学教員の職能開発とFD

■ QLA 育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全10回（※は体験講習会） 2019年 10月1日※ 10月8日・10月15日・10月22日・ 11月5日・11月12日・11月19日・11月26日・ 12月3日・12月10日・12月17日	講師： 勝野喜以子（学長直属） 岩田淳子（文学部）  高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2020年1月30日	修了生：17名

<2020 年度>

コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校、自粛対応等により、後期より再開した授業研究会を除き、企画を中止した。

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 9 日)	報告 1	プロジェクト型授業 成果報告書について①②③④
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について①②③④
	報告 3	ブリリアントプロジェクト 成果報告書について①②
	報告 4	新任専任教員向け FD 推進ワークショップの参加者募集について
第 2 回 (2020 年 6 月 17 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
第 3 回 (2020 年 7 月 1 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトの申請について
	報告 1	IR 報告会(「GPS-Academic」結果報告会)開催記録について
第 4 回 (2020 年 9 月 9 日)	協議 1	プロジェクト型授業の申請について
	報告 1	学生の学修時間の実態及び学修行動について
第 5 回 (2020 年 10 月 7 日)	協議 1	プロジェクト型授業の申請について①②
	協議 2	FD 活動のための調査・分析に必要な個人情報利用について
第 6 回 (2020 年 10 月 21 日)	協議 1	プロジェクト型授業の申請について
第 7 回 (2021 年 1 月 13 日)	協議 1	プロジェクト型授業の申請について
	依頼 1	「数理・データサイエンス・A I と社会との繋がりを考える」FD 研修(オンデマンド配信)実施について
第 8 回 (2021 年 3 月 10 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクト奨励金 公募要領について(2021 年度)
	協議 2	教育改革・改善プロジェクト 公募要領について(2021 年度)
	協議 3	プロジェクト型授業奨励金 公募要領について(2021 年度)
	協議 4	FD 基本方針の一部改正について
	協議 5	成蹊大学における FD 活動方針の一部改正について
	依頼 1	成蹊ティーチングアワードの一次候補者の選考について

■ 経済学部(新・旧)・経営学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 5 日)	報告 1	2019 年度後期 授業評価アンケート集計結果の分析について*
	懇談 1	2019 年度 ティーチングアワードの選出について
	懇談 2	FD 研修の年間計画について
第 2 回 (2020 年 4 月 16 日)	審議 1	2019 年度 ティーチングアワードの候補者の選定について

開催年月日	区分	議案事項
第3回 (2020年5月14日)	審議1	FD活動の現状について
第4回 (2020年5月28日)	審議1	シラバスの修正と第三者チェックについて
	報告1	授業評価アンケート(前期)の実施について
	審議3	2020年度のFD活動について*
第5回 (2020年6月10日)	報告1	シラバスの修正について
第6回 (2020年7月16日)	審議1	2020年度のFD活動について*
	審議2	シラバスの修正と第三者チェックについて
第7回 (2020年9月17日)	審議1	2020年度授業研究会について
	報告1	FD研修会の開催について
	報告2	シラバスの修正について
	その他1	SD研修:ブレンドィッドラーニング研修の受講について
第8回 (2020年10月15日)	懇談1	前期授業評価アンケート結果について
	報告1	FD協議会について (1)2020年度 授業研究会について (2)各学部等のFD活動参加状況について (3)2020年度QLA育成プログラム実施案について
		報告2
	懇談1	前期授業評価アンケート結果について
第9回 (2020年10月29日)	報告1	シラバス作成依頼について
	懇談1	2021年度シラバスとりまとめについて
	懇談2	2021年度シラバス第三者チェックについて
第10回 (2020年11月19日)	審議1	2021年度シラバスとりまとめについて
	審議2	2021年度シラバス第三者チェックについて
	審議3	2021年度第三者チェックに関する依頼について
	報告1	後期 授業評価アンケートの実施について
	懇談1	2021年度 シラバス第三者チェック承認者について
第11回 (2020年12月3日)	審議2	2021年度シラバス第三者チェック承認者について
	審議2	FD委員会等の開催日時について
	審議2	2021年度シラバス作成等の依頼について
	報告2	2021年度第三者チェックに関する依頼について
第12回 (2020年12月15日)	報告1	2020年度授業研究会について
第13回 (2021年1月21日)	報告1	2021年度シラバス第三者チェック承認者について
	報告2	2021年度シラバス第三者チェック承認者について
	報告3	学生アンケート(2年生・10月-12月)自由回答「本学への要望」について
	報告4	「数理・データサイエンス・AIと社会とのつながりを考える」FD研修(オンデマンド配信)実施について

開催年月日	区分	議案事項
第 14 回 (2021 年 2 月 6 日)	報告 1	シラバス入稿状況について
	懇談 1	14 カリキュラム申し合わせの改変について
第 15 回 (2021 年 2 月 16 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正依頼について
第 16 回 (2021 年 3 月 1 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正依頼について
	審議 2	ティーチングアワードについて
	懇談 1	2021 年度 FD 研修会実施計画について

## ■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 15 日)	議題 1	2019 年度ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2020 年 6 月 10 日)	報告等 1	2019 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する
	報告等 2	2020 年度前期授業評価アンケート集計結果に関する
	報告等 3	1 年生・3 年生 IR コンソーシアムアンケート (2019 年度) に関する件
	報告等 4	2 年生「学生の学修時間の実態、学修行動の把握に関する調査」(2019 年度) に関する件
	報告等 5	2020 年度 FD 活動に関する件
	報告等 6	2020 年度 FD 協議会に関する件
第 3 回 (2020 年 7 月 8 日)	報告等 1	2020 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 2	卒業時アンケート (2019 年度) に関する件
第 4 回 (2020 年 9 月 30 日)	報告等 1	2020 年度 FD 活動に関する件
	報告等 2	2019 年度及び 2020 年度 入学年度別 履修科目数と履修単位数に関する件
第 5 回 (2020 年 11 月 11 日)	報告等 1	2021 年度シラバス入力に関する件
	報告等 2	2021 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 3	2020 年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 4	2020 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 6 回 (2020 年 12 月 23 日)	報告等 1	2020 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 7 回 (2021 年 1 月 13 日)	報告等 1	2021 年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等 2	2020 年度後期授業評価アンケート結果に関する件
第 8 回 (2021 年 2 月 18 日)	報告等 1	2020 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 2	2020 年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等 3	2020 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
	報告等 4	定期的な FD 活動に関する件

■ 文学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 6 日～ 16 日)※持ち回り開催	議題 1	2019 年度成蹊大学ティーチングアワードの選考について
第 2 回 (2020 年 5 月 23 日～ 6 月 20 日) ※持ち回り開催	議題 1	2019 年度「学生の学修成果に関するアンケート」の結果検討について
第 3 回 (2020 年 5 月 29 日)	議題 1	2020 年度前期シラバス修正に伴う第三者チェックについて
第 4 回 (2020 年 7 月 4 日～8 日) ※持ち回り開催	議題 1	2020 年度文学部 FD 研修会開催について
第 5 回 (2020 年 7 月 29 日)	議題 1	後期開講科目シラバス修正のための第三者チェックについて
第 6 回 (2021 年 1 月 21 日～ 28 日)	議題 1	2021 年度シラバス第三者チェックについて
第 7 回 (2021 年 2 月 17 日)	議題 1	2021 年度シラバス第三者チェックの進捗状況について

■ 法学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 9 日)	検討 1	前期科目の成績評価及び試験について
	検討 2	学部・研究科の運営について
第 2 回 (2020 年 5 月 14 日)	検討 1	新型コロナウイルス感染疑いの場合の出席の取り扱いについて
第 3 回 (2020 年 6 月 4 日)	検討 1	卒業生アンケートを題材とした FD 活動の実施について
第 4 回 (2020 年 6 月 24 日)	検討 1	内部質保証に関わる資料の作成について
第 5 回 (2020 年 7 月 16 日)	議題 1	後期の授業形態について
第 6 回 (2020 年 9 月 17 日)	検討 1	対面授業の拡大の検討について

開催年月日	区分	議案事項
第7回 (2020年11月19日)	検討1	2021年度新2年生の授業形態について
第8回 (2020年12月3日)	検討1	2021年度新2年生の授業形態について
第9回 (2020年12月17日)	検討1	2021年度前期の授業形態について
	検討2	PC必携化について
第10回 (2021年1月21日)	検討1	IR指標の意見交換会への参加者および実施日について
	検討2	「数理・データサイエンス・AIと社会との繋がりを考える」FD研修(オンデマンド配信)の実施について
第11回 (2021年2月19日)	検討1	シラバス第三者チェックについて
第12回 (2021年3月1日)	検討1	内部質保証について

■ 高等教育開発・支援センター運営会議 (FD関連のみ)

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2020年6月19日)	協議1	2019年度後期授業評価アンケート分析結果について(情報基盤科目)
	依頼1	QLAの授業活用について
	報告1	高等教育開発・支援センター活動報告(FD・SD・ICT講習会等)について
第2回 (2020年7月9日)	報告1	2019年度後期授業評価アンケート分析結果について(情報基盤科目)
第3回 (2020年9月3日)	報告1	2020年度「授業研究会」実施要領について
第4回 (2020年10月8日)	報告1	FD関連: QLA育成プログラム・授業研究会の実施について
第5回 (2020年11月12日)	懇談1	高等教育開発・支援センター運営会議とFD協議会の役割分担について
	報告1	FD関連: 授業研究会の実施について
第6回 (2020年12月10日)	報告1	FD関連: 授業研究会の実施について
	報告2	授業評価アンケートの分析結果について(情報基盤科目)
第7回 (2021年1月14日)	報告1	FD関連: 授業研究会の実施について
第8回 (2021年2月24日)	協議1	「成蹊大学高等教育開発・支援センター規則」の改正案について

■ FD 協議会 ※FD 協議会は 2020 年度をもって廃止

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 7 月 10 日)	協議 1	2020 年度 FD 協議会の開催日程について
	依頼 1	各学部等の FD 参加状況把握について
	依頼 2	授業研究会について
	依頼 3	2020 年度各学部等の FD 活動計画について
	報告 1	高等教育開発・支援センター主催 FD 計画
第 2 回 (2020 年 9 月 8 日)	協議 1	授業研究会の実施要領（案）について
	協議 2	FD 活動方針について
	報告 1	各学部等の FD 参加状況把握について
	報告 2	令和 2 年度私立大学改革総合支援事業タイプ 1 について
第 3 回 (2020 年 10 月 9 日)	協議 1	授業研究会について
	協議 2	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について
	依頼 1	FD セミナーについて
	報告 1	各学部等の FD 参加状況把握について
	報告 2	QLA 育成プログラムへの所員の参加について
第 4 回 (2020 年 11 月 13 日)	協議 1	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について
	報告 1	授業研究会の実施状況について
第 5 回 (2020 年 12 月 16 日 ～22 日) ※持ち回り	依頼 1	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について
	報告 1	授業研究会の開催報告
	報告 1	シラバスワークショップの開催取りやめについて
第 6 回 (2021 年 1 月 15 日)	協議 1	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について
	報告 1	QLA 育成プログラム修了式の開催について
第 7 回 (2021 年 2 月 2 日～9 日) ※持ち回り	依頼 1	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について

■ 学内 FD 活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2020 年 4 月 8 日	センター	春季 CALL 講習会 チエル株式会社	名
2020 年 6 月 4 日	学 部	法学部 FD 研修会 「学生の学修成果に関するアンケート（卒業生満足度調査）に ついて」 平石 耕（法学部）	31 名
2020 年 7 月 15 日	学 部	文学部 FD 研修会 「オンライン授業の可能性と課題」 平山 真奈美（文学部）	39 名

日付	区分	内容	出席者
2020年7月16日	学 部	法学部 FD 研修会 「オンライン授業に関する教員・学生アンケートについて」 平石 耕（法学部）	33名
2020年9月17日	学 部	新・旧経済学部・経営学部 FD 研修会 「オンライン授業のための動画の”受講者を限定した”公開方法について」 鈴木 史馬（経済学部）	48名
2020年9月17日	学 部	法学部 FD 研修会 (1) オンライン授業に関する学生コメントについて (2) 「学生の学修成果に関するアンケート（卒業生満足度調査）について（再）」 (3) 「オンライン授業の導入の経緯とアンケート結果について」 平石 耕（法学部）	33名
2020年11月5日	センター	授業研究会「機器分析Ⅰ」 青柳 理果（理工学部）	1名
2020年11月12日	センター	授業研究会「現代の国際関係」 遠藤 誠治（法学部）	2名
2020年11月24日	センター	授業研究会「マクロ経済学Ⅱ」 庄司 俊章（経済学部・経営学部）	8名
2020年12月15日	国 際	国際教育センター（英語教員）FD「共同研究結果の報告およびオンライン授業における効果的な教育手法について」 Purdon Jamie（国際教育センター） Quenby Hoffman Aoki（国際教育センター）	14名
2020年12月15日	センター	授業研究会「文化人類学入門Ⅱ」 細谷 広美（文学部）	1名

■ ティーチングアワード（2019年度）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
井上 淳子	経済学部教授	マーケティング
鈴木 史馬	経済学部教授	マクロ経済学入門
庄司 俊章	経済学部助教	マクロ経済学入門
井内 勝哉	理工学部助教	物質生命実験、遺伝子工学
坂本 真仁	理工学部助教	基礎プログラミング実験、上級プログラミング実験
氷室 貴大	理工学部助教	基礎物理学、システムデザイン実験
平山 真奈美	文学部准教授	英語音声学、英語学概論
西山 隆行	法学部教授	演習、アメリカ政治外交論
今井 貴子	法学部教授	政治学への案内
クリストファー マデン	国際教育センター常勤講師	College English、Cross Cultural Communication Skills
ジェイミ パードン	国際教育センター常勤講師	English for the Workplace

■ 日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」派遣者

氏名（所属）	派遣期間・会場	テーマ
山崎 紅（経営学部）	2020年12月13日 オンライン開催	学生のコミュニティ形成や学習支援・生活支援の方策について
鈴木 誠一（理工学部）	2020年12月13日 オンライン開催	オンライン授業の現状と課題について

■ QLA 育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全10回（※は体験講習会） 2020年 10月6日※ 10月13日・10月20日・10月27日・ 11月10日・11月17日・11月24日・ 12月1日・12月8日・12月15日・12月22日	講師： 勝野喜以子（学長直属） 岩田淳子（文学部）  高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2021年1月29日	修了生：11名

<2021 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 21 日)	協議 1	FD 基本方針・活動方針に基づく FD 活動の今後の体制について
	協議 2	「FD」の定義と FD 活動計画の策定時における留意事項について
	協議 3	成蹊大学教育活動表彰制度
	懇談 1	各学部における FD 活動状況の定期的な報告体制について
	懇談 2	センター主催による FD 企画の推進について
	懇談 3	QLA・新 SA の今後の授業活用の考え方について
	報告 1	2020 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」成果報告書について
	報告 2	2020 年度「プロジェクト型授業奨励金」成果報告書について
	報告 3	2020 年度「教育改革・かいプロジェクト奨励金」成果報告書について
第 2 回 (2021 年 5 月 19 日)	協議 1	2021 年度「FD セミナー」実施について
	協議 2	2021 年度「授業研究会」実施に関する授業選定について
	協議 3	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	協議 4	2021 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	協議 5	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議 6	2021 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」申請について
	依頼 1	教員インタビュー（ディプロマポリシーを体現している学生について）実施について
第 3 回 (2021 年 6 月 30 日)	協議 1	2021 年度学部 FD の実施状況について
	協議 2	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	報告 1	2021 年度「授業研究会」の実施について（中間報告）
	報告 2	「ブリリアントプロジェクト奨励金」EV フォーミュラプロジェクトにおける今後の活動報告について
第 4 回 (2021 年 7 月 21 日)	協議 1	次年度の認証評価を見据えた後期の FD 活動の強化に向けて
	報告 1	2021 年度 FD セミナーの実施について（経過報告）
	報告 2	コロナウイルス感染拡大の影響による「QLA 育成プログラム」修了要件の緩和について
第 5 回 (2021 年 9 月 8 日)	協議 1	後期の FD 活動の強化に向けて
	懇談 1	2022 年度シラバス作成要領の改訂について
	報告 1	令和 3 年度 FD 推進ワークショップへの派遣者について
第 6 回 (2021 年 10 月 6 日)	協議 1	「FD 活動報告書」発刊に向けた学部・研究科 FD の情報収集について
	協議 2	「学生調査（学修時間・学修行動・能力変化）・卒業生調査・採用担当者調査」報告について
	協議 3	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議 4	2022 年度シラバス作成要領案について
	依頼 1	FD セミナーの実施について
	報告 1	2022 年度「QLA 育成プログラム」の実施について

開催年月日	区分	議案事項
第7回 (2021年11月10日)	協議1	2021年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	依頼1	FDセミナーの実施について
	報告1	FD参加率について
	報告2	QLAプロジェクトチームの始動について
	報告3	授業研究会について
第8回 (2021年12月8日)	依頼1	「FD活動報告書」の作成について
	依頼2	「QLA活用説明会」の開催および紹介動画の作成について
	依頼3	「QLA育成プログラム」修了式の実施について
	報告1	第2回QLAプロジェクトチームについて
	報告2	FDセミナー「フィールドワーク型／プロジェクト型授業の実践記録 ESD推進のために」の実施について
第9回 (2022年2月24日)	協議1	「FD活動報告書」の進捗状況について
	協議2	2022年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領(案)について
	協議3	2022年度「教育改革・改善プロジェクト」公募要領(案)について
	協議4	2022年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領(案)について
	協議5	FDホームページ進捗状況について
	依頼1	FD活動報告書における、学部FD委員会議事情報の提供と内容公開について(
	報告1	「Zoom講習会」の開催について
	報告2	「QLA育成プログラム」の実施報告について
	報告3	QLA育成プログラムに関するアンケート集計結果について
第10回 (2022年3月9日)	協議1	「FD活動報告書」について
	協議2	「QLAプロジェクトチーム」報告と答申について
	依頼1	成蹊ティーチングアワード一次候補者の選考について

■ 経済学部（新・旧）・経営学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 8 日)	報告 1	2020 年度後期 授業評価アンケート集計結果の分析について
	懇談 1	2020 年度 ティーチングアワードの選出について
	懇談 2	FD 研修の年間計画について
第 2 回 (2021 年 4 月 22 日)	審議 1	2020 年度 ティーチングアワードの候補者の選定について
第 3 回 (2021 年 5 月 13 日)	懇談 1	2021 年度授業研究会について
	その他 1	2021 年度の学部 FD 活動の方針について
第 4 回 (2021 年 6 月 3 日)	報告 1	授業評価アンケート（前期）の実施について
	その他 1	FD 研修会の開催について
第 5 回 (2021 年 6 月 24 日)	報告 1	FD 研修会の開催について
第 6 回 (2021 年 7 月 15 日)	報告 1	新・旧経済学部・経営学部合同 FD 研修会の報告について
第 7 回 (2021 年 9 月 16 日)	報告 1	2022 年度シラバス作成要領の改訂について
第 8 回 (2021 年 10 月 7 日)	報告 1	シラバス作成依頼について
	懇談 1	前期授業評価アンケート結果について
	懇談 2	第 6 回 全学 FD 委員会 ・「FD 活動報告書」発刊に向けた学部・研究科 FD の情報収集について ・「学生調査(学修時間・学修行動・能力変化)・卒業生調査・採用担当者調査」報告に基づく授業改善結果の提出について
第 9 回 (2021 年 10 月 28 日)	懇談 1	2022 年度シラバス第三者チェックについて
	懇談 2	2022 年度 第三者チェックに関する依頼について

■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 7 日)	議題 1	2020 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2021 年 6 月 9 日)	報告等 1	2020 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 2	2021 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 3	2020 年度入学年度別成績評価の割合に関する件
	報告等 4	2017 年度入学生 GPA 順位推移に関する件
	報告等 5	2021 年度 FD 活動に関する件
第 3 回 (2021 年 7 月 7 日)	報告等 1	2021 年度前期授業評価アンケート実施に関する件

開催年月日	区分	議案事項
第4回 (2021年9月28日)	報告等1	2021年度FD活動に関する件
	報告等2	2020年度及び2021年度 入学年度別 履修科目数と履修単位数に関する件
第5回 (2021年11月10日)	報告等1	2022年度シラバス入力に関する件
	報告等2	2022年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等3	2021年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等4	2021年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等5	「FD活動報告書」発刊に向けた学部・研究科FDの情報収集に関する件
	報告等6	「学生調査(学修時間・学修行動・能力変化)・卒業生調査・採用担当者調査」報告に基づく授業改善結果の提出に関する件
	報告等7	2021年度前期成績における男女比較に関する件
	報告等8	入学年度別GPA比較に関する件
	報告等9	理工学部・理工学研究科FD委員会と高等教育開発・支援センターの連携に関する件
第6回 (2021年12月22日)	報告等1	2021年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等2	2021年度前期GPA分布に関する件
	報告等3	「FD活動報告書」発刊に向けた学部・研究科FDの情報収集に関する件
第7回 (2022年1月12日)	報告等1	2022年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等2	2021年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第8回 (2022年2月24日)	報告等1	2021年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等2	2021年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等3	2021年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件

#### ■ 文学部FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2021年4月9日~15日) ※メール持ち回り	議題1	2020年度ティーチングアワードの選考について
第2回 (2021年6月18日~24日) ※メール持ち回り	議題1	2021年度文学部FD研修会について
第3回 (2021年11月10日~17日) ※メール持ち回り	議題1	学部長依頼に基づく授業改善について
第4回 (2022年1月20日~27日) ※メール持ち回り	議題1	2022年度シラバス第三者チェックについて
第5回 (2022年2月18日)	議題1	2022年度シラバス第三者チェックについて

■ 法学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 8 日)	検討 1	2021 年度前期の授業形態について
	検討 2	対面授業のオンライン実施希望について
	検討 3	EAGLE 客員教員の担当業務について
	検討 4	課題提示型授業の実施希望について
	検討 5	学部・研究科の運営について
第 2 回 (2021 年 4 月 22 日)	検討 1	会食を起因とした新型コロナウイルス陽性者発生事案への対応について
第 3 回 (2021 年 6 月 3 日)	検討 1	内部質保証自己点検・評価シートの作成について
	検討 2	科目ナンバリングにおけるレベルコードの確認について
	検討 3	FD 研修会の実施について ・学生の学修成果に関するアンケート（卒業生満足度調査） ・卒業生アンケート（卒後 3・5・10 年）
第 4 回 (2021 年 6 月 15 日)	検討 1	内部質保証点検・評価シートの作成について
第 5 回 (2021 年 6 月 24 日)	検討 1	内部質保証自己点検・評価シートの作成について
第 6 回 (2021 年 9 月 16 日)	検討 1	後期における対面授業について
	検討 2	演習科目におけるオンライン参加について
第 7 回 (2021 年 10 月 7 日)	検討 1	基礎疾患を有する非常勤講師の 2022 年度における取り扱いについて
第 8 回 (2021 年 12 月 16 日)	検討 1	2022 年度前期の対面授業について
	検討 2	内部質保証について
	検討 3	成績評価の平準化について
	検討 4	学生と教員の連絡方法について
第 9 回 (2022 年 2 月 19 日)	検討 1	シラバス第三者チェックについて
第 10 回 (2022 年 3 月 3 日)	検討 1	内部質保証点検・評価シートの作成について
	検討 2	シラバス第三者チェックおよびシラバス修正の進捗について
	検討 3	成績評価ガイドラインについて

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD 関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 15 日)	協議 1	成蹊大学教育活動表彰制度（ティーチングアワード）受賞者に対する依頼事項について
	懇談 1	各学部における FD 活動状況の定期的な把握について
	懇談 2	センター主催による FD 企画の推進について
	懇談 3	QLA・新 SA の今後の授業活用の考え方について
	懇談 4	授業研究会ガイドライン（2021 年度版）の制定と今後の運用体制について
	報告 1	2020 年度高等教育開発・支援センター活動報告
	報告 2	2021 年度大学新任教員研修の開催について
	報告 3	2020 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」報告について
	報告 4	2020 年度「プロジェクト型授業奨励金」報告について
	報告 5	2020 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」報告について
	報告 6	2021 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領について
	報告 7	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領について
	報告 8	2021 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」公募要領について
第 2 回 (2021 年 5 月 6 日)	依頼 1	2021 年度「FD セミナー」に関する推薦について
	依頼 2	2021 年度「授業研究会」実施に関する授業選定について
第 3 回 (2021 年 6 月 17 日)	懇談 1	センター主催の FD セミナーの開催について
	依頼 1	授業研究会の実施運営について
	報告 1	授業研究会の開催予定について
	報告 2	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	報告 3	2021 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	報告 4	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	報告 5	2021 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」申請について
第 4 回 (2021 年 7 月 8 日)	懇談 1	センター主催の FD セミナーの開催について
	報告 1	2021 年度「授業研究会」の実施について
第 5 回 (2021 年 9 月 1 日)	報告 2	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	報告 3	2021 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	懇談 1	センター主催 FD セミナーの開催に向けて
第 5 回 (2021 年 9 月 1 日)	懇談 2	FD 研修会「ICT を活用した授業手法のご紹介」の開催に向けて
	報告 1	次年度の認証評価を見据えた後期の FD 活動の強化に向けて

開催年月日	区分	議案事項
第 6 回 (2021 年 10 月 20 日)	懇談 1	センター主催 FD セミナーの開催に向けて
	懇談 2	FD 研修会「ICT を活用した授業手法のご紹介」の開催に向けて
	依頼 1	授業研究会（法学部）の開催について
	報告 1	QLA 育成プログラムの参加人数と実施形式について
	報告 2	令和 3 年度私立大学改革総合支援授業の質に係る客観的指標調査票について
	報告 3	「FD 活動報告書」発刊に向けた学部・研究科 D の情報収集について
	報告 4	「学生調査（学修時間・学修行動・能力変化）・卒業生調査・採用」報告に基づく授業改善結果の提出について
第 7 回 (2021 年 11 月 15 日)	報告 5	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議 1	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議 2	シラバスに関する FD について
	懇談 1	センター主催 FD セミナーの開催に向けて
	依頼 1	FD 活動報告書の原稿作成について
	依頼 2	授業研究会について
	報告 1	FD 参加率について
第 8 回 (2022 年 2 月 15 日)	報告 2	QLA プロジェクトチームの始動について
	協議 1	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領（案）について
	協議 2	2022 年度「教育改革・改善プロジェクト」公募要領（案）について
	協議 3	2022 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領（案）について
	依頼 1	「FD 活動報告書」の執筆状況について
	報告 1	「Zoom 活用セミナー」の実施について
	報告 2	FD ホームページの進捗状況について
	報告 3	FD セミナー『フィールドワーク型／プロジェクト型授業の実践記録：ESD 推進のために』開催報告
	報告 4	FD 研修会『ICT を活用した授業』のご紹介について
	報告 5	第 3 回、第 4 回 QLA プロジェクト開催報告（資料⑥）
第 9 回 (2022 年 2 月 25 日～ 3 月 8 日) ※持ち回り	報告 6	「QLA 活用説明会」開催報告（資料⑦）
	報告 7	2021 年度「QLA 育成プログラム」実施報告（資料⑧）
	依頼 1	次期高等教育開発・支援センター所員について
	依頼 1	次期高等教育開発・支援センター所員について
	報告 1	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領（案）
	報告 2	2022 年度「教育改革・改善プロジェクト」公募要領（案）
	報告 3	2022 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領（案）
報告 4	大学教室の視聴覚設備改修に向けたプロジェクトの発足について	
報告 5	2021 年度第 8 回情報基盤科目部会の実施報告について	

■ 学内 FD 活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2021年4月1日～ 4月30日 ※オンデマンド形式	センター	新任教員研修 (※2020年度・2021年度新規採用者合同開催)	—
2021年6月22日	センター	授業研究会「関数型プログラミング」 千代 英一郎 (理工学部)	2名
2021年6月24日	学部	新・旧経済学部・経営学部合同 FD 研修会 「オンデマンド授業についての意見交換会」 鈴木 史馬 (経済学部)	47名
2021年6月24日	センター	授業研究会「英語音声学 311」 平山 真奈美 (文学部)	1名
2021年6月28日	センター	授業研究会「財務会計」 高橋 史郎 (経済学部)	4名
2021年7月13日	国際	Assessing and Practicing Speaking Skills  【Associate Lecturer (Jokin-teacher)】 Andrew James Whitmyre Caroline Handley Christopher Louis Modell Hiroaki Umehara James William Bates Mari Kuromatsu Michael Green Quenby Hoffman Aoki Susan Louise Brennan Thomas Andrew Paterson 【Faculty of Business Administration】 Peter D Evan	11名
2021年7月16日	国際	オンラインの授業における学生との交流活動の在り方について 日本語教育担当 川上 麻理 (国際教育センター) 山下 順子 (国際教育センター)	2名
2021年10月20日	センター	授業研究会「演習 IIA / (起業家体験プログラム)」 北川 徹 (法学部)	2名
2021年10月27日	学部	理工学部 FD 研修会 「新型コロナウイルス感染症の「今」」 法性 玲子 (大学保健室 保健師)	62名
2021年11月10日	学部	文学部 FD 研修会 「「学生調査 (学修時間・学修行動・能力変化)・卒業生調査・ 採用担当者調査」報告をもとに文学部授業改善について考える」 宮坂 剛 (学長室総合企画課)	11名

日付	区分	内容	出席者
2021年11月26日	センター	高等教育開発・支援センター主催 FD セミナー 『フィールドワーク型／プロジェクト型授業』実践記録 小田 宏信（経済学部）	19名
2022年1月18日	国際	Assessing and Practicing Speaking Skills  【Associate Lecturer (Jokin-teacher)】 Andrew James Whitmyre Caroline Handley Christopher Louis Modell Hiroaki Umehara James William Bates Mari Kuromatsu Michael Green Quenby Hoffman Aoki Susan Louise Brennan Thomas Andrew Paterson 【Faculty of Business Administration】 Peter D Evan	11名
2022年1月19日	国際	オンラインの授業を踏まえた中級レベルコースの指導法について 日本語教育担当 川上 麻理（国際教育センター） 山下 順子（国際教育センター）	2名
2022年1月20日～ 3月31日 ※オンデマンド形式	センター	高等教育開発・支援センター主催 FD 研修会 「ICTを活用した授業手法のご紹介」 吉見 憲二（経営学部）	37名
オンライン開催	学部	法学部 FD 研修会 「「2019年度 学生の学修成果の把握に関するアンケート」及び「卒業生調査（3・5・10年後アンケート）」」 湯原 心一（法学部）	33名

■ ティーチングアワード（2020年度）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
小田 宏信	経済学部教授	上級演習、実践ゼミナール、社会経済地理学、経済地理学 A
高橋 史郎	経済学部／経営学部教授	基盤特殊講義（財務会計演習）、財務諸表論、企業会計の基礎、国際会計
吉見 憲二	経済学部／経営学部 准教授	上級演習、情報コミュニケーション技術、情報戦略、情報産業
栗原 大輝	理工学部助教	理工学計算演習、安全管理
西尾 悠	理工学部助教	情報基礎、熱工学 I
榎本 理恵	理工学部助教	Python プログラミング実験、離散数学、確率統計
里村 和秋	法学部教授	教養演習入門、総合教養演習
馬上 美知	法学部 准教授	教育原理、教養演習入門、教育実習、社会科・公民科教育法、社会科教育法 B
黒松 まり	国際教育センター常勤講師	College English
グリーン マイケル	国際教育センター常勤講師	College English、Writing Skills、Academic Listening

■ 日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」派遣者

氏名（所属）	派遣期間・会場	テーマ
木村 智彦（文学部）	2021年8月6日 オンライン開催	オンライン授業の改善

■ QLA 育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回（※は体験講習会）  2021 年 9 月 28 日※ 10 月 5 日・10 月 12 日・10 月 19 日・10 月 26 日・ 11 月 2 日・11 月 9 日・11 月 16 日・11 月 30 日・ 12 月 7 日・12 月 14 日 (9 月 28 日～10 月 19 日まではオンライン開催)	講師： 勝野 喜以子 (学長直属兼経済学部教授) 岩田 淳子 (学長直属兼文学部教授・ 学生相談室カウンセラー)  高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課 (FD チーム)
修了式	2022 年 1 月 27 日	修了生：25 名

## 10-2 2022年度全学FD委員会委員一覧

2022年度全学FD委員会の委員は以下の通りである。

氏名		役職
委員長	森 雄一	学長
委員	藤原 均	副学長
委員	山田 崇人	副学長
委員	小田 宏信	経済学部長
委員	小池 淳	理工学部長
委員	見城 武秀	文学部長
委員	浅羽 隆史	法学部長
委員	上田 泰	経営学部長
委員	井出 多加子	国際教育センター所員※
委員	富谷 光良	高等教育開発・支援センター所長
委員	濱田 佳通	学長室長
委員	高橋 章建	教務部長
オブザーバー	浅野 雅子	高等教育開発・支援センター副所長

※ 国際教育センターは学長の命により出席

事務局：高等教育開発・支援センター教育開発・支援課

## 10-3 2022年度高等教育開発・支援センター所長・所員一覧

2022年度高等教育開発・支援センター所長・所員は以下の通りである。

氏名		役職
所長	富谷 光良	理工学部教授
副所長	浅野 雅子	理工学部教授
所員	井上 潔司	経済学部教授
所員	鎌村 星平	理工学部准教授
所員	平山 真奈美	文学部准教授
所員	淵 史彦	法学部准教授
所員	高橋 史郎	経営学部教授（2022年12月13日まで）
所員	上田 徹	経営学部教授（2022年12月14日より）

2022 年度 成蹊大学 FD 活動報告書

発行日 2023 年 3 月 31 日

発 行 成蹊大学全学 FD 委員会

(事務局：高等教育開発・支援センター)

180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

0422-37-3611 (直通)

本報告書の記載内容について、無断転載・引用・改変を禁じます